

大手前高校 76期 S探 文系 論文集

投資の必要性

何故、この女は嫌われないのかー痴人の愛のナオミー

16世紀のイエズス会訪日宣教師のクリスマスのとらえかた

新卒採用における学歴フィルター以外の選択肢を模索する

イギリス教育改革変遷に学ぶ脱ゆとり後の教育

GNH指数が高ければ幸せなのか～ブータンの課題とその解決にむけて～

ハマっちゃん音楽のヒミツ

SNS時代を生きる高校生の消費行動

カンナバーロはなぜバロンドールを受賞できたのか

大学改革案

風水は本当に占いであるのか ～カラー風水を例にして考える～

『不思議の国のアリス』における不安定さーキャロルの思想と当時の時代背景から物語を分析するー

日本の中等教育機関に英語以外の外国語教育を

日本アイドルの海外進出

日本の電子政府化政策の改善案

女子高生はなぜスカートを短くするのか

髪色についての校則は必要なのか

日本人は耳が悪いのか？ー日本語の特徴から英語教育を考えるー

日本の中小企業にEAPを広めるには

若者の政治参加に向けて

意識と体から見る刑罰

サンリオピューロランドのアメリカ進出を成功させるグローバルマーケティング戦略

都市伝説の共通点とは

関西方言「ねん」はどこから来たのか

安楽死・尊厳死は認められるべきか

日本における言霊信仰が生まれた背景

「表現の不自由展・その後」 公的な事業としての開催の正当性

投資の必要性

1. はじめに

投資はそもそも、大勢の利益を守るため発明された仕組みで、株式の発明は、17世紀オランダの東インド会社に遡る。危険が伴う航行に際し、大勢で出資して一人ひとりの船荷失うリスクをできるだけ少なくしようと考案された。また、クラウドファンディングは、自分の好きな会社や取り組み、価値あるプロジェクトに出資して、リターン品を得るもの。このように、世の中の事業などを支援して、得られた利益の中から見返りを得て、自分の暮らしを豊かにするのが投資といえる。

平成29年金融庁の資料によると、我が国の家計金融資産（約1700兆円）の52%（約900兆円）が現預金であり、米英に比べ株式・投資等の割合が低く、家計金融資産の伸びは低い水準（運用による増加に大きな差）をしている。近年の推移を見ても我が国における現預金優位の状況は大きく変わっていない。

このような現況に対して政府は「貯蓄から投資へ」という方針を掲げている。現在まで税制変更や制度改革などを進めてきたにもかかわらず、日本人の投資の興味が深まっているとは言えず投資の運用はされてはいない。もし日本人が投資を積極的に進めているのなら現在の日本はもっと経済成長しているのではないかと考え、アメリカと比較しながら述べていく。

そして日本人がなぜ投資に消極的なのかをふまえながら、未来の日本の投資教育のあり方について提案する。

2. アメリカと日本の投資の比較

金融庁が公表した「金融レポート」のデータを見ると、金融資産の増え方において、日本とアメリカで大差が生じている。1995年比で日本が1.54だったのに対してアメリカは3.32倍に増えている。家計の金融資産構成比を見てみると日本は「預貯金」が54.2%を占めているのに対し、「株式等」が9.6%、「株式投資」が3.4%となっている。一方、アメリカは「預貯金」が13.7%、「株式等」が32.5%、「投資信託」12.3%を占めている。日本とアメリカでは家計の金融資産構成が対照的である。また、日米の家計所得の約20年間の推移を見てみると家計所得に占める財政所得の割合はアメリカの方が日本人よりも大きいことが分かる。（表1）加えて、アメリカでは勤労所得と財産所得との両者が増加傾向にある一方で日本人はほぼ横ばい、あるいは減少傾向にある。

次に、日本とアメリカの経済成長率の推移をみてみると

	2018	2019	2020	2021
日本	0.64%	0.40%	-4.28%	2.15%
アメリカ	2.95%	2.30%	-2.77%	5.90%

（表1）日本とアメリカの経済成長率比較

これらの結果から投資と経済成長に少なからず関係があるのではないかと考えることができるのだろうか。

3. なぜ日本人は投資をしないのか

証券投資の必要性についての調査によると「必要だと思う」25.1%、「必要だと思わない」74.6%であった。証券投資が必要だと思わない理由（複数回答）は、「損する可能性がある」43.7%、「金融や投資に関する知識もっていない」33.7%、「価格の変動に神経を使うのが嫌」28.3%、「ギャンブルのようなもの」25.9%といったものだった。この結果から日本人は安全志向であると推測できる。この日本人が投資に消極的な理由は時代背景が影響していると考えた。1989年バブル時代をピークに1991年バブル崩壊後、株式・出資は減少、そして横ばいに推移していく。対照的に積立・預金は右肩上がりに増加しているのである。この時期はバブル経済で、アメリカの介入により急激に円高が進んだ結果、市場に資金が溢れかえってしまい、その余剰資金が資産の購入費用となって地価や株価が急激に上昇した。ここで人々は経済の根本的要素を考えずに、株式を大量に売買していったのである。日経平均株価は1984年1万円台を突破し、1989年12月3万8915円へ。しかし、1990年バブル崩壊し1万円代まで急激に下落していった。資産がピーク時の3分の1まで下落したことになり、人々がまた株式投資をしようとは考えにくい。その結果、現在もバブル経済を経験した人々が投資に消極的になっているのではないだろうか。

また、この時期金融自由化されていたものの部分的な規制緩和であったため、金融業務への参入規制や新商品の開発規制などがあった。しかし、アメリカでは1970年代から「金融革命」の下での新しい商品の出現・普及が進んでいた。日本では金融商品が身近なものではなかったことを考えるとなかなか投資に興味を持つことは難しい環境でもあったのである。

現在の家計の資産形成の促進に向けた政策対応を見てみると、アメリカでは、税制優遇措置等の政策対応により、金融資産も大きく増加している。その結果、アメリカでは財産所得が家計所得に大きく貢献する姿が実現している。（勤労所得と財産所得の比は、アメリカの3：1に対して、日本では8：1）。日本でも、一定期間、一定額まで免除する金融商品も出てきているが、手数料のほか売却益・分配益などの利益が出た場合税金がかかる。この差を考えると家計における資産形成を促すためには、政策的な後押しも必要である。

4. 日本の投資教育

3で述べた証券投資の必要性についての調査で、証券投資が必要だと思わない理由において「金融や投資に関する知識を持っていない」33.7%とあった。一般的な人々は今まで投資についての具体的な教育を受けたことは殆ど無いだろう。証券投資教育の経験の有無を調べてみた。

日本人が証券投資に消極的な理由を「金融教育」の面から見ると、平成30年度の時点で証券投資教育を「受けたことがある」7.2%、「受けたと思うが、あまり覚えていない」が12.4%にとどまり、80.3%の人が「受けていない」と回答した。また、今後、金融や投資に関する知識と身に付けたいと思うか（投資教育を受けた経験なしの者を対象）について、「金融や投資に関する知識を身に付けたいと思う」33%、「金融や投資に関する知識を身に付けたいと思わない」67%と回答した。この結果をみると、投資に興味を持たないのも納得がいき、投資経験がある人が少ないことに繋がっていくことも否めない。政府も投資を推進していることから、学校における学校指導要領に投資教育の項目を盛り込むなど国をあげて金融リテラシーの底上げに力を入れている。今後は若い世代の金融リテラシー向上が期待できるだろう。

ここで1967年から本格的な消費者教育を行ってきたアメリカの現状を見てみる。一つ目に金融教育を誰もが簡単に受けることができる環境が整っている。また2つ目にはSIMFA（米国証券業金融市場

協会)ではインターネットで株式学習としてストック・マーケット・ゲームというものを行っていたり、FRB(アメリカ中央銀行)では「FEDチャレンジ」という高校生のための政策コンテストを行っている。このコンテストを通して、金融経済の仕組みや金融政策について学ぶことができる。さらに幼い頃から投資や運用について学んでおり、子供向けのカリキュラムの中に投資や運用の教育を盛り込んでいる。

このように、アメリカと日本を比べると投資教育において大きな差があることがわかった。日本経済の現状を考え、この状況を改善するために日本においても積極的に投資教育を取り入れることを提案する。さらに投資に触れる時間を増やすためにより株式に参加しやすい制度を取り入れることも大切だと考える。しかし、教育には時間がかかることが懸念されるとともに、日本ではインターネットに疎い高齢者も多く、実現が難しい面も存在する。この現状を脱するためにも、分かりやすい金融商品を作り出すこと、少額から積立で投資できることの浸透や相談しやすい証券会社等の窓口を行うなどの対策を取る必要がある。

5. まとめ

アメリカと比較して、経済成長には投資が不可欠なことが分かる。また、日本人が投資に消極的なのは、バブル崩壊などからくる株への投資の恐怖と株と関わる機会が他国と比べて極めて少ないことが挙げられる。さらに、教育も必要だが、投資は実際に始めないと分からないことも多い。ある程度は仕組みとして投資を始めるきっかけが与えられた方が資産形成について身近に考えることになり興味を持ちやすいのではないか。経験を積みながら知識を身につけることも必要だということも付け加えたい。

6. 参考文献

林 敏彦 (1998) 岩波新書 「大恐慌のアメリカ」 岩波新書

秋元 英一(1988)「世界大恐慌」 講談社学術

及川 正博 (2009) 「1929年アメリカ大恐慌とアーサー・ミラー 2008年のアメリカ発金融危機との関連から」

土生 芳人 「大恐慌勃発への過程—1920年代末期アメリカの景気変動」 (1987)

土生 芳人 「1920年代アメリカ経済発展過程の特質」(1987)

内閣府「日本経済のあるべき姿と経済新生の政策方針」<https://www5.cao.go.jp/99/d/19990607/zeroinfure/5.tolf> 資料3

新井 明 (2007)「高校生からの株入門」 祥伝社

泉 美智子 奥村 彰太郎 (2021)「投資の超基本」朝日新聞社

何故、この女は嫌われないのか—痴人の愛のナオミ—

1. はじめに

谷崎潤一郎の著作「神童」は、彼が少年時代を懐古することで得た要素を、随所に散りばめたように思える。作中のセリフに「己は禅僧のような枯淡な禁欲生活を送るにはあんまり意志が弱すぎる。あんまり感性が鋭過ぎる。恐らく己は靈魂の不滅を説くよりも、人間の美を歌うために生れて来た男に違いない」という一節がある。私は谷崎文学というものは「人間の美」—そのような要素を多く持つのが痴人の愛の登場人物、ナオミである。彼女はとにかく我が儘であり、性格がよろしくない。だが、何故か男たちは引き寄せられてしまう。私はこの点を疑問に感じた。そのため、何故ナオミのような魔性の女(ここでは、種類を問わず、とにかく関わりを持ってしまうと人生を破壊してくる女性と定義する)が多くの男を魅了するのかを研究した。研究方法は、ナオミの行動分析、その行動に対する讓治の反応の分析とする。

2. ナオミという女性

ナオミは、元はカフェで働いていた女性である。主人公である讓治が「彼女を養育し立派な西洋夫人に仕立て上げ、妻にしよう」という、一種の謀を思い立ち、同居生活を了承させ、英語やら音楽やらの教育を受けさせる。そして彼女が15歳の頃初めて関係を持ち、しばらくして結婚する。しかし、彼女に施された教育はなかなか功を奏さなかった。振る舞いも粗野になり、男にへつらう、まるで讓治曰く「娼婦」のように成長していく。そのような中でもある程度は幸せに暮らしていたはずが、多数の男との浮気が露見してしまい……というのが、痴人の愛のあらずじである。研究していった上で、浮かび上がってきた要素は主に2つである。

3. 虚言癖と根拠のない自信

まず1つ目は虚言癖である。彼女は見栄っぱりなせいか、嘘をついたシーンが存在する。例えば「私の家はもともと旗本だったのよ」などだ。他にも嘘とは断定できないが、話の筋が通っていないと思しき箇所が、いくつか見受けられる。話が進行していくにつれ、讓治はナオミ優先の生活を送るようになり、彼の人間関係は徐々に狭まる。結果的には会社もやめてしまう。そうして、付き合いが続いているのがナオミのみとなる。それ故、嘘をつくこと自体が魅力というより、信じざるを得ない状況を作り出すことができる点に鍵があると思われる。嘘をつくこと自体ではなく、それを対象(讓治)が無批判に受け入れるかどうか肝要である。

2つ目は、根拠のない自信。これはナオミ自身がそれを持っているだけではいけない。これを対象(讓治)がその様を見て自分よりも弱いものと軽んじ、根拠のない自信を増長させるようおだてることではじめて魅力たりえる。こうしていつの間にか支配する側から支配される側、奴隷の立場に転じるどころか、理不尽な支配に疑いを持たなくなってしまう。その様子は作中でもまざまざと表現されている。

一見、これらについて矛盾しているように思えるかもしれない。しかし、両者を一度に表せる言葉がある。それは「自信有りげな様子」である。これが讓治ら男には無意識レベルで魅力的に映るようだ。何故かはよく分かっていないので、更に追求していきたい。

4. 結論と考察

今回の研究は、ナオミは虚言癖と根拠のない自信で男たちを魅せているという仮説から出発したが、どうやらそうではないことが分かった。「自信有りげな様子」そのものに魅力があるのではなく、魅力があると思わせられること自体が重要な事実であるようだ。「自信有りげな様子」は随分と危ういバランスの上で成り立っているのではないかと考えていたが、「そう思わせる技術」が先行している。つまりは単体で魅力となる要素は彼女の中に存在しないのである。研究を進めるにつれ、ナオミの意志であるかどうかに関わらず、譲治の人間関係を徐々に狭め、彼がナオミに依存していく様子から、マインドコントロールに近い状況である可能性が浮上してきた。あまり突き詰められていないが、これは元の仮説を包括してしまう概念とも言える。機会があれば更に研究していきたい。

5. 参考文献

谷崎潤一郎『痴人の愛』新潮社, 1947

千葉俊二『作家たちの17歳』岩波書店, 2022

16世紀のイエズス会訪日宣教師のクリスマスのとらえかた

1. はじめに

現在の日本では海外とは大きく異なった様式でクリスマスというイベントが知られている。ミサや礼拝をせずにただの祭典として大騒ぎするのみだ。この動きは明治時代から作られてきた。果たして現在の日本のクリスマスはクリスマスとっていいものなのだろうか。この問いはクリスマスをどう定義するのかわによって変わってくる。では、初めてキリスト教が日本に伝えられたときは宣教師たちはどのようなものとしてクリスマスを扱ったのか。当時の文献などを元に考察する。

2. 調査結果と考察

1. 伝来初期に行われた本来のクリスマス

1548年にザビエルらが日本に上陸し、布教活動が始まる。(キリスト教が日本に初めて伝来したのは5世紀頃という説があるが、証拠や記録が不十分であるため、初めての伝来を1549年とする。)

1552年に山口県で日本で初めてクリスマスが祝われたという記録が残っている。1548年から1552年までに日本でクリスマスが祝われたという記録は今の所発見されていない。だが、キリスト教徒である宣教師たちはきちんとミサを行っていたはずだ。なので、この記録は日本人が参加した初めてのクリスマスであると考察できる。なぜ日本人が初めてクリスマスを祝うまでに伝来から4年間かかったのかは不明だ。

1552年のクリスマスの様子は、現在の暦でのクリスマスイヴの日の夜に宣教師の家にキリシタンが集まり、聖歌を歌い、ミサをあげ、宣教師が一晩中キリストの生涯を語ったとある。更にクリスマスの日中にはキリシタンが事前に集めた金で地域の人々に食事を振る舞ったという。これらの記述の中で、キリシタンは『大いに喜んだ』、『せがんだ』など日本のキリシタンが積極的である様子が見られる。

翌年1553年にも山口でクリスマスが祝われたことが分かっている。神父の館で聖書の読み聞かせをし、ミサ、祈祷、聖歌があり、日が上ると昼のミサと食事。貧民に食物を与えたという。前年とよく似た内容である。

1556年には豊後(大分)でクリスマスが祝われた。1557年の豊後でのクリスマスでは宣教師の屋敷に収まりきれないほどの人が来たとあり、ここからも日本のキリシタンの積極性がみられる。

1562年には長崎と京都でクリスマスが祝われた。京都のクリスマスの様子が、ここまでのクリスマスの様子とは少し変化している。それは、日本のキリシタンたちが話を聞くだけでなくより一層積極的になっているということだ。具体的には、告白をしたり、司祭に頼るのではなく自分たちで式を行おうとした。この年のクリスマスに訪日した司祭は日本のキリシタンの信仰の深さに感嘆したという。

この後大分と長崎でのクリスマスがよく記述されている。最低でもどちらか一箇所毎年行われていたのだろう。

1566年は大分、堺、京都でクリスマスが祝われた。堺のクリスマスでは告白、ミサの後食事をしながら神について語った。

2. 異教徒とクリスマス

1562年にはクリスマスのミサを行った建物に異教徒により石が投げつけられたとある。逆にキリシタンが寺院を襲撃したという記録も残っているため、キリスト教と、もともと日本にあった宗教は関係が良くなかったことが分かる。

1566年に堺で行われたクリスマスでは、異教徒のことを『不審者』と記している。また、食事をしながら神の教えで僧侶たちをどのように論破してきたかという話をした。1556年に石を投げつけられたことと今回のことから、キリスト教が異教徒と相容れなかった様子が分かる。

一方大分では、聖書の話の演劇を催した。キリシタンでない人も押し寄せ、制限を設けないといけなかったほどの大盛況だった。

次いで1568年には長崎でクリスマスの日に演劇が催された。希望者全員が見れるように大きな舞台を作り、2000人ほどが見に来た。もちろん異教徒も含む。これらの演劇を見に来た異教徒はキリスト教に興味があるのではなく、ただ単に異国文化を味わいたいだけの人などもいただろう。

ここで重要なのが、宣教師がクリスマスを布教のための手段として扱い始めたことである。本来ならばキリストの生誕を祝うためであるクリスマスに、異教徒を招く意味などないはずだ。

この後、目立ったクリスマスは1583年の大坂に新しく建てられた教会でのクリスマスだ。この時大坂には日本中から異常な数のキリシタンが参集した、とある。

3. クリスマスの規模拡大の理由

1566年に大分で演劇が催された。演劇が催されたのは大名によるキリスト教保護によってキリシタンの数が増えたからだと考える。1550年代後半になると南蛮貿易を目的としてキリスト教を保護する大名が現れた。保護を受けることにより、施設を建設することができるようになったり、異教徒からの攻撃を防ぐことができた。また、宣教師らは慈善活動を積極的に行った。これらの理由によりキリシタンの数が増加し、クリスマスの規模も拡大したと考える。

4. 再び生誕を祝うクリスマスへ

1587年に豊臣秀吉によるバテレン追放令が発令されたため、大っぴらにクリスマスを祝うことができなくなった。

それでもひそかに信者を増やし、毎年クリスマスが祝われた。1591年大分でのクリスマスは「なしうる限りの盛大さを持って降誕祭が祝われた」とある。雪の中遠方から歩いて集まり、2000人に達したという。クリスマスの日には日本国内にいる少ない司祭の元へ集まった。

このように、バテレン追放令によって大っぴらに布教をすることができなくなったので、再びクリスマスがキリストの生誕を祝う目的で催されるものとなった。

3. まとめ

16世紀のクリスマスは当初は、キリストの生誕を祝うものとして扱われ、熱心なキリシタンに宣教師が聖書の内容を説いたりしていた。しかし、異教徒との交流により、演劇などの本質とは異なる部分が目立つようになった。バテレン追放令によってこのような動きはあまりみられなくなった。

ここから、宣教師たちはクリスマスを布教のための手段として扱うようになったといえる。

4. 補足と今後の展望

イエズス会士、フロイス日本史は両方ともイエズス会による布教活動の活動報告が元になっている。ゆえに、キリスト教側からの視点であるがために過激な表現が用いられることもあり、過剰に書かれている部分もあるだろう。

今後は江戸時代のクリスマスについて調査し、明治時代以降の現代的なクリスマスへの変容を解明したい。

5. 参考文献

「愛と狂瀾のメリークリスマス」堀井憲一郎, 講談社, 2017

「フロイス日本史」ルイス・フロイス、松田毅一・川崎桃太 訳, 中央公論社, 1963

新卒採用における学歴フィルター以外の選択肢を模索する

1. はじめに

今日、就職活動の際に大学名だけで判断される事例が見受けられる。家庭の事情で大学に通えない人や、大学を中退してしまった人などでも、優秀である人は少なからずいるため、そのような人たちが大手企業に入りたいと考えても、学歴フィルターのせいで説明会にすら参加する機会が与えられないのである。そこで私は、学歴ではなく何か違った方法でフィルターをかけることはできないかと考えた。

2. 学歴フィルターとは

学歴フィルターとは就職活動において、企業側が大学名でフィルターをかけ、偏差値の高い大学生を優遇し、低い大学生をふるい落とす仕組みである。ここでは「偏差値の高い大学」を、一般的に偏差値が60以上と言われている、旧帝大、一橋大、東工大、神戸大、早慶上智、MARCH、関関同立、中堅国公立大と設定する。

ここで過去に学歴フィルターが使われた例を見ていく。

- ・2011年7月、キヤノンの会社説明会において申込画面に、大学別に予約フォームが作られていた。
- ・2015年6月、ゆうちょ銀行の会社説明会の申込みの際に、中堅大学の学生が自身の大学名で予約しようとしたところ「満席」と表示された。しかしその後、試しに東京大学と入力してみると、「予約可能」と表示された。
- ・2018年3月、ある企業の説明会の申込みの際に、帝京大学の女子学生が自身の大学名で予約しようとしたところ「満席」と表示された。しかしその後、試しに早稲田大学と入力してみると、「受付中」と表示された。

これらの例を見ると、大学名でフィルターをかけられていることがはっきり分かる。

なお、学歴フィルターは中途採用でも使われる場合があるが、この研究では新卒採用においてのみ考えるものとする。

3. 学歴フィルターを使う理由

ではなぜ企業は学歴フィルターを使うのだろうか。理由は2つ考えることができる。

まず1つ目に面接の効率化が挙げられる。有名企業であれば就職倍率が100倍を超える企業も多い。就職倍率は、エントリーした就活生数÷採用予定人数で求められる。例えば株式会社明治では2023年度の就職倍率が320倍にもなった。このような会社では一人ひとり面接していくことはほぼ不可能に近い。また提出されたエントリーシートすべてに目を通すことも難しい。明治の採用者の出身大学を見ても東京大学、早稲田大学、大阪大学、と偏差値の高い大学ばかりであり、学歴フィルターを使っている可能性が高いといえる。

2つ目は努力した結果がはっきり分かるからである。面接前の就活生の情報はごくわずかであり、それだけの情報でどの就活生が自分たちの会社のために努力してくれるかを判断しなければならない。そこで最終学歴が有効になってくる。「偏差値の高い大学」を卒業できたということは、その人が少なくとも一定の努力をした人であるということの客観的な指標となり、「偏差値の高い大学卒」という経歴は一種の社会的信用となりうるのである。

しかし、学歴が高いからと言ってその企業に必要な人材であるとも限らないし、逆に学歴の低い人は必要な人材ではないとも限らない。学歴という一観点だけで、活躍の場を失うことになってしまうのは、非常に歯がゆいことである。

4. 学歴フィルターの代替案

以上に挙げた学歴フィルターの利点を考えると、やはり最終学歴が面接前に役立つのはわかるだろう。しかしこれでは「偏差値の高い大学」を卒業していない人の受けられる企業が減ってしまうと言う問題は解決されない。ここで私は学歴フィルターの利点を残しつつ、同じ効果を得られる方法は他にないかと考えた。だが、資格によってフィルターをかける方法、就活生一人ひとりを点数化する方法など、学歴フィルターにかわる可能性のある案をいくつか考えたが、どれも問題点が多く、実用には程遠く思えた。

ここで企業が実際に行っている採用方法について調べると、ユニークな採用方法を使っている企業があることが分かった。例えば、漫画・ゲームのイラストに特化した制作受託業務「GIKUTAS」を運営している株式会社サーチフィールドでは「絵ごころ採用」と呼ばれる採用方法を行っている。この採用方法は、履歴書不要、ポートフォリオのみで選考を行い、面接を二回行うだけである。また、メイクアップ化粧品、基礎化粧品、医薬部外品など化粧品全般の企画から研究、製造、販売まで、一貫体制で行っている株式会社伊勢半では「顔採用」が行われている。この方法は一般的に知られているルックスだけで判断する「顔採用」とは違い、就活生自身の自分らしさが表現できる服装、メイクで面接に参加してもらう方法である。これらの例のように各企業に求められるもの、ことを面接での判断基準にしている企業もある。

私はこのような方法が大手企業にも適用できるのではないかと考えた。イラスト系の企業であればポートフォリオ、化粧品会社であれば、メイクなどを用いた自分らしさの表現の仕方、またテクノロジー系の企業であれば、自主的に制作した作品やサービス、学術論文、学会での研究発表などを面接での判断基準にするのである。

ただし、これらの方法を用いてすべての就活生を面接するとすると、膨大な時間がかかり、これではかえって不便になるだけである。そこでこれらの方法を用いて面接する就活生の数は企業の採用予定人数の少なくとも2倍にするなどと決める。そして今までの通り学歴フィルターが使われた結果面接を受けることができる人と、この方法を用いた結果面接を受けることができる人の中から採用する人を選ぶようにすることで、「偏差値の高い大学」を卒業している人もしていない人も同じ土俵に立つことができる可能性が高くなるだろう。

5. 結果と考察

上記のように、学歴フィルターを完全に無くした状態でフィルターをかけることは難しいが、学歴フィルターに加えて、自分らしさを表現したり、自作のアイデアを提出したりするなど勉強面以外での能力で面接を受けることができる採用方法を使う大手企業が増えれば、現在学歴フィルターによって生じている問題は解決すると考える。

6. 参考文献

福島直樹 (2018) 『学歴フィルター』小学館新書

【企業選び】就活での企業の倍率って?調べる方法3選!<https://jo-katsu.com/campus/4284/>

【就職難易度は？】明治(meiji)の採用大学ランキング学歴フィルター、倍率、選考フォローも https://reashu.com/meiji_saiyoudaigaku/

「絵ごころ採用」 | 株式会社サーチフィールド <https://www.searchfield.jp/employ/>

応募方法 | 新卒採用情報 | 伊勢半グループ

<https://www.isehangroup.jp/recruitment/newgrads/application/>

顔採用、はじめます。 | KISSME | 私らしさを、愛せる人へ。

<https://www.isehangroup.jp/kissmeproject/kaosaiyo2020/>

イギリス教育改革変遷に学ぶ脱ゆとり後の教育

1. はじめに

今の日本のバブル崩壊からコロナ禍にかけて長期に渡る不景気、国際競争力の低下、国民に広がる政治的無関心など自分たちが身近で不安に感じているこの状況に日本病という言葉がついていることを知った。そしてこれはかつてイギリス病という言葉が使われていたことに由来する。イギリス病とはなにかを調べると、その克服のためにイギリスは教育改革を行なった事が分かった。私自身がイギリス教育を経験したこともあり、2国の教育改革を比較することで教育の観点から「日本病」の改善に一石を投じることを考えた。

2. イギリスの教育改革変遷

1960年から1970年代にかけてイギリスでは「イギリス病」¹と呼ばれる経済停滞現象が起こった。具体的には工業生産や輸出力の減退、長く続くインフレと国際収支の悪化、それに伴うポンド貨の下落といった経済の停滞と、この状況に対処できていない状態を指す。その結果国家財政は大幅赤字となり福祉国家の維持が困難となった。

ここで当時のキャラハン首相は「イギリス病」を克服するためにこれからの社会を担う子供たちをどう育てるかが重要で、学校だけでなく保護者、地域も連携して考えていくべきだと主張した。ここからイギリスの教育改革は動き出した。

そして1980年代になってさらに大きなイギリスの教育改革が行われる。当時の首相サッチャーはさらに親と学校の新しい関係、すなわち学校を市場資本とし親を消費者として市場原理を学校教育に導入することを試みた。「品質保証国家」²と呼ばれる体制の登場である。保護者には学校選択の権利を得る代わりに学校経営に対して責任を負わせることになった。また、1988年の教育改革法によってイギリスで初めてナショナルカリキュラム（全国共通カリキュラム）が作られ、その定着度をはかる全国一律のナショナルテスト（義務教育段階で4回行われる）が導入された。各学校の生徒のナショナルテストの結果は学校の評価となり、学校選択のものさしとなった。

しかし学校教育に市場原理を導入することには反発が多く、批判が集中した。批判の主張は主に次のとおりである。

1) 市場原理導入による成果主義は教師の関心を教育の質から遠ざけテスト対策中心となって、教師がその教科の魅力を自由に伝えることを制限することになった。2) 低収入の家庭が一部の地域に集中したり、塾代や学費が高すぎて払えないなど家庭の経済状況によって学校選択の余地が制限される不平等が生じた。3) ナショナルカリキュラム・ナショナルテストの導入が早急すぎてうまく機能していない面があった。

「品質保証国家」体制によって数値的には学力向上が望める。しかし目指す学力向上とはテストの数値を上げることに固執することなのだろうか。

こうした批判を得てイギリス教育は脱「品質保証国家体制」の方向へ転換していった。

¹ 『現代イギリス「品質保証国家」の教育改革』大田直子著、世織書房 23項

² 『現代イギリス「品質保証国家」の教育改革』世織書房 19頁

1990年代になって世界はグローバル化が進み変化が著しい時代になった。イギリスが競争に打ち勝つためには新しい課題を自ら見つけ解決を目指し、それを生涯続ける生涯学習の姿勢が確立されることが重要となった。この時期ブレア首相は今までの教育改革の流れを汲み取りつつ、サッチャーの時代に広がった学校間格差の是正のために予算を重点配分などをして脱学校間の市場主義を進めた。ただしサッチャー時代に制定されたナショナルカリキュラムは維持し、基礎学力の徹底をめざした上でカリキュラムの幅を狭めず多様な学びを重視した。またグローバル化が進んだ時代になり、それに対応できる人材育成のためのプレゼンテーションやディスカッションなどのアクティブラーニングを積極的に取り入れた。

3. 戦後の日本の教育とその後

発展には教育が欠かせないことがわかる。両国は様々な教育改革を行いながら今日までやってきた。どんな制度も完璧とはいえず様々な批判を受け少しずつ改善してきた。現在両国に共通してるところは今日のグローバル化が進み急速に変化し続ける世界において主体的に問題をみつ戦後高度経済成長期、画一的で知識詰め込み型の教育が威力を発揮し国民の基礎学力が底上げされ工業化、経済成長に貢献した。しかしその経済成長によって教育事情にも変化が訪れる。進学率の大幅上昇である。その結果、「良い大学」に入り、「良い職業」につくことが理想とされる学歴社会が形成された。これに伴って激しい受験戦争が起こった。

その背景から「落ちこぼれ」とその増加による学校の荒廃が問題となった。また1991年にバブルが崩壊し長期的な経済不振が始まり、その状況を打破できる政策が打ち出せず国民に政治的無関心が広がる「日本病」がはじまった。これは現在のコロナ禍まで続いているようで、これは「イギリス病」の状況に似ていることから「日本病」と揶揄されることになった。現在、世界はグローバル化が急速に進み異文化理解力や発信力など新しい力が重視され始め、必要な力が変化する時代になった。

これを背景に日本では「ゆとり教育」という教育的政策が行われることになった。ゆとり教育とは学習指導要領改正による時間削減により学習時間にゆとりをもたせ、詰め込み型勉強ではなくグローバル化した世界に対応することを見据えた総合的な学習の時間を導入したことである。総合的な時間では生徒が主体的に課題解決能力を身につけることを目的にディスカッションやプレゼンテーション、教科書を読むだけでなく実際に内容を体験してみるなど活動的な授業をすることを目指した。これはグローバル化が進む世界に日本が対応していくための理想論であった。しかしこれらは新しい試みであった為指導できる教師が少なかったり、学習内容を削減したことから従来の学習よりも学力が下がったという主張があがったりなどして成功したとは言い難かった。では脱ゆとりのために従来の制度に戻せばいいのか。そうではなく、基礎学力を維持しつつゆとり教育を掲げた、時代にあった理想を実現するバランスのとれた教育が必要なのである。

4. 両国の比較からの結論と考察

「イギリス病」「日本病」のような経済不振があったときどちらの国も教育改革を重視したことからわかるように経済と教育は切っても切れない関係であり、その国のけアプローチし解決する力、そしてそれを発信する力を身につけることが必要で、そして変化していく世界に対応できるよう生涯に渡って新しいことを学び続けていく生涯学習の姿勢が重視されるということだ。これをどのように実現させるかが両国の課題である。

実際に日本でもゆとり教育が掲げたように自主学習（自主的に問題をみつけアプローチし解決する力、それを発信する力）をつけることを目的にした課題研究学習を進める動きがどんどん広がってきている。例として平成14年から文部科学省は基準を満たした高校55校をスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定して支援した。SSHでは課題研究のテーマ決めから発表までの指導が授業で行われていて、大学との共同研究なども取り入れられている。ここで開発された課題研究の指導法などのノウハウを探究活動指導の専門能力に長けた教師の育成にいかせるよう調査・分析することや、実際に課題研究授業を体験した生徒が将来教師として自身の経験を還元することで日本の課題研究型の教育は広がっていくだろう。我々が大手前高校もSSHとして指定されていて、私自身も課題研究の授業を体験し効果を実感している。そしてこのSSHでなされていることが少しずつ地域の他の高校や、小、中学校と共有され実践されていけば日本でも課題研究の普及は可能になるだろう。その結果戦後のただ大量の詰め込み型学習ではなく、ゆとり教育での理想を実現につなげる、今までの教育の利点を取り入れた新しい日本の教育をつくれると考える。

5. 主な参考文献

- ・『現代イギリス「品質保証国家」の教育改革』大田直子著、世織書房、2010年
- ・1988年イギリス教育改革法の主要点と問題点 鈴木正幸、小口功、佐藤実芳、大井浩、日本比較教育学会紀要第16号 [1990年]
- ・イギリス教育改革の変遷—ナショナルカリキュラムを中心に— 吉田多美子、レファレンス平成17年(2005年)11月号

GNH指数が高ければ幸せなのか～ブータンの課題とその解決にむけて～

1. はじめに

今やブータンにとってGNHは国家維持に欠かせないものである。GNHに関する問題は多く挙げられているが、2021年から2022年に実施されたGNH調査からも分かる通り、GNHは改良され続けている。しかしGNHに関する論文は多いが、測定方法や指標に関するものばかりである。ブータンの課題を踏まえた論文は殆ど見当たらない。本研究ではGNH調査だけでは明らかになりにくいブータンの課題に注目し、GNHについて考える。そしてブータン国民の幸せのために、GNHの他に効果的な解決策を考察する。

2. ブータンについて

まずブータンについて説明する。ブータンは、ヒマラヤ山脈南麓に位置する内陸国で北は中国、南はインドに国境を接している。国土面積は、約38,400 k m²（九州と同じくらい）、人口は約77.9万人、多民族国家で、宗教は主にチベット仏教とヒンドゥー教を信仰している。



図1 ブータンの地図(外務省HPから引用)

3. GNHとは

次にGNHについて説明する。GNHとはGross National Happiness(国民総幸福量)の略称で、GNH指数とはブータン国民の幸せを数値化したものである。山下(2020)によると、精神的な豊かさを重視する考え方はチベット仏教の思想により、チベット仏教圏の人々にもともと根付いていた。それが第4代国王(在位1972～2006)のときに初めてGNHという概念として発表された。

測定方法はランダムに抽出した国民へのアンケートの実施である。アンケートの質問には客観的指標(学歴、離婚率、年収など)と主観的指標(家族との関係に満足しているかなど)の両方が用いられている。これらは9つの指標(地域の活力、文化の多様性、教育、時間の使い方とバランス、人々の健康、良き統治、精神面の幸福、環境の多様性と活力、生活水準・所得)に基づいて、作成されている。また地域、年齢、性別、職業などの相違による調査も行い、それらからブータンの問題と課題を明確にする。そして明らかになった問題を解決できるよう政策に反映している。また前回のGNH指数と比較することで、GNHはブータンの政策の効果を審査する手段になり、さらに良い政策の実施にも繋がる。

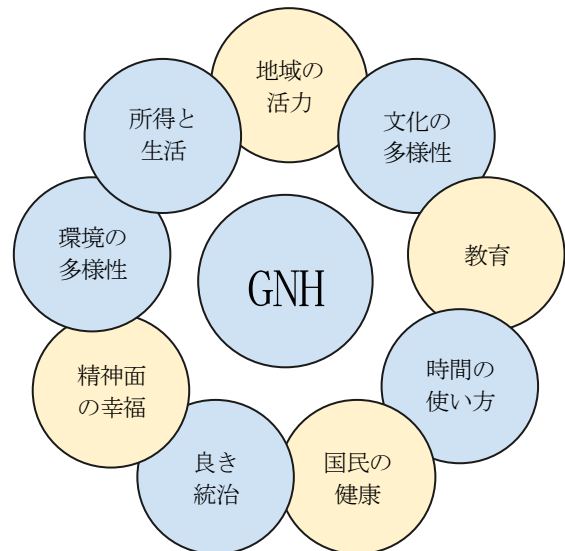


図2 GNHの9つの指標(外務省HPに基づき作成)

GNHは2005年にブータン研究所によって開発され2007年から公式調査が行われてから、最近では約5年に1回調査が行われている。ブータンでは、国民の幸福を最大化することを国家政策の基本としており、これらの結果は第9次5ヵ年計画から政策に反映されている。[2]

このように物理的な豊かさだけでなく精神的な豊かさに着目したことで、ブータンは世界の注目を集めた。

4. GNHの背景

しかし真崎（2017）によるとGNHの背景には、国際化する中でブータンという独立国家として存続する目的もあった。[3]

ブータンは中国とインドという大国に周りを囲まれている。経済が発展しきっていない状態で経済発展を重視する政策をとれば、ブータンは各国の経済進出先となり国外の労働者が大量に流入してくる。現に1980年代以降、国際化したブータンではインド人労働者への依存が問題視されるようになった。小国でありながらも独立国家として存続し、かつ経済を発展させるためには、精神的な豊かさを重視する政策をとり他国との違いを明確にする必要があったのだ。そのため1980年代以降のブータンではGNHの最大化が国家目標とされ、アイデンティティの確立が急速に図られてきた。

手っ取り早くGNH指数を高くするには、国民の大多数が幸せを感じるような政策をとればいい。そこで政府が急速にアイデンティティの確立を図る中、マイノリティはその犠牲になったのではないかと考えた。前述したようにGNH指数は前回の結果と比較することが重要である。そのようにGNH指数の変化を見ていき、今後GNH指数が高くなったとすると、それは本当に幸せといえるのか。本研究ではGNHに反映されにくいと思われる人々に焦点を当て、ブータンについて考える。なお本研究においてGNHの最優先目標は、特定の人々の幸せが優先されないこととする。つまりブータンが目指す幸せとはブータン国民の幸せが平等に守られることとする。

5. 女性

ブータンでは女性への家庭内暴力が正当化されており、女性の現状が反映されにくい。

2010年にユニセフが女性(15～49歳)に行った調査では、食べ物を焦がした場合、口論した場合、黙って外出した場合、子どもたちを無視した場合、性的関係を拒否したりする場合、これらのいずれか少なくとも一つの理由で夫が暴力を振るうのは正当であるか尋ねた。結果68.4%の女性が、夫が妻に身体的暴力をふるうことの正当性を容認しているとわかった。

Time period	2012	2011	2010
Geographic area			
Azerbaijan	- (*)	28	-
Barbados	(*) 3.3	-	-
Bhutan	-	- (*)	68.4

表1 夫が暴力を振るうことは正当であると答えた女性の割合(UNICEF Data Warehouseより引用)

また2015年のブータン研究所のGNH調査レポートによると、GNH調査にはジェンダーに関する質問はあるものの、『Do you feel that if you wanted, you are free from discrimination based on gender? (望めば性別による差別から解放されると思うか?)』という主観的なものしかない。

Q88. Do you feel that if you wanted, you:

		Yes, definitely	Yes, maybe	No	Don't know
Rights2	Would have right to freedom of speech and opinion	3	2	1	8
Rights3	Would have right who to vote	3	2	1	8
Rights4	Would have right to join political party of your choice	3	2	1	8
Rights6	Would have right to form tshogpa or be a member of tshogpa	3	2	1	8
Rights7	Would have right to equal access and opportunity to join public service	3	2	1	8
Rights8	Would have right to equal pay for work of equal value	3	2	1	8
Rights10	Are free from discrimination based on gender	3	2	1	8
Rights11	Are free from discrimination based on ethnicity	3	2	1	8
Rights12	Are free from discrimination based on language	3	2	1	8
Rights13	Are free from discrimination based on political affiliation	3	2	1	8

表2 GNH調査の質問抜粋(GNH調査レポートより引用)

現状として、GNHでは9つ全ての指標において男性より女性の方が幸福量が低くなっている。しかし地域の文化によっても女性の役割や地位は異なるためジェンダー問題は非常に複雑なのが実態である。これらのことからGNHは、女性の現状を反映するには不十分といえる。

6. 少数民族

多数民族の文化を優先する政策がとられてきたブータンには、少数民族の立場が弱い現状がある。ブータンは多民族多言語国家であるため、ブータン政府は国のアイデンティティを確立するべく多数民族の文化を尊重する政策をとってきた。比較的話者数の多かったゾンカ語を国語にした結果ブータンでは、19言語中9言語は消滅危機言語となっている。表3はブータンで話されている民族語の一覧で、△がついているのが高齢者は使用していても若年層は使用していない消滅危機言語である。[7]

学校で使用できる言語は英語とゾンカ語に限られており、民族語は地域や家庭内でしか使われない。今後ゾンカ語以外の言語は話者数が減っていくことが予想される。

また1989年から、政府はブータン国民に、公の場(役所・学校・寺院・公式行事、集会な

言語名	地域	話者人口
Dzongkha	西ブータン	160000
Tshangla	東ブータン、インド、中国	138000
Cuona Menba	ブータン、中国、インド	50000
Bumthang	ブムタン	30000
Lepcha△	サムチ県、インド、ネパール	30000
Cho-ca-nga-ca-kha△	モンガル県、ルエンツェ県	20000
Dzala	タシガン県、ルエンツェ県	15000
Kurtöp	ルエンツェ県、クル川西岸	10000
Lakha△	ワンディ・ボダン県	8000
Brokpa△	サクテン谷、ワンディ・ボダン県	5000
Kheng	ケン地区、シエムガン県ブムタン南部	4000
Lhokpu△	サムチ県	2500
Chali△	モンガル北部、クル川東岸	1000
Dakpa△	タシガン県、インド	1000
Gongduk	モンガル地区、クル川	1000
Nyenkha	マンデ川	1000
Black Mountain△	中央	500
Brokkat△	ブムタン	300
Nupbikha	ブムタン県、トンサ	不明

表3 ブータンで話されている言語
(第10次ブータン友好訪問団調査報告より引用)

ど)での多数民族・チベット系の民族衣装「ゴ」

や「キラ」の着用、伝統的儀礼作法「ディグラム ナムジャ」を義務付けている。

9つの指標には「文化の多様性」が含まれているにもかかわらず、このように多数民族の文化の優先がみられ、少数民族の意見は政策に反映されにくいといえる。

7. 障がい者

ブータンには障がい者への差別意識が存在し、障がい者の立場が弱い現状がある。

ブータンではチベット仏教が信仰されている。山下（2020）によるとその「輪廻転生の精神」の思想では現世において功德を積む(善行を行う)ことが、幸福な来世につながるとされる[2]。それはすなわち現世で悪事を働くと不幸な来世になることを意味する。そのため青木ら（2010）によると、障がいを持った人々は前世に悪事をはたらいた(あるいは悪い『業』を積み上げた)とされ、その家族が家庭内にかくまってしまうケースが多い。また首都のティンプーの繁華街においても歩道に段差が多く、スロープのようなものもないため、身体に障がいを持った人が暮らすには厳しい環境である。

[8]

またGNH調査にも障害に関する質問はない。このように障がい者への理解が遅れていることから、障がい者の意見は政策に反映されにくいといえる。

8. 結論

ブータンは国家の利益の優先、つまり大多数の幸福を優先してきたことがわかる。そのため立場の弱い人々の幸福は優先度が低く、GNHや政策に反映されにくいという現状が存在する。ブータンが国家の利益を優先し続ける限り、ブータン国民の幸せは平等に守られていないため、GNH指数が高くとも幸せとはいえない。ブータンで経済が発展しつつある今、これからブータンが目指す幸せの理想像を再度考え直す必要がある。またそうすることにより、さらなる実質的なGNHの最大化ひいてはブータンの国家の利益に繋がると考えられる。

9. 解決策

解決策として考えられることは、このようなマイノリティだけでGNH調査を行うことである。調査対象の抽出方法によっては結果に偏りが出る可能性はあるが、ブータン国民全体のGNHよりもより顕著な結果を得られると考えられる。

また挙げた課題の中から、特に障がい者への差別に関して考察した。チベット仏教の教えに基づく差別は、ブータン国民をはじめチベット文化圏の人々に強く根付いており深刻である。

現世において功德を積む(善行を行う)ことが幸福な来世につながると前述したが、藤本（2019）によると仏教の教えには2種類の善行がある。ひとつは「心が汚れる前に先回りして善を行う」という積極的に行う善である。もうひとつは「三悪をしないこと」という消極的に行う善である。三悪とは貪(欲)、瞋(怒り)、痴(真理を知らないこと)であり、自分のことばかり考えるのは良しとされない。そしてこの反対が善行、つまり自分の欲と怒りをなくし悟りに近い状態になろうとすることである。

[9]

障がい者を家に匿う理由は、後者の善行のためと考えられる。家に匿ってしまえば人と比べることがなく欲を抑えられるからだ。しかしこのままでは障がい者は積極的な善行を行うことができず、差別はなくなる。そこで鍵となるのが価値教育であると考えられる。価値教育とは一般的に価値観の教

育に関わる教育(ブータンでは王権・宗教・民族の三要素の授業)であり、日本の道徳に近いものである。その価値教育で消極的な善行ではなく積極的な善行を強調して教えれば、差別的な発想がなくなるのではないか。積極的な善行には社会への参加が必須である。そのため差別がなくなれば、障がい者の社会での活躍も期待できる。

藤本 (2019) によると、仏教において徹底的な善行は「自分」という垣根を捨てて、誰にでも平等な心になることである[9]。これこそが今のブータンが目指すべき幸せではないだろうか。

10. 展望

2021年から行われた最新のGNH調査については、研究時は資料がなく調べられなかった。2015年のGNH調査からどのように変化したのかを調べ、今後のブータンの課題を再度明らかにする必要がある。本研究の課題としては、ブータンの課題の背景をさらに調べることである。チベット仏教のように平等と文化が対立するような例は他にも多くあると考えられる。

11. 引用文献・参考文献

- [1]外務省 (2023).「ブータン基礎データ」 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/bhutan/data.html>
- [2]山下修平 (2020).「ブータン王国におけるGNH(Gross National Happiness)政策システムの発展過程および今後の方向性に関する研究」. 横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府
- [3]真崎克彦 (2018).「ブータン王国の国民総幸福 (GNH) の歴史的考察 ―開発計画の来歴の検証を通して―」. 『2017年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書』 175-195.
- [4]平山郁夫 (2017).「アイデンティティと安全保障～助教 平山のブータンつれづれ10～」<https://www.waseda.jp/inst/wavoc/news/2017/10/25/2962/>
- [5]UNICEF (2012).「UNICEF Data Warehouse」
https://data.unicef.org/resources/data_explorer/unicef_f/?ag=UNICEF&df=GLOBAL_DATAFLOW&ver=1.0&dq=.PT_F_15-49_W-BTNG..&startPeriod=2010&endPeriod=2012
- [6]Centre for Bhutan Studies & GNH Research (2016). A Compass Towards a Just and Harmonious Society 2015 GNH Survey Report
<https://www.bhutanstudies.org.bt/publicationFiles/2015-Survey-Results.pdf>
- [7]吉原博幸・加畑理咲子・谷悠一郎・西垣昌代・藤澤道子・道和百合・平田義弘・小野加奈子・千石真理・丸山晃央・須永恵美子 (2014).「第10次ブータン友好訪問団調査報告」
- [8]青木寛子・石戸光・川嶋香菜 (2010).「豊かさの経済を求めて：ブータン王国に思うこと」.
『千葉大学人文社会科学研究』 49-68.
- [9]藤本晃 (2019).「仏教から見た Ill-beingとWell-being」. 『トランスパーソナル心理学／精神医学』 17-27.
- [10]杉本均 (2000).「アジア諸国における教育の危機と価値教育：ブータンからブルネイまで」.
『比較教育学研究』 54-64
- [11]佐藤美奈子 (2020).「多言語社会ブータンの学校教育制度における 民族語・民族文化教育の位置づけ」. 『アジア・アフリカ地域研究』 113-152

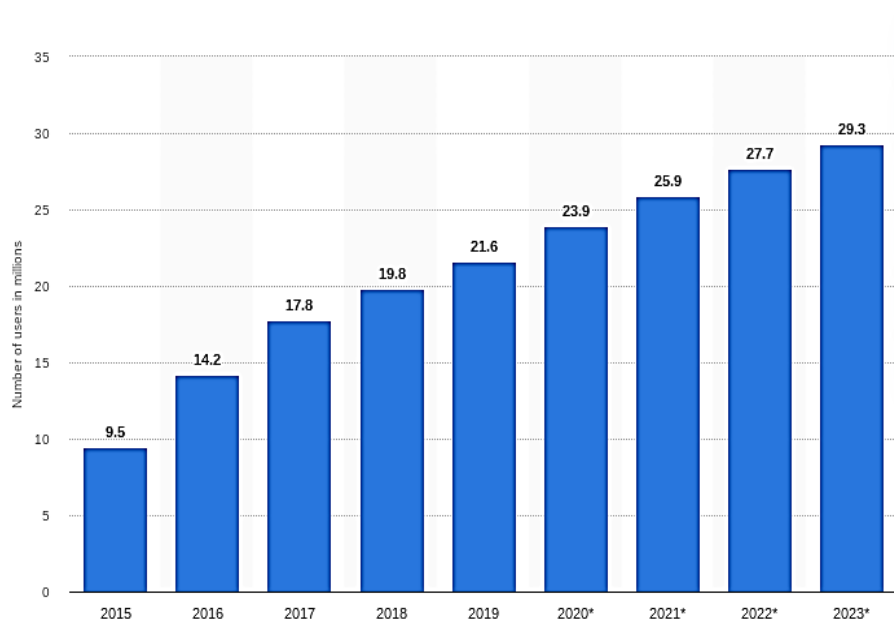
ハマっちゃう音楽のヒミツ

1. はじめに

誰もが、ファンではないアーティストの曲を繰り返し聴いてしまうことがあるだろう。私はその理由は何なのか気になり、今回研究することにした。方法として、韻、転調、構成、CMや主題歌の4つの項目に分け、一般的に繰り返し聴かれた曲と言える、ビルボードジャパンの年間ストリーミング再生回数トップ10の曲、2018年から2022年の5年間、計45曲を用いて考察していく。なお、「pretender」、「白日」、「宿命」、「夜に駆ける」、「ドライフラワー」の5曲が複数の年で重複しているため、50曲ではなく45曲となっている。また、日本有料サブスクリプション音楽ストリーミングの利用者数が2018年に約2000万人を突破したため、2018年からの集計にした。

	2018	2019	2020	2021	2022
1	打上花火	マリーゴールド	夜に駆ける	ドライフラワー	W/X/Y
2	U. S. A	Pretender	Pretender	Dynamite	ベテルギウス
3	Shape of You	白日	白日	夜に駆ける	シンデレラボーイ
4	さよならエレジー	今夜このまま	I LOVE...	怪物	なんでもないよ、
5	HANABI	君はロックを聴かない	紅蓮華	炎	残響散歌
6	TT	宿命	香水	Butter	ドライフラワー
7	Wherever you are	ノーダウト	宿命	群青	水平線
8	Change	パブリカ	115万キロのフィルム	うっせえわ	ミックスマッツ
9	Hero	まちがいがし	イエスタデイ	廻廻奇譚	新時代
10	My Boo	愛を伝えたいだとか	裸の心	勿忘	一途

出典 [Billboard Japan Top Streaming Songs | Charts](#)



出典 [On-demand music streaming service users Japan 2015-2023](#)

2. 韻

韻を踏むことはリズムを生み出し、聴き手の印象に残りやすくなったり、聴き手に口ずさみたくなるようにさせたりする効果がある。そしてこれらの効果は、繰り返し聴きたくなることに繋がると考えられる。

また、とあるサイトで韻を踏むとスリップビートと同じ効果が生まれると書かれていた。スリップビートとは、一定のリズムの中で時々拍をずらすことで聴き手を飽きさせなくするものだ。しかし、なぜスリップビートと同じ効果がうまれるのが根拠不足のため、今回は紹介だけとし、今後の課題にしたいと思う。

韻を踏んでいた曲は45曲中36曲あった。よって、韻を踏んでいる曲は繰り返し聴きたくなる曲と言える。

3. 転調

榊原（1993）では、次のように述べられている。

歴史的にも地域的にも音楽の存在しない文化がないという事実は、音楽が人間にとって重要な機能を果たすものであることの証と言える。本研究ではその最大の機能を、「聴き手に喜び、感動、快さ等の情緒的反応(ここでは総称してポジティブな情緒的反応と呼ぶ)を喚起すること」とみなす。そして「音楽的価値」とは、その機能を果たすことによって発生し、音楽の理解とは、聴き手がそうした音楽的価値を享受する、つまりポジティブな情緒的反応を喚起されることと考える。…まず転調していれば期待から逸脱していると考え、さらに同じ転調でも転調先の調がもとの調と関係が遠いほど期待からの逸脱度は大きいとみなす。…言語評定、聴取選択を指標にそれぞれポジティブな情緒的反応を見た結果、いずれにおいても期待からの逸脱度が情緒的反応に影響を及ぼしていることが確認された。そしてその影響の与え方はおおむね「適度に」期待から逸脱したもので情緒的反応が最大になるという逆U字型のグラフであらわされる。すなわち、指標が言語的反応でも非言語的反応でも、仮説として挙げた関係は支持されたのである。

上記の先行研究において榊原は、期待からの逸脱、つまり転調が聴き手に喜びや感動などのポジティブな反応を及ぼすと言っている。そこから私はそのポジティブな反応が、同じ曲を繰り返し聴きたくなくなってしまうことに繋がっていると考えた。しかし、転調をしていた曲は45曲中20曲しかなかった。そのため、転調している曲は繰り返し聴きたくなるとは言い切れないことがわかった。

4. 曲の構成

	2018	2019	2020	2021	2022
1位	打上花火 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	マリゴールド Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	夜に駆ける Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ドライフラワー Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	W/X/Y Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
2位	U.S.A. Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	Pretender Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	Pretender Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	Dynamite Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ペテルギウス Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
3位	Shape of You Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	白日 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	白日 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	夜に駆ける Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	シンデレラボーイ Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
4位	さよならエレジー Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	今夜このまま Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	I LOVE... Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	怪物 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	なんでもないよ、 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
5位	HANABI Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	君はロックを聴かない Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	紅蓮華 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	炎 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	残響散歌 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
6位	TT Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	宿命 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	香水 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	Butter Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ドライフラワー Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
7位	Wherever you are Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ノーダウト Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	宿命 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	群青 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	水平線 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
8位	Change Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	パブリカ Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	115万キロのフィルム Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ラッセエワ Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	ミックスマッツ Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
9位	Hero Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	まらがいさがし Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	イェスタデイ Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	運命の門 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	新時代 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ
10位	My boo Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	愛を伝えたいだとか Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	裸の心 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	勿忘 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ	一途 Aメロ Bメロ Cメロ Dメロ Eメロ Fメロ Gメロ Hメロ Iメロ Jメロ Kメロ Lメロ

ここでは、曲の冒頭の歌のない、曲だけの部分をイントロ、歌手が歌い終わったあとの歌のない、曲だけ部分をアウトロ、曲の中で一番盛り上がる部分をサビ、そして、曲の出だしから曲調が変わるごとにAメロ、Bメロ、Cメロとする。

表より、一番多い構成は、「(イントロ)、Aメロ、Bメロ、サビ、Aメロ、Bメロ、サビ、Cメロ、サビ、(アウトロ)」で45曲中11曲だった。これ以外にもある程度の定番の型はいくつかあったが、逸脱しているものも少なくなかった。定番の型は聴き手に安定感を与え、逸脱しているものは聴き手の予想を裏切るという点で、繰り返し聴きたくなることに影響していると考えられる。しかし、現時点では根拠を発見することができていないため、はっきりとは言い切れない。

5. CMや主題歌

	2018	2019	2020	2021	2022
CM	2	1	1	1	0
ドラマ主題歌	3	3	2	0	1
TVアニメ主題歌	0	0	1	2	2
TVテーマソング	1	3	0	0	0
映画主題歌	2	2	2	1	2
なし	3	1	2	5	4

CMになっていた曲は5曲、ドラマ・テレビ・アニメの主題歌やテーマソングになった曲は17曲、映画の主題歌になった曲は9曲あった。CMやドラマの主題歌の主題歌になることで、自然と繰り返し聴取をすることが可能になる。

榊原（1996）では、次のように述べられている。

音楽を繰り返し聴くことによってその音楽についての印象が変わっていくという現象がある。例えば快感情を問題にした時、何度も聴くにつれ快感情が高まっていく音楽もあれば、逆に減少していく音楽もある。…一般には、聴く回数を増すと快感情も増すことが言われている。しかし実際には、全ての音楽が何度も聴くことで一様に好ましくなるわけではなく、最初同じように不快だった音楽の中にも少ない回数で確実に快感情が増していく音楽もあれば、なかなか快く感じられてこない音楽もある。また、繰り返し聴くことでかえって快感情が減じられる場合についても、すぐに快感情が減衰する音楽がある一方、比較的長く初めの快感情を保ち続ける音楽もある。

上記の先行研究において榊原は、同じ音楽を繰り返し聴くことは聴き手に快感情を与えるときと不快な感情を与えるときがあると述べている。よって、一概にすべての曲がハマってしまうことに繋がるとは言えない。

また、映画の主題歌になることは曲を知る単なる入り口にすぎず、繰り返し聴きたくなることに直結しているとは限らないと考えられる。

6. おわりに

ファンではないアーティストの曲を繰り返し聴いてしまう理由として、韻、転調、構成、CMや主題歌の4項目に分け、考察してきた。結果、韻は繰り返し聴きたくなることに繋がる、転調は理由とは言いきれない、曲の構成は影響しているかもしれないが、根拠不足である、CMや主題歌はすべての曲が一概にはそうとは言えないということがわかり、繰り返し聴いてしまう理由を明言することはできなかった。

今後の課題として、根拠不足だったものの根拠を見つけることと、他の要素でも探求し、理由を見つけることが挙げられる。

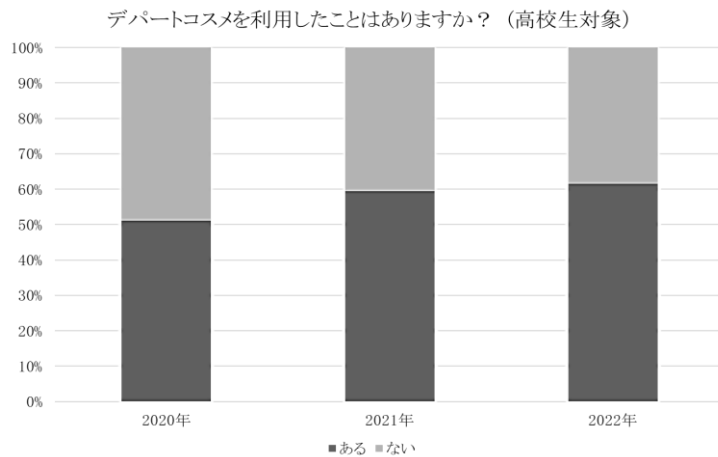
7. 参考文献

- ・榊原彩子「楽において期待からの逸脱が情緒的反応に及ぼす影響」『Japanese Journal of Educational Psychology』1993年
- ・榊原彩子「音楽の繰り返し聴取が快感情に及ぼす影響—リズムパターンの冗長性とハーモニーの典型性—」『Japanese Journal of Educational Psychology』1996年
- ・[Billboard Japan Top Streaming Songs | Charts](#) 2018-2022年分（最終閲覧日:2023年7月31日）
- ・[On-demand music streaming service users Japan 2015-2023](#)（最終閲覧日:2023年8月29日）
- ・<https://masatsumu-dtm.com/lyrics-03/>（最終閲覧日:2023年8月29日）

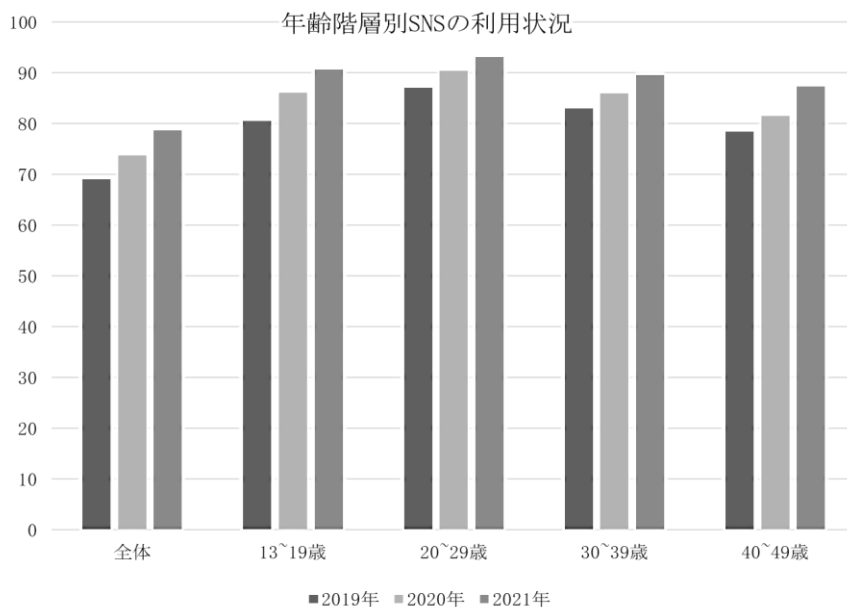
SNS時代を生きる高校生の消費行動

1. はじめに

高校生のデパートコスメ利用率は年々増加傾向にある。株式会社TesTeeが行った調査によると、「デパートコスメを利用したことがある」と回答した高校生は、2020年は51.1%、2021年は59.4%、2022年は61.5%と増加している。



また、総務省が行った年齢別SNS利用状況調査によると、13～19歳の層は2019年は80.5%と他の年齢層に比べて低い値を示していた。しかし、2021年は90.7%と常に最高値の20～29歳の層と約2%しか変わらない。また、この3年間で最も上がり幅が大きいのも13～19歳の層である。



これらの2つの調査から、高校生のデパートコスメなどのブランド品の購買意欲とSNSの利用率に相関関係があると考えた。そして以下の3点が原因になっていると考察した。

- (1) ブランド品をSNSに投稿することは自己肯定感を高める
- (2) SNSとブランド品は同調意識を高める
- (3) インフルエンサーの投稿による影響

2. 考察

(1) ブランド品をSNSに投稿することは自己肯定感を高める

ブランド品を購入することは、人に3つの効果を与えているとされている。

①他者と同じ社会集団に属しているという安心感

②他者に与える印象を操作する自己呈示の機能

例) 憧れの芸能人が持っているブランド品を購入することでその人の雰囲気させることができ、他者にその人に似ているという印象を与えることができる

③自分がどのような人間かという情報の発信

例) 自分の好み、自己資産など

また、SNSに投稿することで存在価値を可視化できる。奥井智之は、イマヌエル・カントが哲学書『判断力批判』で美的判断について述べたことを「人々が共同主観的に『美しい』と思うところに、美的判断は生じる」と解釈している。これをSNSに置き換えて考えると、SNS上の投稿に対する”いいね”が多いということは多くの人からの肯定であり、自分の存在価値を可視化しているのではないか。それによって、自己肯定感の向上に繋がる。

SNSが普及する以前は、ブランド品を所有して街中を歩いたり、周りの人に購入したことを話したりすることで自己肯定感を高めていた。そこに世界中の不特定多数の人から見られるSNSが普及したことで、ブランド品の写真を投稿し自己肯定感をさらに高めているのではないか。

(2) SNSとブランド品は同調意識を高める

前提として、学校という1つのコミュニティに属する青年期は同調意識が高い傾向にある。加えて、青年期は家族関係など他の人間関係に比べて、友人関係が最も強い結びつきを持つ。そのため関係を崩さないように、自分を押し殺して同調行動を取ってしまう。

また、SNSは次の2つの効果を持つ。1つ目は『FOMO(Fear Of Missing Out)』という効果。自分が知らない間に有益な情報が出回っているかもしれないという不安に襲われたり、自分だけが取り残されているように思ってしまったこと。2つ目は『バンドワゴン効果』。多くの人に支持されている(=バズっている)ものに対してさらなる支持が集まるということ。これらの効果は人にハーディング現象(同調効果)を引き起こす。

(1)①で述べたように、ブランド品を購入することは所属感を容易に得ることができる1つの手段である。同調意識が高い青年期に属する高校生の特性と同調行動を引き起こすSNSの性質が混ぜ合わさって、同調行動としてブランド品の購入に至りやすくなっているのではないか。

(3) インフルエンサーの投稿による影響

SNS上の広告や友人の投稿などがきっかけで消費行動を起こしたことが「ある」という人はX(40代～50代)・Y世代(20代後半～30代)72.1%、Z世代(10代～20代前半)57.1%と年齢が高い方が割合が大きい。しかし、SNSのインフルエンサーの投稿を見て消費行動を起こしたことが「ある」というZ世代は70.5%(中学生75.1%、高校生70.8%、大学生・社会人等65.7%)。これはX・Y世代がインフルエン

サーがきっかけで消費行動に移ったことが「ある」という割合に比べて高い。また、多くの高校生や中学生の消費に影響を与えたInstagramやYouTubeは写真や動画がメインとなっている。インスタグラマーやYouTuberなどインフルエンサーとして活躍する人が多く、そのような高校生、さらには中学生までも増えている。投稿の中には日常生活だけでなく、タイアップ企画や持ち物紹介、メイクの手順紹介などもある。そのような投稿を閲覧して参考にしたり、憧れを抱いたりして消費行動に移る人が多いのではないかと考えられる。またこれらの特徴を利用して、タイアップ企画やPRを依頼する企業も多い(=インフルエンサーマーケティング)。大学生以上の年代の多くに影響を与えたTwitterはトレンドを重視しているが、短文での投稿が多く、Twitterをメインとして活躍するインフルエンサーはかなり少ない。しかし、先程述べたインフルエンサーマーケティングには比較的安価な商品が多いため、デパコスなどの高価な商品はあまり扱っていない。そのため、タイアップ企画がきっかけでブランド品の消費に移っているとは考えにくい。だが、インフルエンサーの影響を受けて消費行動に至っている高校生が多いということは十分見受けられる。

3. 結論

以上の3点から、高校生のブランド品の購買意欲とSNSの利用率に相関関係があると私は考える。

4. 課題と今後の展望

最初に提示した2つの調査は疑似相関である可能性がある。考察が直接関わっているかどうか不明であるため、核心を突く事例を調べていきたい。また男女に違いはあるのか、アルバイトやお小遣いの有無や金額にも相関関係があるのかについても調べていきたい。

5. 参考文献

- ・ 奥井智之 (2013) 『プライドの社会学』 筑摩選書
- ・ 富永 朋信、ダン・アリエリー (2020) 『「幸せ」をつかむ戦略』 日経BP
- ・ 株式会社TesTee (2022) 「デパコスに関する調査【2022年版】」
https://lab.testee.co/depart_cosme2022
- ・ 株式会社TesTee (2021) 「デパコスに関する調査【2021年版】」
https://lab.testee.co/depart_cosme2021
- ・ 株式会社TesTee (2020) 「デパコスに関する調査【2020年版】」
https://lab.testee.co/depart_cosme2020
- ・ 総務省 (2019) 「令和2年度版 情報通信白書」
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/nd252120.html>
- ・ 総務省 (2020) 「令和3年度版 情報通信白書」
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd242120.html>
- ・ 総務省 (2021) 「令和4年度版 情報通信白書」
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf308000.html>

- ・千代坂 亜子 (2009) 「ブランド品の使用における自己呈示機能の研究」
<https://educational-psychology.edu.mie-u.ac.jp/thesis/2009/chiyosaka.pdf>
- ・杉田 綾香、松永 しのぶ、河野 義章 (2020)
「青年期における友人グループに所属する理由—学校段階、性別による検討—」
[file:///C:/Users/8144h/Downloads/%E2%91%A0%E5%AD%A6%E8%8B%912%E6%9C%88%E5%8F%B7%E6%9D%89%E7%94%B0%E5%85%88%E7%94%9F%20\(4\).pdf](file:///C:/Users/8144h/Downloads/%E2%91%A0%E5%AD%A6%E8%8B%912%E6%9C%88%E5%8F%B7%E6%9D%89%E7%94%B0%E5%85%88%E7%94%9F%20(4).pdf)
- ・株式会社インプレス Impress BUSINESS MEDIA (2022)
「消費のきっかけになるSNS、大学生以上『Twitter』、高校生『Instagram』、では中学生は？【スタディプラス調べ】」
<https://webtan.impress.co.jp/n/2022/12/21/44012>

カンナバーロはなぜバロンドールを受賞できたのか

1. はじめに

バロンドールとはサッカーにおける年間世界最優秀選手賞である。1956年にフランスのフットボール誌「フランス・フットボール」が創設した。(2007年までは受賞できるのはヨーロッパで活動する選手に限られていたが、)全世界のサッカー選手を対象に毎年30人の候補者の中から400人のジャーナリスト(FIFAランキング上位100位の国々の代表)の投票によって受賞者が選ばれる。ジャーナリストが個人的に年間優秀選手ベスト5を考え、それぞれにポイント(1位に6点、2位に4点、3位に3点、4位に2点、5位に1点)が与えられる。その合計ポイント数で1位に輝いた選手がバロンドール受賞者となる。得点を多くする選手が受賞しやすい傾向にあるのが現状だ。しかし、2006年受賞のカンナバーロはゴール数0だった。それにも関わらず、彼はなぜバロンドールを受賞することができたのか。

2. カンナバーロの特殊性

歴代のバロンドール受賞者全66年分を、ポジション、個人タイトル、所属クラブ、という3つの観点から見て、共通点を探した。まず全員に共通するのは、全員が国内リーグでMVPを受賞していること、また所属クラブで国内リーグ優勝を果たしていることだ。サッカーにはMOM(man of the match)という、1試合の中で最も活躍した選手に送られる称号がある。しかしそれに対して、MVPはワンシーズン、または1大会につき1人選出される。MVPを取るには、長期的な活躍をすることが求められる。

また、バロンドール受賞者の全体の94%がFW(相手ゴールに一番近く、チームの最前線に配置されることから「トップ」とも呼ばれる)というポジションでプレーする選手であることもわかった。そのため、サッカーにおいて、“長期的な活躍”と“得点をする”はほとんど同じ意味合いだと考えられる。

以上の点から、バロンドールは、年間を通して多くゴールした選手が受賞しやすい傾向にあると言える。

そんな中、過去66年間でDFがバロンドールを受賞した年は4年ある。1972年、1976年のベッケンバウアーと、1996年のマティアス・ザマー、2006年のファビオ・カンナバーロだ。しかしベッケンバウアーとザマーはリベロという、守備的な位置に陣を取りながらも積極的に攻撃参加するポジションでプレーしていた。故にゴール数も多い。対して、カンナバーロのゴール数は0である。カンナバーロは、国内リーグ優勝とMVP獲得という点では他のバロンドーラーと肩を並べるが、DFという点では全体のわずか6%に含まれ、さらに0ゴールという点では唯一の存在だ。

3. W杯が与えた影響

カンナバーロがバロンドールを受賞した2006年にはワールドカップドイツ大会が開催された。ドイツ大会で、カンナバーロ率いるイタリア代表は優勝を果たした。ここで注目すべきは、失点を2失点のみに抑えて優勝したことだ。イタリアの優勝によりカテナチオ(イタリア発祥の「堅守速攻」の戦術を意味するサッカー用語)が流行した。つまり2006年は守備への注目が高まった年だと言える。2006年バロンドールの投票で、イタリア代表正ゴールキーパーを務めたジャンルイジ・ブッフフォンが2位だったことにも裏付けられる。だからこそ、決勝トーナメント全試合にフル出場を果たし、守備の要として活躍したイタリア人の活躍がより一層評価された。

4. アンダードッグ効果の影響

アンダードッグ効果とは、劣勢または不利な立場側を応援したくなるという心理現象だ。

カンナバーロの大きな特徴はDFの割に小柄な体型にもある。熊谷嘉朗氏の「2006 FIFA World Cup ドイツ大会における競技力に関する一考察 -各国の体格差が与える試合結果への影響-」という研究によると、2006年W杯におけるDFの平均身長は、決勝トーナメントベスト4に進出した国で183cm、ベスト8に進出した国で182cm、予選最下位の国ですら181cmのように、軒並み180cmを超えている。このことから、カンナバーロの176cmは極めて小柄だと分かる。ゴール数0、小柄な体格、目立った活躍がない中での献身的なプレー、といった、カンナバーロ特有の不利な条件下での鬼才な活躍がジャーナリストらにアンダードッグ効果を促した可能性がある。身長で不利だったメッシや長く怪我に悩まされたカカにも同じことが言える。

5. まとめ

カンナバーロのバロンドール受賞は、W杯極めて少ない失点でのイタリア優勝により守備に関心が集まった中、彼がディフェンダーとして頭角を現したこと、恵まれない体格ながらも献身的なプレーを続ける姿にアンダードッグ効果が影響したこと、以上の2つが重なった非常に稀なケースだった。彼が受賞できたのはその特殊性があったからだと言える。ただ、カンナバーロ個人については詳しく研究できたが、相対的な証拠が不十分である。そのため、他の歴代受賞者についても深く掘り下げていくことが今後の課題だ。

6. 参考文献

- ・ <https://web.ultra-soccer.jp/news/> 「超WORLDサッカー!」
- ・ <https://www.roiblog.jp/worldcup2006-italy> 「イタリア代表 2006年【第18回W杯優勝メンバー・フォーメーション】」
- ・ <https://buono-italia.com/20180703/> 「【決勝トーナメント編】2006年W杯ドイツ大会 イタリア優勝まで の軌跡を振り返る」
- <https://sposuru.com/contents/sports-trivia/soccer-mom/> 「【MOM|マンオブザマッチ】サッカー MVPと違いは何?」
- ・ <https://pax-foot.info/2014/05/01/> 「過去15年バロンドール傾向と対策」
- ・ 茨城大学<http://sport.edu.ibaraki.ac.jp> > resume2006 FIFA World Cupドイツ大会における競技力に関する一考察

大学改革案

1. はじめに

現在の日本の教育にはある問題点がある。それは認知能力（偏差値）が非認知能力よりも重要視されていることである。しかし、その問題はアメリカを参考として大学の仕組みを改革することで緩和され、解決すると考える。

2. 非認知能力

〈非認知能力とは〉

「忍耐力がある」とか、「社会性がある」とか、「意欲的である」といった、人間の気質や性格的な特徴のようなものを指す。…（1）

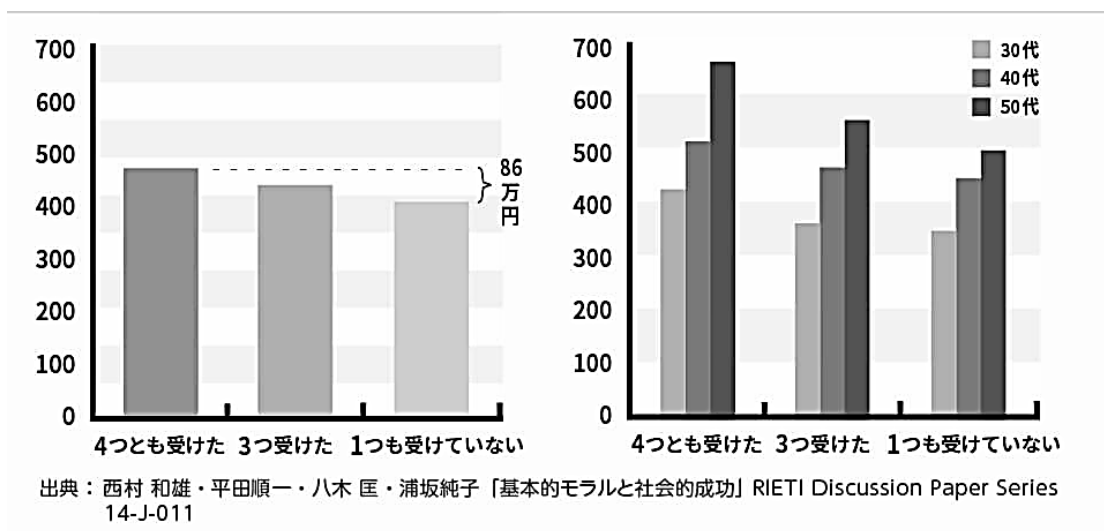
〈非認知能力の重要性〉

日本のデータを用いた実証研究でも、中・高校生の際に培われた勤勉性、協調性、リーダーシップなどの非認知能力が、学歴、雇用、年収に影響することを明らかにしている。神戸大学の西村教授らは、4つの基本的なモラル（嘘をついてはいけない・他人に親切にする・ルールを守る・勉強をする）を親からしつけの一環として教わった人とそうでない人の年収を比較した。（下図A）

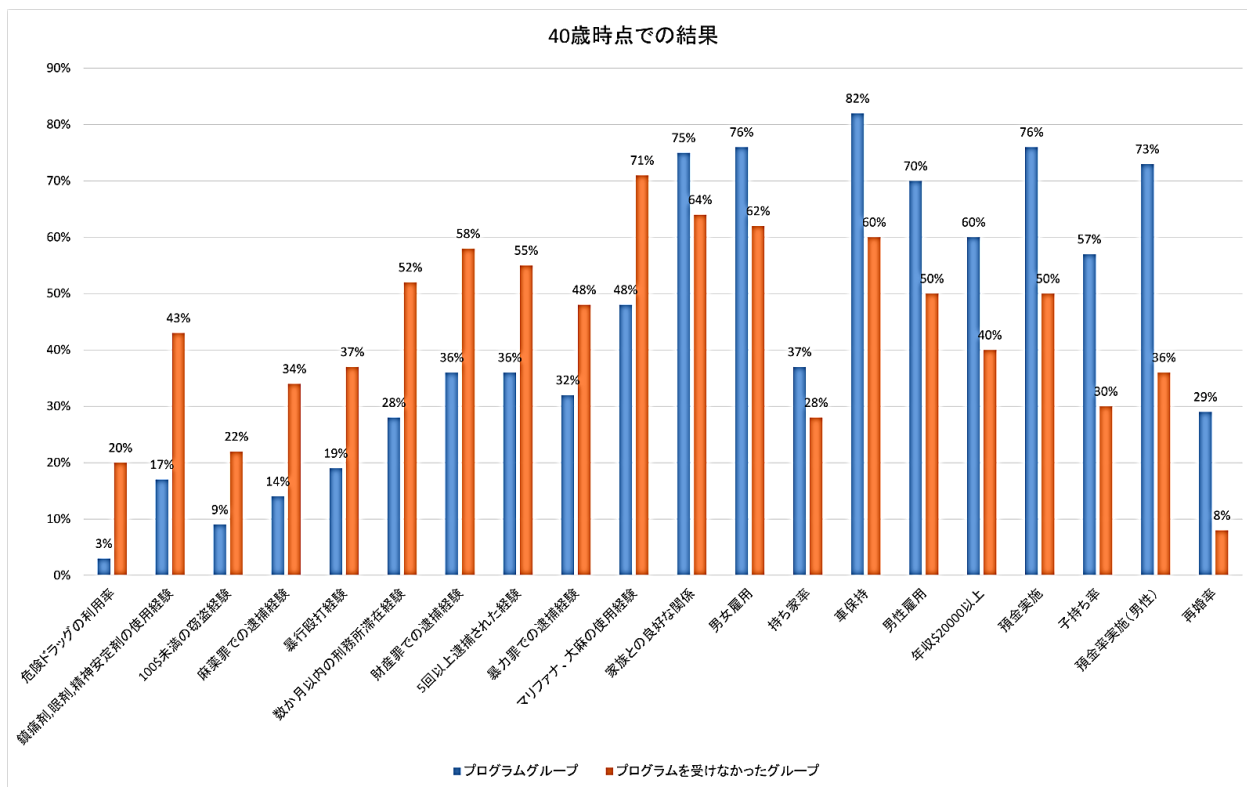
さらに、ペリー幼稚園プロジェクトでも就学前の非認知能力の向上が将来に良い影響をもたらしていることを示している…（下図B）

またこの非認知能力は「人から学び、獲得するもの」…（1）であり、勉強だけでなく、部活動や課外活動によっても培う必要がある。よって学校がその重要な役割を担っている。

図A



図B



3. 現在の教育の問題点

<生徒の評価方法>

アメリカと日本の学校教育の最も大きな違いは「ハードスキル」と「ソフトスキル」の比重である。ハードスキルとはテストで測定できる知識や技術、つまり認知能力。ソフトスキルはテストで測定できない技能のことで、コミュニケーション、問題解決力、協調性、周囲への影響力など、つまり非認知能力を指す。そして問題なのは、日本の学校教育はほぼ100%ハードスキルによって生徒を評価するということだ。高校や大学受験も一部の推薦入試を除いて、テストの点数で可否を判断する。周囲とコミュニケーションをとらなくても、授業に参加しなくても、リーダーシップを発揮しなくても、テストで高得点を取れば、良い成績がもらえ、希望の学校に合格できてしまう。… (2)

<卒業率と社会的評価>

日本の大学受験は個別の入学試験（2次試験）がある一方で、進学や卒業のハードルは低い。実際、日本の大学の卒業率が90%を超えているのに対し、アメリカの大学の卒業率は64%程度、中には10%を切る大学もあると言われている。… (4) よって日本では大学を卒業したことにそれほどの価値がなく、合格したことが社会的評価や就職試験の評価の対象になる。したがって学校や保護者も子供の合格という結果を重視してしまう。その結果、非認知能力の育成に重要な中高生の期間の多くを学力の向上に費やし、その他部活動や課外活動を軽んじる傾向が生まれる。

このように、現在の日本は、社会生活において重要な非認知能力（ソフトスキル）よりも認知能力（ハードスキル）が重視され、評価の対象になっている。

4. 大学改革とその効果

<個別試験（筆記）の廃止>

個別の入学試験を廃止する。つまり数値化できる認知能力での評価を控えることで、偏差値の重要性が下がり、学校は非認知能力の向上に力を入れることが可能になり、生徒も部活動や課外活動に取り組む余裕が生まれる。また、代わりに面接試験などを課せば、より非認知能力を重視した評価になっていくだろう。

<進学、卒業の課題を増やす>

大学での進学、卒業のハードルを上げる。よって大学を卒業したことへの社会的評価が高まり、企業も継続的に努力できる自制心の高い人材を採用しやすくなる。

5. 起こりうる課題と対策

<高校での学習意欲の低下>

大学入学共通テストのスコア別で入学可能な大学の仕分けを行う。これは学力による評価だが、適度な学習意欲の向上を促すことができる。また、現在の各大学の個別試験のように個々人が特定の学力を伸ばす必要がなく、学校の負担が軽減され、生徒もより多くの大学から選択できるようになる。

6. 結論と考察

このように大学の仕組みを変えることで、数値化できる認知能力よりも数値化できない非認知能力が重要視されるようになり、教育がより充実する。しかし、いまだこれらの改革は現実的ではない。学生の能力を数値で測らないことは重要であるが、代わりとなる評価方法の確立や非認知能力の向上をどう確認するか、などが課題であるのも事実である。

7. 参考文献

- (1) 中室牧子『「学力」の経済学』ディスカヴァー・トゥエンティワン2015年6月18日
- (2) Lighthouse ロサンゼルス” 日米学校教育の大きな違い” 2015年7月1日<https://www.us-lighthouse.com/study/bilingual/difference-between-japan-and-usa.html>（参照2024年7月10日）
- (3) MIRASUS ” なぜ？アメリカの教育の教育格差の現状とその原因を解説” 2021年12月16日 <https://mirasus.jp/sdgs/quality-education/1447>（参照2024年7月10日）
- (4) 夢カナ留学” 知名度で決めないで！アメリカの4年制大学を選ぶポイント” <https://ryugaku.yume-kana.com/country/us/school/0001-2>（参照2024年7月10日）
- (5) 堤清二/橋爪大三郎『選択・責任・連帯の教育改革』岩波書店1999年1月20日

風水は本当に占いであるのか～カラー風水を例にして考える～

1. はじめに

日本人の風水に対する信頼度は低いとわかっている。財經新聞の「風水って気にしている？」というアンケートでも気にする人46.1%と気にしない人が53.9%となっている。しかし、直居由美理氏は「風水は占いてきなものではなく、科学的な学問である。現在では様々な現象が科学で証明されつつある。」と『望みを叶える風水生活』で主張している。そこで、風水の色の側面である「カラー風水」に焦点をあて、心理学や色彩学などの科学的根拠を示すことで風水には効果があることを証明する。カラー風水とは、李家幽竹氏の風水大全によると、自分の欲しい運気の色を取り入れることでその運気を呼び寄せるといったものである。運気の数はいくつもあるため、今回は、NPポイントクラブの上げたい運気ランキングの上位4つの「恋愛運、健康運、金運、仕事運」に注目した。広辞苑によると「運気」とは「天地・人体を貫いて存在するとされた五運六気」である。

2. 風水ではピンク色は恋愛運を上げると述べられている

- ・佐藤仁美氏の「色の心理学」によると、ピンクのカラーブリージングを行うことで優しく満たされた気持ちになり、若返りの効果がある。「カラーブリージング」とは、椅子に座りリラックスした状態で色のイメージを描きながら深呼吸することである。
- ・ピンクは気持ちを穏やかにする効果がある。ピンクは子宮内膜の色で、記憶に残っていなくても人間はみなお腹にいたときの安心感、心地よさやぬくもりを細胞が無意識に覚えていると言われている。アメリカの刑務所では、無機質な壁をピンク色に塗り替えたところ、囚人は一様に大人しくなったという報告がある。

3. 風水では緑色は健康運を上げると述べられている

- ・佐々木仁美氏「色の心理学」によると、緑色にはリラックスさせ、心理状況を安定させる効果があるとされている。ロンドンのブラックフライブリッジの色を黒色から緑色に塗り変えたところ、自殺者が1/3に減ったという報告がある。
- ・緑色を見ることで自然を潜在意識でイメージし、その結果、豊富な酸素をイメージすることから体内の毛細血管が開くと言われている。これは、頭痛や夏バテに効果がある。
- ・緑色は「アイレストグリーン」と呼ばれ、目に良い色である。緑は長波長の赤、短波長の青の間の色、つまり、緑色は可視光線の真ん中の色であるため、目への刺激が少ないからである。

4. 風水では黄色は金運を上げると述べられている

黄色の刺激によってエンドルフィンというホルモンが分泌される。そのホルモンにはモルヒネの6倍以上の鎮静作用があり、苦痛を和らげストレスを軽減する効果や、麻痺させることで悲しみを笑顔に変える効果がある。ディーキン大学によると、「幸福感の高い人ほど貯金し、節約する」という報告があるため、黄色には金運を上げる効果がある。

5. 風水では青色は仕事運を上げると述べられている

ポーポー・プロダクション氏の「自分を磨くための心理学」によると、青色には心を冷静にしたり、集中力を高めたり、創造力を活性化させたりする効果があると述べている。青色を見ることでセ

ロトニンというホルモンが分泌されるからである。また、時間感が比較的短いため、流れ作業やデスクワークに適している。

6. 結論と考察

カラー風水は「占いのもの」ではなく、科学的にも効果があるとわかった。風水自体を「学問的」ということはできないが、色の側面では学問的であるとわかった。しかし、相関関係の可能性があるため、研究の余地があると感じた。

また、研究を進める中で、集中力を高めるために、作業服や手術時の医療スクラブの色は青色が一般的であったり、日本の学校の黒板の色は、目が疲れにくいように緑色が一般的であったり、日常でも取り入れられていることがわかった。

7. 参考文献

- ・ ポーポープロダクション『自分を磨くための心理学』PHP研究所 2014年8月6日
- ・ 佐々木仁美『色の心理学』樫出版社 2014年6月25日
- ・ 林秀静『3分風水』東京カレンダーMOOKS 2012年10月15日
- ・ 李家幽竹『李家幽竹の風水大全』ダイヤモンド社 2021年10月6日
- ・ 南雲治嘉『色彩の不思議第5回』<http://coretokyoweb.jp> 2023年1月26日
- ・ アリウープ『正直、風水って信じてますか?』<https://news.mynavi.jp> 2023年1月26日
- ・ 久保圭太郎『風水って気にしている?実は約5割の人が気になっていた』
<https://www.zaikei.co.jp> 2023年1月26日
- ・ SANYO Style MAGAZINE編集部『風水の色との関係は?運氣アップができる8色を紹介!』
<https://www.sanyo-stylemagazine.jp> 2023年1月26日
- ・ NPポイントクラブ『みんなの、声あつまりました!風水と暮らしについてのアンケート結果発表』
<https://nppoint.jp> 2023年1月26日
- ・ 直居由美理『望みを叶える風水生活』グラフ社 2005年12月1日
- ・ ユニホームレンタル『なぜ?医療スクラブにネイビーが多い理由』
<https://www.sanikleen-uniformrental.com/column/88/> 2023年7月25日
- ・ all about マネー『「幸福感が低いとお金がたまらない」という残酷な現実』
<https://news.line.me/articles/oa-allabout/15e0d838abda> 2023年7月25日
- ・ 財経新聞『風水って気にしている?』
<https://www.zaikei.co.jp/article/20170614/377696.html> 2023年8月29日

『不思議の国のアリス』における不安定さ — キャロルの思想と当時の時代背景から物語を分析する —

1. はじめに

1865年、イギリスの数学者ルイス・キャロル (Lewis Carroll, Charles Lutwidge Dodgson, 1832-98) によって童話『不思議の国のアリス』 (Alice's Adventures in Wonderland) が著された。これは実在するキャロルの友人である少女、アリス・リデル (Alice Liddell, 1852-1934) をモデルとし、アリスら姉妹とのボート遊びの際にキャロルが即興で語ったお話をもとに生まれた物語である。あらすじは、ある日の午後、少女アリスが喋る白ウサギを追いかけて地面に空いた穴に落ち、その先にあった不思議の国で摩訶不思議な大冒険を繰り広げ、物語の最後には昼寝から目を覚ましてそれまでの冒険が夢であったことを知る、というものだ。

ナンセンス文学の代表とされているこの物語には、読者に落ち着きの悪さを感じさせる様々な「不安定さ」の要素が表現されている。本稿では、チェシャ猫の不安定さ(2)、アリスの身体の大小の不安定さ(3)、時間の不安定さ(4)の三つの不安定さに着目して『不思議の国のアリス』を分析する。

2. チェシャ猫の不安定さ

『不思議の国のアリス』の第六章で登場するキャラクターに、チェシャ猫という猫がいる。この猫は「耳から耳まで届くくらいニヤニヤ」 ”grinning from ear to ear” している。この猫に公爵夫人 (the Duchess) の家の中で出くわしたアリスが公爵夫人に「なぜこの猫はこんなふうにニヤニヤ笑っているのですか」 ”why your cat grins like that?” と問うと、「チェシャ猫だからだよ」 ”It's a Cheshire cat” と返される。不思議の国の住人である公爵夫人の中では、「チェシャ猫」は「ニヤニヤ笑っている」のが常識なのである。現実世界ではあり得ない「猫がニヤニヤ笑っている」という状況は、読者に不安定さを感じさせる。

また、チェシャ猫に不安定さが感じられる要素はこれだけではない。同じく第六章のこの後の場面に、森に入ったアリスが木の上に座るチェシャ猫に再び出会うシーンがある。このシーンで、チェシャ猫は突然消えたりまた現れたりとは今度は「存在」が不安定になる。この二つの不安定な要素によって、チェシャ猫は不思議の国のアリスにおける「不安定さ」を形成する重要なキーパーソンの一人となっているといえる。

では、このチェシャ猫はなぜ不安定でなければならなかったのか。そもそも「チェシャ猫」という言葉は、イギリスのチェシャ地方に伝わる言い回し、「チェシャの猫のように笑う」 (grin like a Cheshire cat) からきている。ずっとニヤニヤ笑っているのも、まるでチェシャの猫はニヤニヤ笑っているのが常識だといわんばかりのこの言い回しからキャロルが着想を得て、「常にニヤニヤ笑っている猫」というキャラクターを思いついたからだろう。また、前述した森での場面の終盤において、チェシャ猫はニヤニヤ笑いだけを残して消えてしまう。その際の表現に、次のようなものがある。

“ 'Well! I've often seen a cat without a grin,' thought Alice; 'but a grin without a cat! It's the most curious thing I ever saw in my life!' ”

” 「うーん！」とアリスはうなったね。「にやにや笑いなしのネコってずいぶん見たことあるけれど、ネコなしのにやにや笑いだけなんて！ こんなの、生まれて初めてだよーっ！」 ”

「にやにや笑いなしのネコ」(a cat without a grin)は見たことがあるが「ネコなしのにやにや笑い」(a grin without a cat)は見たことがない、というgrinとcatを入れ替えた言葉遊びである。キャロルはこの言葉遊びを用いるためにチェシャ猫を現れては消える不安定な存在にしたのである。

3. アリスの身体の大小の不安定さ

『不思議の国のアリス』の最大の特徴の一つとして、主人公アリスの身体の大きさが物語全体を通して大きくなったり小さくなったり何度も変化する、というものがある。例えば、はじめの変化は第一章において”DRINK ME”と書かれた瓶に入った飲み物を飲んで身体が小さくなったとき、その次の変化はそれからすぐの第一章～第二章において”EAT ME”と書かれたケーキを食べて身体が大きくなったとき、というように頻繁にアリスの身体の大小は変化するのである。予想外に大きくなったり、自分で調節できるようになったりする。きっかけもタイミングもバラバラなのである。このアリスの大きさの変化は『不思議の国のアリス』における代表的な「不安定さ」だといえる。この不安定さを、三つの由来に着目して分析した。

一つ目は、19世紀当時のイギリスにおいて流行していた「教養小説」と呼ばれる小説との関わりである。この教養小説とは、主人公がその時代環境のなかで種々の体験を重ねながら、人間としての調和的自己形成を目指して成長発展していく過程に力点をおいた物語(ブリタニカ・ジャパン『ブリタニカ国際百科事典』(2016)より)を指す。このような小説は、ゲーテ(Johann Wolfgang von Goethe, 1749-1832)による『ウィルヘルム・マイスターの修行時代』(1795)を原型として19世紀に発展した。物語を通じて順当に主人公が成長していく教養小説と、一瞬で主人公アリスが大きくなる『不思議の国のアリス』は対極の位置にあるといえる。このことから、キャロルはこの物語に、教養小説への皮肉を込めたのだと考えられる。彼は『不思議の国のアリス』の本の最初に載せた詩のなかで、この物語を”a children story”と形容していた。『不思議の国のアリス』が教養小説とは違って子供じみたおとぎ話であることは、キャロルにとって重要だったのである。実際、『不思議の国のアリス』の冒頭では、主人公アリスが自身の姉が読んでいる「絵や会話のない本」に不満を抱くというシーンがある。キャロルが『不思議の国のアリス』が子供向けの物語であるということを強調しようとしているのが、ここからも読み取れる。

二つ目は、当時キャロルが傾倒していた趣味である写真撮影との関わりである。19世紀初頭にフランスで世界で初めて写真が撮影されて以降、19世紀は写真術が大幅に進歩した時代となった。叔父の影響で写真撮影を始めたキャロルは、1865年から1880年にかけての24年間にわたり写真活動を展開していた。『不思議の国のアリス』にも写真術の与えた影響は表れている。第四章において狭い部屋の中で瓶の中の液体を飲んで巨大化するアリスは、カメラという小さな「部屋」に入れられ、薬品を使って現像するという写真術のイメージに当てはまる。身体の大小が変化するのも、カメラのピント合わせからインスピレーションを得たものだろう。レンズを通して被写体を見るという当時の新技術によってもたらされた新たな感覚は、『不思議の国のアリス』における不安定さを作り出した要因の一つであるといえる。

三つ目は、主人公アリスのモデルとなった実在の少女、アリス・リデルの成長に関するキャロルの思いである。キャロルにとって、子どもとは特別な存在だった。キャロルは子どもたち、とりわけ少女たちと一緒にいると、大人たちと一緒にいるよりずっとくつろぐことができた。キャロル自身、子どもたちが生活の四分の三を占めており、一緒にいると神経がリラックスしてとてもリフレッシュする、と語っていたほどである。また、キャロルは自作の詩『孤独』(1853)の中で子供時代を「若く

初々しい人生の黄金の時」「無垢で、愛と真実に満ちた時」と形容していた。前述した写真撮影においても、キャロルはアリス・リデルを含む少女を被写体にした写真を数多く残している。キャロルは生涯を通して少女たちに熱烈な愛情を持っていたのである。

『不思議の国のアリス』では、主人公アリスの年齢は7歳に設定されている。キャロルとボート遊びをしたとき(1862)、アリス・リデルは10歳であった。また、『不思議の国のアリス』の前身となった『地下の国のアリス』(1864)をキャロル自ら製本しアリス・リデルに贈った際、原稿最終ページに貼り付けられたアリス・リデルの写真は贈られた当時の12歳の姿ではなく、またボート遊びをしたときの10歳の姿でもなく、彼女が7歳のときのものであった。このことから、キャロルにとって7歳というのは理想的な年齢であったことが窺える。また、13歳の誕生日を目前にしたアリス・リデルを見た彼は、自身の日記で少女から大人へと変わりつつある彼女への失望をもらしている。

作中でアリスの身体が大きくなる際、“grow” という表現が用いられている箇所がある。この英単語には「大きくなる」という意味のほか、「成長する、育つ」という意味もある。このことから、アリスの身体の大小の変化には、アリス・リデルの成長に幻滅していたキャロルの思想が表れていると考えられる。現に第二章では、アリスが涙の池ができてしまうほど大泣きするシーンがあるが、これはアリスの身体が巨大化したときである(第1章において身体が小さくなった際にもアリスが泣くシーンがあるが、このときはすぐに泣き止んでいる)。このアリスの涙は、アリスが大きくなる、つまり、成長してしまうことに対するキャロルの大きな悲しみを表しているといえる。

4. 止まった時間の不安定さ

物語の第七章において、帽子屋(the Hatter)というキャラクターが登場する。彼は「時間と私は口論した」” We quarrelled” と語り、「そのせいで今はずっと6時のままだ」” It’s always six o’clock now” と主張している。6時はお茶会の時間なので、彼はティーセットを洗うひまもなく永遠にお茶会を続けている。また、不思議の国を統治している「ハートの女王」” the Queen of Hearts” はやたらと人の首を斬って処刑させたがる。首を斬る、つまり殺すという行為は、時間を止めることを連想させる。このように、『不思議の国のアリス』には止まった時間を想起させるイメージが含まれている。時間停止という摩訶不思議な現象は、この作品に含まれる不安定さの一つであるといえる。この不安定さの要因には、鉄道との関わりが挙げられる。

キャロルが生きた19世紀イギリスでは、電気機関車が誕生し鉄道が大幅に進歩した。キャロルが『地下の国のアリス』を書き上げる前年には、ロンドンで地下鉄が開通した。『鉄道旅行の歴史』(1979)を著した批評家ヴォルフガング・シヴェルブシ(Wolfgang Schivelbusch, 1941-)は、鉄道がもたらした現象の一つに「時間と空間の抹殺」を挙げている。列車に乗って猛スピードで場所を移動すると、人間の目では景色を追うことができない。その結果、人々は目的地までの移動時間を睡眠や読書、おしゃべりに費やし、空間と時間の連続性を感じるができなくなった、という指摘である。窓の外に景色が存在しない地下鉄ならこの現象は尚更顕著だろう。この鉄道によって社会にもたらされた時間の認識に対する変化が、物語に影響を与えたのだと考えられる。

5. おわりに

「不思議の国のアリス」の登場人物であるチェシャ猫が不安定な存在なのは、キャロルが考案した言葉遊びに由来するものだった。アリスの身体の大小の不安定さには、教養小説への皮肉や写真術のイメージ、アリス・リデルの成長に対するキャロルの嘆きが表れている。また、作中の止まった時間

の表現には、鉄道によってもたらされた時間の認識の変化が影響を与えていた。このことから、「不思議の国のアリス」における不安定さには、キャロルの思想や19世紀当時のイギリスの社会の様子が表れているということがわかった。

6. 参考文献

- Lewis Carroll 『ALICE' S ADVENTURES IN WONDERLAND』 講談社英語文庫 (1988)
- ルイス・キャロル著 北村太郎訳 『ふしぎの国のアリス』 集英社文庫 (1992)
- 寺嶋さなえ 『発見！不思議の国のアリス 鉄とガラスのヴィクトリア時代』 彩流社 (2017)
- 山内暁彦 『「不思議の国のアリス」の不安定感について』 徳島大学英語英文学会 (2008)
- ヘルムット・ガーンズハイム 『写真家ルイス・キャロル』 青弓社 (1998)
- 角田あさな 『ルイス・キャロルの「アリス」シリーズにおける二者性の表現』 立命館大学大学院先端総合学術研究科 (2015)
- 杉村藍 『変容するアリス：視覚表現を通してヒロインの変化を読み解く』 名古屋女子大学紀要 (2014)
- 秋山義典 『教養小説の歴史的考察とモダニズム文学の始まり』 東京都市大学共通教育部紀要 (2018)

日本の中等教育機関に英語以外の外国語教育を

はじめに

現在の日本の教育方針では中等学校及び高等学校での外国語科は基本的に英語である。では、なぜ英語だけなのだろうか。また、英語以外の外国語教育を導入している学校からその理由及び方法を考える。そしてそれを私立、国公立問わずすべての高等学校及び中等学校で実現するにはどうすればいいのか。以上の3つの指針に従って研究しその成果をここにまとめる。

英語が中心である理由

日本では外国語科が必修科目となっている。外国語科とは英語でなければならないわけではなく他の言語でも良い。高等学校学習指導要領外国語科ではその他の外国語に関する記述が第二章8節に記載されている。しかし、2018年の文部科学省の調査によるとこのような学校4963校のうち英語以外の外国語が選択できるのは700校ほどであり、中等学校では10012校のうちわずか23校である。その上、これらの学校の多くは国際科やグローバル・コミュニケーション科、私立の学校となっておりどこでも学ぶことができるという状況からは程遠い。ではなぜこのように英語中心の教育方針なのか。

まずは英語の言語としての歴史であるが、英語が国際社会で広く使われるようになったのは1919年のヴェルサイユ条約という第一次世界大戦の講和条約である。それ以前はフランス語が国際的な条約などで使用される唯一の言語であったが、この条約は英語とフランス語のどちらでも作成されている。その後リットン調査団ではすべて英語を使って会話をしたという記録も残っている。このように英語の台頭は戦争によるアメリカとイギリスの国際的な影響力に支持されたものである。また現在は母話者の数では中国語などに劣るものの、ビジネス等においてはやはり英語が使用される。このように、実用性という観点から見れば英語を推進する方針にも納得がいく。

文部科学省は近年進めている「グローバル化に対応するための英語教育改革」の目標を次のように規定している。

「グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である。アジアの中でトップクラスの英語力を目指すべき。今後の英語教育改革においては、その基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題」。

とのことだが、やはり「使うための英語」を目標としていると読み取れる。しかし、これは英語の「文化帝国主義」（ある国の文化または言語を別の国に植えつけ、発達させ、他文化、言語との差別化を図るなどの政策方針、あるいはその行為そのもの）につながるのではないだろうか。英語ばかりを中心的に学ぶことで英語に優れた国民を育てる事はできるかもしれないがそれによって英語圏の文化に染められてしまい、客観的な物事の見方などは失われてしまう可能性がある。日本の将来がそのようになるのを防ぐために、中等教育機関において英語以外の外国語を学ぶことができる制度を導入するというのが本研究の目的である。

実際に導入している学校

実際に導入している学校の数は700校ほどであると前述したがその学校の中には3つの共通点がある。

最も多く見られた共通点としては学校が私立であったり国際科であるということだ。これが問題であるのは、私立の場合は金銭的に通いたくても通えない人がいるということで、国際科の場合は外国語を学ぶことを目的として入学しなければならないというところにある。公立校で多く見られたのは、週に1・2回程度の頻度で総合学習の時間を使って外国文化を学ぶといったものだ。しかし、大抵の場合これらの授業には成績を決める考査が伴わず、そもそも授業時間が圧倒的に少ない。その上、これらの学校では別に英語を必修科目として設置している。これはつまり「英語は他の外国語より重要である」という学校の方針を示すものである。また、これらの学校の数を都道府県別に見てみると東京都、大阪府、神奈川県が3箇所に集中していることがわかる。この3つの大都市にはそもそもの学校の数が多く存在していることは確かなのだが、学校数に対する割合で考えてもこの三県に集中している。理由として考えられるのは第一に収入である。（平成28年度子供の学習費調査より）先程述べたように英語以外の外国語を学ぶことの可能な学校は私立が多い。それ故に家庭の収入が少なければ通いたくても通えないのではないだろうか。因みに東京都と神奈川県、大阪府は世帯別平均年収の上位三県である。

導入するための具体的な方法

必要な要素は主に3つで、学習指導要領の改定、入試制度改革、教員の新たな雇用である。このうち、学習指導要領の改定については本研究のみで完結することではないので、現在の「その他の外国語は英語に準ずるものとする」というだけでは不十分であり改訂の必要がある、とだけ述べておく。他の2つに関してはより具体的な案を考えた。

● 入試制度改革

「外国語に対する意識調査」によると英語の場合学ぶ目的が大抵入学試験を見据えたものであった。これが他の言語でも同じであると仮定すると入学試験に必要なものとは勉強しないという考えに至る。その他の外国語を学びたくても学べないのは大学受験や高校受験が関係しているのかもしれない。2022年の時点では英語以外の言語で外国語を受験科目として選択できる大学は私立の有名大学（偏差値の高い）のみである。共通テストでも導入されているが、受験人数が少ないというのも原因なのだけれども平均点に毎年大幅な変動があり難易度の統一が課題である。

● 教員の雇用

最も実現に対する課題となるのはこの教員の数の不足である。「興味がある外国語に関する調査」を参照してその割合に対応するように教員の数を再編成すると6：4：2：2：1で英語：中国語：ドイツ語：フランス語：スペイン語となる。現在英語教員の総数は60000人であるから、それぞれ24000：16000：8000：8000：4000人ずつ必要であると大まかに仮定できる。しかし、これはただこれだけの人数の教師を用意すれば良いという問題ではなく、この人数の資格を持った教員及びALT (assistant English teacher) が必要であるというのが問題である。導入する数年前から教師の採用や能力訓練などの準備が必要である。

結論

英語スタンダードである現代日本の外国語教育は文化帝国主義などの観点から問題があり、そこで他の外国語を導入する必要がある、その需要も確認された。しかし、全国的に導入するには入試制度

改革や教員の雇用などの問題が解決される必要がある。この研究では解決案を考えたが、まだまだ不完全であり規模も大きいことから国を上げて調査及び改革をすすめるべき問題である。

参考文献

山田雄一郎, 日本の英語教育, 2005

文部科学省「中学校、高等学校学習指導要領」

文部科学省「平成28年度子供の学習費調査」

山崎吉朗, 中等教育英語以外の外国語教育の現状と展望, 2019

日本アイドルの海外進出

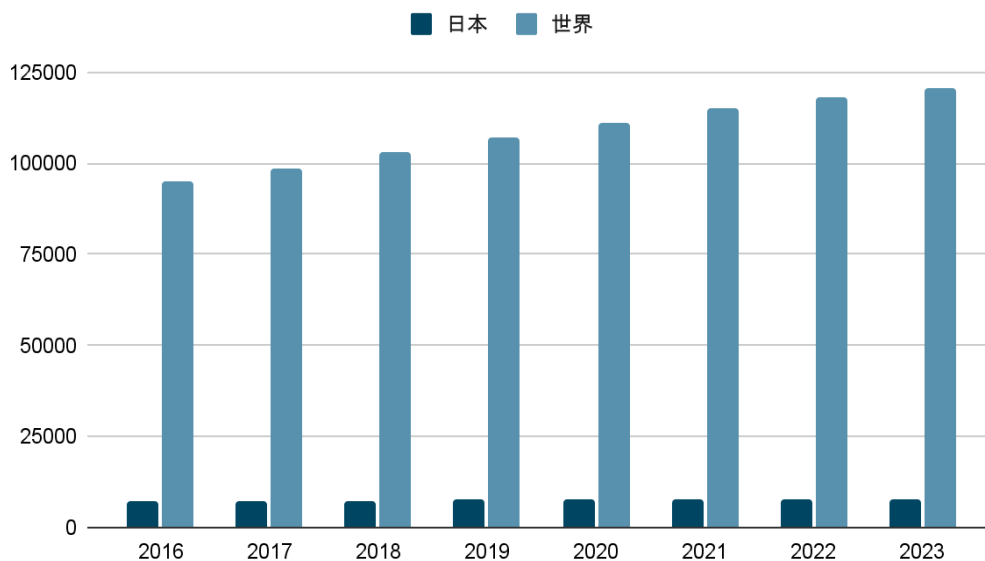
1. はじめに

様々なものがグローバル化している現在、日本のアイドルは海外進出にあまり積極的ではない。それは日本の音楽市場の規模が世界的に見ても大きいいため得られる利益が十分であることが原因だと考えられる。しかし、企業に対してのさらなる利益を求めため、また、日本の音楽市場の成長を促すため、日本のアイドルは海外進出するべきである。

2. 日本と世界の音楽市場

日本の音楽市場は世界二位と言われているほど大きいですが、経済産業省のコンテンツ市場に関する調査によると、現在成長はしておらず横ばい・縮小傾向にある。

音楽市場推移



一方、韓国のコンテンツ産業振興策に関する事例調査によると、2020年の韓国コンテンツ産業における売上高は前年比1.2%増加し、2016年から2020年まで年平均4.9%増加した。また、2020年の韓国コンテンツ産業の輸出額は前年比16.3%増加し、119億2428ドルとなり、2016年から2020年まで年平均18.7%増加している。ただし、2020年は新型コロナウイルスの影響で世界的にコンテンツ市場の成長率が下落した。そのため、2020年の韓国のコンテンツ市場の成長率は、2016年から2020年の5年間のなかで最小であった。

そして、2020年度の文化体育観光部に編成された予算は3兆4108億ウォンで、政府予算の0.96%を占めており、2019年に比べて1206億ウォン、1.03%増加した規模であった。2020年の文化体育観光部における全体の予算のうち、コンテンツ産業部門の予算は19.0%の6498億ウォンを占めている。また、2016年から2020年にかけて、文化体育観光部とコンテンツ産業部門の予算額はともに増加傾向にある。

これらのことから、韓国のコンテンツ産業における売上高や輸出額の増加は、編成された予算の影響を受けていると考えられる。

3. 日本のアイドルの海外進出の現状

日本のアイドルが海外進出に積極的でない理由として、金銭面での懸念が考えられる。例えば、「日本人アーティストの海外進出に関する考察」によると、海外公演の実施には、予め進出先の市場で音源を流通させておくことや、現地に精通したブッキング担当者あるいはツアー・エージェントが必要であるので、国内で行う以上の費用がかかる。この例から、海外進出の一環として日本のアイドルが海外公演を実施する際にかかる費用を支援する施策を作ることを提案する。

4. 考案

コンテンツの創造・保護及び活用の促進に関する法律の第17条によると、国はコンテンツ制作事業者が資金を安定に調達することができるために必要な施策を講ずるべきである。

現在、日本のコンテンツ産業を支援する施策には、経済産業省が行っている「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金」（J-LOX）というものがある。これは、コンテンツの展開・配信・収益をデジタル化することによる海外展開の基軸を作る取組を促すことを目的としている。取組の具体例として、コンテンツ作成の際、市場の期待感を早期に確保するためのティザーサイト構築や、音楽ライブの会場に向かわなくてもリアルな体験をできるようにすることなどがある。これは日本発のアーティストが日本国内で行う公演に対して補助対象経費の2分の1を、上限2500万円として補助するものである。

このJ-LOXを改定し、国内で海外展開の基軸を作る取組だけでなく、実際の海外展開に関する取組も支援することを提案する。具体的に、現在の制度では、日本発のアーティストが日本での公演をする際に、経済産業省が経済的支援を行うものであるが、改定後は日本発のアーティストが外国での公演をする際に支援を受けることができるようにする。

5. 結論

企業のさらなる利益の獲得や音楽産業の輸出額増加が見込まれるため、国の利益にも繋がると見込まれる。よって、日本のアイドルは海外進出するべきである。それを促進するために、政府はJ-LOXを改定し経済的支援をする必要がある。

6. 参考文献

経済産業省（2020）「コンテンツの世界市場・日本市場の概観」

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/downloadfiles/report/202002_contentsmarket.pdf

日本貿易振興機構（2022）「プラットフォーム時代の韓国コンテンツ産業振興策および事例調査」

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2022/66c457767e8bbf81/202203.pdf

加藤綾子（2009）「日本人アーティストの海外展開に関する考察」『情報学研究 = Journal of information studies : 東京大学大学院情報学環紀要 / 東京大学大学院情報学環 編』

特定非営利活動法人 映像産業振興機構（2022）「2021年各国コンテンツ産業支援政策調査」

https://www.vipo.or.jp/u/2021_contentsshenseisakuchosa_korea.pdf

JLOXライブエンタメ補助金事務局（2023）「J-LOX コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金 ライブエンタメ産業の基盤強化支援実績報告マニュアル」

https://jlox.jp/files/pdf/jlox_jitusekihokokumanual.pdf

日本の電子政府化政策の改善案

1. はじめに

本研究の研究動機は、ニュース記事などで取り沙汰されているマイナンバー制度を巡る様々なセキュリティ問題、個人情報の流出の問題を知り、日本の電子政府化を妨げているものは本当にセキュリティやプライバシー上の不安なのだろうか、という疑問である。(令和4年、デジタル庁が無作為に抽出した約2万人に行ったインターネットモニター調査「マイナンバーカードの未取得理由」において「情報流出が怖いから」がトップの35.2%を占めた。)本研究では、2020年に発表された国連電子政府ランキング上位(1~3位)のエストニア、デンマーク、韓国と比較して考察する。尚、同ランキングでの日本の順位は14位である。

参考：国連電子政府ランキング(2020)

順位	2020年	
1	デンマーク	[0.9758] —
2	韓国	[0.9560] ↑1
3	エストニア	[0.9473] ↑13
4	フィンランド	[0.9452] ↑2
5	オーストラリア	[0.9432] ↓3
6	スウェーデン	[0.9365] ↓1
7	英国	[0.9358] ↓3
8	ニュージーランド	[0.9339] —
9	米国	[0.9297] ↑2
10	オランダ	[0.9228] ↓3
11	シンガポール	[0.9150] ↓4
12	アイスランド	[0.9101] ↑7
13	ノルウェー	[0.9064] ↓1
14	日本	[0.8989] ↓4
15	オーストリア	[0.8914] ↓5
16	スイス	[0.8907] ↓1
17	スペイン	[0.8801] —
18	キプロス	[0.8731] ↑18
19	フランス	[0.8718] ↓10
20	リトアニア	[0.8665] ↑20

日本経済新聞電子版より引用

2. 日本の目指す姿

日本は総務省HPにて、電子政府を「コンピュータやネットワークなどの情報通信技術（IT）を行政のあらゆる分野に活用することにより、国民・住民の方々や企業の事務負担の軽減や利便性の向上、行政事務の簡素化・合理化などを図り、効率的・効果的な政府・自治体を実現しようとするもの」と定義している。これは今回比較する3国の定義とほぼ相違ないと言える。

3. 3国の電子政府化の経緯

エストニアは1991年にソ連から独立して以降、徹底した情報公開を行い、デジタルでできないことは結婚、離婚だけと言われるほどの電子政府化を進めた。ソ連などからの軍事侵攻を受けた際、国家としての機能をオンライン上ですぐに回復できるようにするため、という目的意識も電子政府化促進の要因の一つ。また、同盟国ルクセンブルクに電子情報を分散させ、サイバー攻撃を受けた時にシステムを再稼働できる「データ大使館」2017年運用。

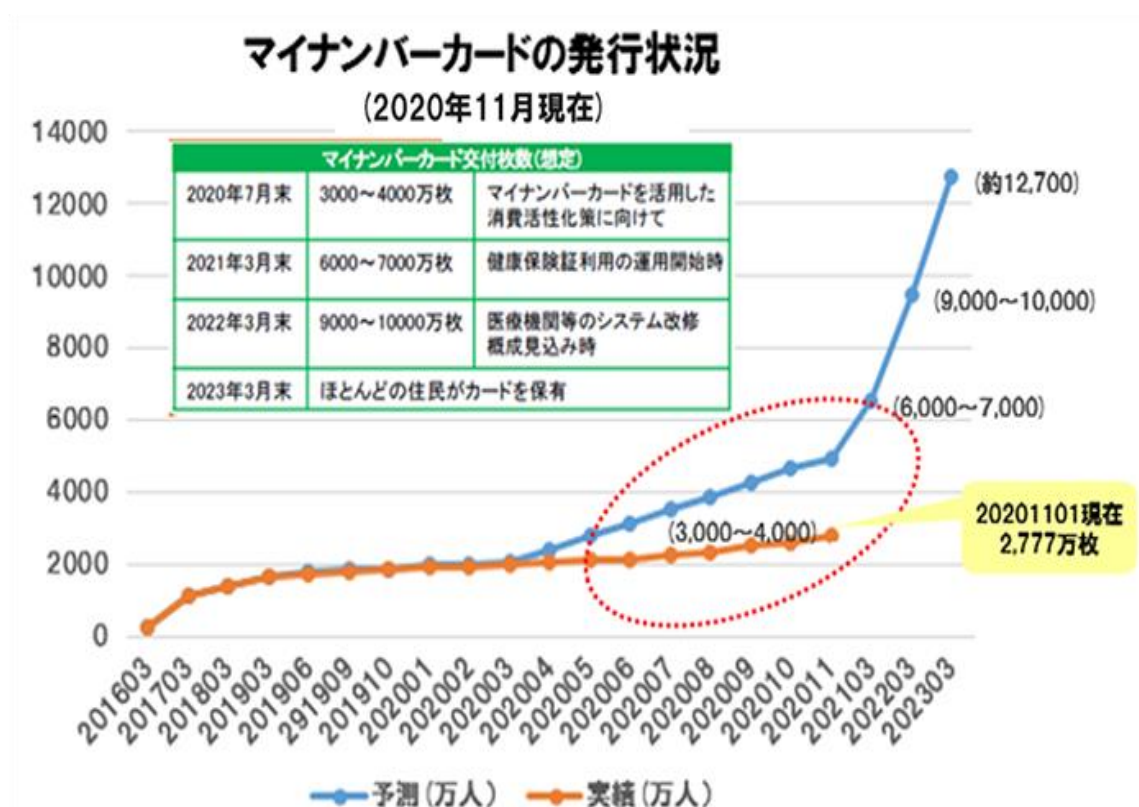
デンマークは決して高いIT技術を持っていた国ではないが、ISSPが2017年に発表した「人は信頼できると思う人の割合」ランキングで日本に50%近く差をつけて1位に輝いていることから分かるように、政府を信頼する国民性が吉と出た国。この国民性は高福祉高負担の制度に通ずるものだと考えられる。

韓国はIT戦略そのものは日本と大きな差はないものの、日本に比べ中央政権であるということを活かし、中央政府主導で一貫した政策を採り、半ば強制的に電子政府化を進めた。実際、韓国は電子政府化戦略の策定過程において、日本が2000年に策定した「e-Japan戦略」を参考にした。このことから、日本とあまり変わらない状況下において、日本より早く電子政府化を勧めた国であると言える。電子政府化は大きく進んだが、政府の意向と異なる意見が十分に反映されていたわけではなく、近年制度の見直しが課題として挙げられている。

4. 日本の現状

日本は「e-Japan戦略」のもと、電子政府化の達成に向けて取り組みを開始した。しかし、政権が比較的短期交代であることに加え、縦割り行政であるが故に各省庁が自分たちにとって最善の予算の使い道を追求し、デジタル化にあまり予算が使われなかった。こうした背景もあり、デジタル化は依然として他国に遅れをとり、マイナンバーカードの普及率も2023年4月時点で約67%に留まっている。

参考：マイナンバーカードの発行状況(2016～2023)



5. 結論と考察

日本はオンライン化自体に注力し、国民が十分にデジタルの恩恵を実感できないまま2024年秋には健康保険証を廃止してマイナンバーカードとの完全な一体化を図るなど、かつての韓国の電子政府化と同じような道を辿っている。このまま進めば電子政府化は進むだろうが、国民が直接メリットを実感できるような電子政府は完成せず、制度の大幅な見直しに見舞われるだろう。まずは国民がメリットを得られる制度を整えた上で、サイバー攻撃などの危機を回避するための具体策を策定し(エストニアが先行例の「データ大使館」についてはアメリカなどの問題同盟国との間で慎重な計画が必要)、これらを国民に周知させた上で、韓国に比べて地方分権であることを活かし、自治体単位からサービスをスタートさせるべきである。

また、本研究の不十分な点として、研究対象が大規模であるため実証が難しかった点が挙げられる。今回は改善の流れについて考察を行ったが、今後は「マイナンバーカードの普及」についてや、「国政選挙の電子投票」についてなど、テーマを絞って、どのような段階を踏めば国民が納得でき、かつ安全性が担保されるのかについて研究したい。

6. 参考文献

島田達巳(2013) 『電子政府・自治体の日韓比較について』

廉宗淳(2009) 『電子政府・電子自治体への戦略』

鈴木賢志(2020) 『世界ランク1位「デンマークの電子政府」と日本政府の重大すぎる違い』

女子高生はなぜスカートを短くするのか

はじめに

池田、天木、大木(1992)は「制服は、生徒にとってほとんど毎日着用する制服であり、最も身近でなじみ深いものである。一方で、制服はその学校のシンボリック役割を果たしていたり、中高生らしさという枠組みの中で強制的役割を果たしている側面があるため、生徒にとってその心理的圧迫は大きいと考えられる。」と述べている。つまり、制服は、それを着用することで中高生らしさを表現できるものであると同時に、当該の学校の象徴でもあるため、その着用については一定のルールが存在し、生徒はそれに従わないといけないと言う心理的な圧迫感を与えるものでもある。しかし、多くの女子高校生は、学校側が制服に関して厳格なルールを設けていても、スカート短くしようとする。女子高生はなぜスカートを短くするのか、なぜ先生らに取り締まれられながらも短さを死守するのか、なぜスカートが短いことが“かわいい”と感じるのか。もう当たり前となっているこれらのことを社会学、心理学、メディア学の3つの視点から考察していきたい。

論証1(自発的理由)

10代はどのプリーツにおいてもミニスカートを好む傾向にある。李、丸田、廣田(2012)10代から50代までの150人の女性を対象に行ったプリーツ数とスカート丈の変化が年齢層別プリーツスカートの視覚的イメージに及ぼす影響の実験では、同一プリーツ数におけるスカート丈に関するイメージについての設問をした。両側に反対語をなす形容詞を用い、各尺度は7段階尺度を構成した。例えば、「嫌いー好き」の場合、非常に嫌い(1点)、かなり嫌い、やや嫌い、どちらでもない(4点)、やや好き、かなり好き、非常に好き(7点)とし、この数値を用いてイメージ得点を算出した。その結果から、「男っぽい-女っぽい」についてのイメージの質問では、マイクロミニやミニ(それぞれ35cm、46cmと定義)丈のスカートが、どの世代でも「女っぽい」の得点が極めて高いことがわかった。

心理学にはノンバーバル・コミュニケーションというものがあり、私たちは言葉だけでなく視覚、つまり服装からも強い印象を受けていると言える。

また、中川、万江、大喜多、松浦(1988)高校生の服装と被服教育に対する意識に関する一考察(第2報)においての、高校生の好きな服装のイメージについては、「『女性的な-男性的な』において男女差が大きく、男子は男らしい服装を、女子は女らしい服装を好むという意識があらわれる」と述べている。また、佐々木美空氏は『「制服おしゃれ」と自己形成~女子高生のプチ個性から探る~』の研究で「現代の女子高生は集団内での「わたしらしさ」を重要視し、差異化を図っているのである。」と、述べている。このことからルールの中で個性を示すことで自分のアイデンティティが確立されるメリットもあると分かる。また、単なる反抗心で行っているわけでは無いと言える。

また、子供社会研究第13号からは「学校制服が脱学校してゆくことで、女子高校生という存在が、生徒という顔だけではなく若者という顔も持つことになったことによる影響も大きい。女子高校生が、生徒と若者という二つの顔を持つようになれば、当然彼女たちの行動範囲や選択肢も広がってゆく。消費行動において、もはやその最前線にいる女子高校生に多くの選択肢があることは自明であろう。」これは後に挙げるメディアによる影響にも大きく関わってくると言える。

論証2[外発的理由]

主な外発的理由の根本となるの「同調」である

同調とは、大多数の意見や行動に流されてしまう心理現象であり、集団の中で浮いてしまわないための自己防衛でもある。例えば、クラスで何かの投票を行う時に自分1人だけ手を挙げるのは恥ずかしく感じ、つい下ろしてしまうことが同調と言える。よって、自発的にスカートを短くしようとするのではなく“周りと同じような服を着たいから”という理由でスカート丈を短くしている生徒もいる可能性があると言える。

その理由として、1つは女性が男性よりも同調性が高いことである。Eagly・Carli(1981)では、「社会化の過程において女性は男性に比べ他者や集団に同調するようより強またより一律に求められるという傾向がある」と述べている。女子高校生がスカートを短くするのは集団に同調する目的もあると言える。そして男子高校生より女子高生の方がよりスカートを短くするのもこのことだと言える。模試の日に自分だけ私服を着ていた時や、ライブやコンサートで周りの人はコンサートTシャツやタオルを着用しているのに自分は何も着ていないと恥ずかしい気持ちになることはないだろうか。金子理沙氏は『ファッションから見た集団規範—「自発的制服」の成り立ち—』で、「人は自分が着てきた服装はその場にあっている」という前提があり自己自分との服装があっていたと感じたとき安心感や自己満足が生まれていると感じる。しかしその場に「あっていない」と感じると自己満足が否定され、不安感や恥ずかしさを感じ「あっていない」と誇張した評価をすることがある。」と述べている。このことにより一部の女子高生はその場に「あっている」服装を着るためにスカートを短くしている可能性があると言える。

そして、私は外発的理由として、日本人が元々農耕民族だったことがルーツとなり日本社会には他者への同調あるいは協調を促す(集団主義的になる)ようになったのではないかと仮説を立てた。しかし、調べていくうちに日本人は集団主義的であることは単なるステレオタイプにすぎないことがわかった。平井美佳氏の「日本人らしさ」についてのステレオタイプ実験によると、被験者にいくつか集団主義的な質問を行い、[①日本人はそうだと思うか][②自分はそうだと思うか]を答えてもらう実験をした。その結果によると、日本人は集団主義的だという質問に対して「そうだ」と答える人が多かったが、自分は集団主義的だという質問はそうだとは思わないと答えた人が多かった。よって実際の日本人と我々が抱く日本人のイメージでは大きくかけ離れていることが分かる。

ここから考察できるのは、先ほど述べた性別の差など遺伝子的な影響は大きいですが、文化による影響は予想外に小さい。つまり、人類の生物学的な共通性は非常に大きく、文化差は表層の差異にすぎないことが多いことがわかった。よって日本人集団主義論を除いたこれらの理由から、個性を示すための自発的理由とは違って周りと同じような服を着るためにスカート丈を短くしているケースもあると言える。

論証3 [メディアによる影響]

そもそもスカートが“可愛い”っていう概念は何で作られたか、起源は何なのか、ミニスカートがおしゃれだと認識されるようになったのはメディアの影響も大きい。

佐々木美空氏の『「制服おしゃれ」と自己形成』によると、女子高生がスカート丈を短くすることの歴史を調べると、短いスカート丈が流行し始めたのは1990年代、アムラー流行によるミニスカートブームにあると述べられている(アムラーとは、1990年に安室奈美恵のファッションが大流行し、これをまねたギャルのことを指す)。また、コギャルブームや雑誌eggの創刊によりこのようなギャルブーム＝ミニスカートブームに一層火をつけたと言える。

コスパン・パッター氏は『日本のストリートファッションのギャル文化』のなかで「ギャルファッションの流行の原因はバブル崩壊後、衣服にお金を月に数万かけるギャルやイベサー人達が消費社会のマーケティング対象となり、常にトレンドを紹介したいマスコミや広告代理店の思惑により、誘導的に形成されていくようになったからである。」と述べている。このことから女子高生がスカートを短くする文化は1990年のギャルブームから始まりそのギャルブームはメディアが作ったことによる。よって女子高生からスカート丈が可愛いと見えるのはメディアの影響が極めて高い。

結論と考察

女子高生がスカートを短くする理由について、

- ①10代は女っぽい服装であるミニスカートを好む傾向がある
- ②おしゃれにすることで個性を示すことができ、アイデンティティが確立できる
- ③制服に自分らしさを出すことで若者という顔を持つことができる
- ④女性は男性より同調を求める
- ⑤同じような服を着ると安心感が出る
- ⑥メディアによる影響

だと分かった。

これらの6つの理由から考察出来ることは、

1. バブル崩壊による不景気で女子高校生がマーケティング対象となりミニスカートブームが誘導的に形成されていくようになる
2. メディアに影響された流行に敏感な女子(ギャルやアムラー等)が徐々にスカートを短くしていく
3. 流行に強くは敏感でない女子も「周りと同じ服を着たい」という理由で他の女子に合わせスカートの短くなっていく

このような流れで女子高校生がスカートを短くする文化が生まれたと考察する。今後は、なぜこのブームが他のブームとは違い一時的ではなく30年以上続いているのか研究して行きたい。

参考文献

- 池田揚子, 天木桂子, 大木由里 (1992) 『制服に関する研究 (第一報) 高校生の制服に対するイメージと自己概念との関連性』岩手大学教育学部研究年報, 51 (5), 97-105
- 李正和, 丸田直美, 廣川妙子 (2012) 『プリーツ数とスカート丈の変化が年齢層別プリーツスカートの視覚的イメージに及ぼす影響』日本感性工学会論文誌vol. 11 No. 3 pp397-406
- 孫珠照, 安玉姫, 鄭容照車, 中川早苗本 (1999) 『韓日女子学生の体型意識と衣服の購買・着装行動について (第 2報) 韓日女子学生の衣服の購買行動と着装行動について』ファッションビジネス学会論文誌, Vol. 5, pp 9-17
- 渋谷昌三 (2015) 『面白いほどよくわかる! 他人の心理学』西東社, p50
- Eagly, A. H., & Carli, L. L. 1981 Sex of researchers and sex-typed communications as determinants of sex differences in influenceability: A meta[1]analysis of social influence studies. Psychological Bulletin, 90, 1-20
- 上野徳美 (1994) 『説得的コミュニケーションに対する被影響性の性差に関する研究1』大分医科大学実験社会心理学研究第34巻第2号, pp195-201

- 金子理沙 (2021) 『ファッションから見た集団規範―「自発的制服」の成り立ち―』「成城コミュニケーション学研究」編集委員会
- 佐々木美空 (2020) 『「制服おしゃれ」と自己形成～女子高生のプチ個性から探る～』中央大学杉並高等学校
- コスパン パッター (2016) 『日本のストリートファッションのギャル文化』広島大学国際センター
- 中川、万江、大喜多、松浦(1988)『高校生の服装 と被服教育に対する意識に 関する一考察 (第2報)』

髪色についての校則は必要なのか

日本の学校における髪色に対する校則は、黒染めをしると強要することは減ったものの染髪は禁止されたままの学校が多い。私はこの染髪禁止という校則の必要性に疑問を感じ、研究を進めた。

岐阜県立岐山高等学校では、生徒自身がルールについて考える機会にしようと、髪型や服装に関する校則を3週間、試験的に廃止するという取り組みが行われた。元々この学校の髪についての校則には「髪は着色、脱色をしない」というものがあった。この取り組みの結果、校則をなくすことには賛否両論があった。私はこの校則廃止期間終了後の振り返りで生徒からでた意見である「校則で茶髪やピンクもありという学校は母校としてあんまり紹介したくは無い」「自分の個性を出したり考えて動けるので、自分も成長できると思う」「人から褒めてもらうことでモチベーションが上がっていい感じ」などの意見から、見た目に関する点で髪色に対する校則の必要性について研究した。メラビアンの法則、髪色による印象、外見によるアイデンティティの形成大きくわけてこの3つの観点から思案した。

まず、メラビアンの法則から見る。

「人は見た目で判断してはいけない」とよく言われるが、メラビアンの法則によると人と人とのコミュニケーションにおいて、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%のウェイトで影響を与えるという心理学上の法則がある。この法則から人の第一印象には外見が大きく影響していることがわかる。よって見た目を規制する校則には一定の必要性があると考えられる。

次に、外見によるアイデンティティの形成から考える。高校生は発達段階の青年期にあたる時期だ。エリクソンが提唱した「心理社会的発達理論」によると、自分のアイデンティティを確立することが青年期の心理社会的危機とされている。アイデンティティの形成に失敗した場合、「自分が分からない」「社会的に自分の存在価値はあるのか」などの精神状態に陥り、うつ症状を悪化させる原因となる。アイデンティティを失うと人間関係や仕事などが上手くいかずうつ病や無気力症候群に陥りやすくなる。よって青年期のアイデンティティ確立は重要である。「高校生の全体的自己価値の検討」によると外見の自己評価は最も全体的自己価値に関連していた。そのため、外見に自分らしさを表現することは全体の自己評価を向上させ、アイデンティティ確立に役立つのでは無いかと考えた。「アイデンティティとファッションの関連性についての考察」によると、ファッション行動の活動度は、アイデンティティの高いグループのほうが低いグループより高い。つまり、自我同一感の高い学生のほうが、低い学生よりファッションに関してより活動的である。これは、「自分らしさの理解度が高いとファッションによる自己表現の効果や楽しさのプラスの経験値が高く、それが行動力として表れているのではないかと思われる。」とされている。ファッションの中には髪色についても含まれると仮定すると、髪色にも自分らしさを表現することはアイデンティティの確立に深く関わっていると考えられる。

最後に、髪色によって与えられる印象はどのような違いがあるのか。

黒髪、くらい茶髪、明るい茶髪、金に近い色、その他の髪色（ピンクやグリーンなど）の髪色別の印象を調査した資料を引用する（髪色と内面性の関係より）。この調査は文教大学の生徒644名にアンケートを取ったものである。この論文から、黒髪や暗い茶髪にはまじめ、落ち着いている、大人っぽいといった好印象が多く、比較的明るく派手な色は近寄り難い、怖そうなどの印象が多くみられる。よって髪色の明るさや色によって大きく印象が異なるということがわかる。一般的に、髪色の明るさについては7~8トーンまでが自然な茶髪とされている。例えば、看護師など髪色に制限がかかって

いる職業は7～8トーンまでの明るさまでと決められているところもある。したがって、7～8トーンまでであれば髪色によるマイナスな印象は受けにくいといえる。

以上のことから、髪色についての校則は必要である。しかし、染髪を禁止にする必要はなく、7～8トーンまでの明るさまでなら許可すべきと考える。しかし、「染髪によって非行に走る」「不真面目だ」など洗髪に悪い印象を持っている世論はすぐに変えられるものではない。また、染髪によって飛行に走るか否かや勉強や運動に集中できなくなり支障をきたすか否かなどの実証はすることが難しい。だから、髪色の自由がより世論に受け入れられるように人格形成において染髪はどのような影響があるのかについて研究していきたい。

参考文献

髪色と内面性の関係 中尾 早希(文教大学情報学部メディア表現学科)

アイデンティティとファッションの関連性についての考察 戸板女子短期大学研究年報 第 56 号(2013)高田葉子

高校生の全体的自己価値の検討 名古屋文理大学紀要 第9号(2009) 山本ちか

日本人は耳が悪いのか？－日本語の特徴から英語教育を考える－

はじめに

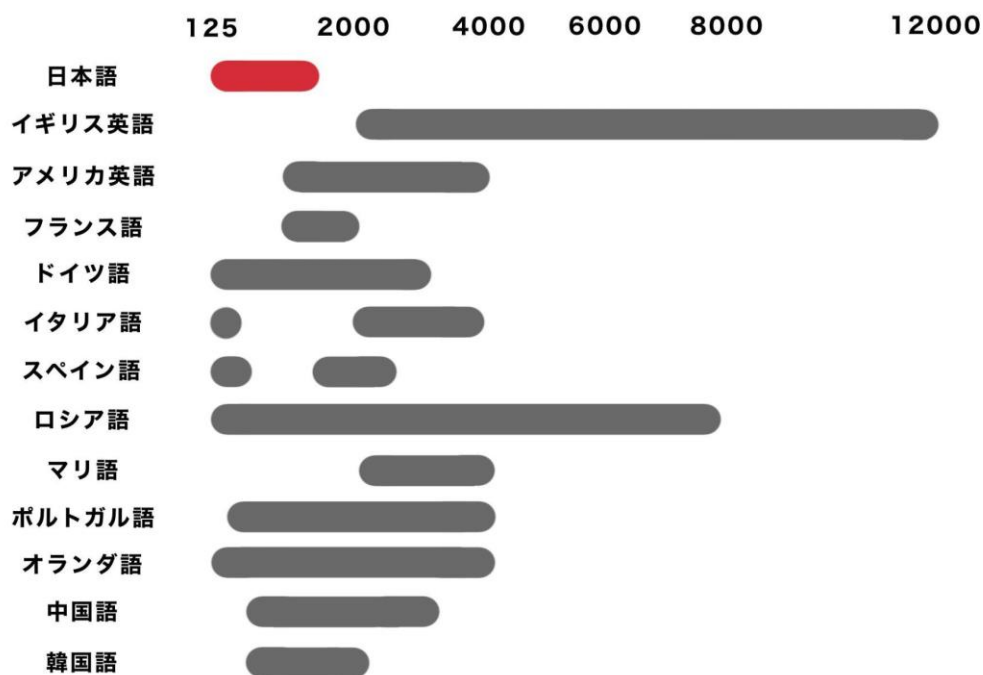
新潟青陵大学のアンケートによると、約8割の学生が英語の発音教育は大事であると考えている。また約4割の学生が中・高等学校での教育が不十分であったと考えている。確かに、他の非英語圏の諸外国に比べて、日本は英語を流暢な発音で話すことのできる人が多くないと感じる。私はその原因として「日本人の音を聞き分ける能力が低いのではないか」という仮説を立てた。そこで、日本語と外国語の音節や周波数、音素数などを比較し、日本語の歴史を振り返り、考察した。

論証

パトリシア・クールの実験では、音が鳴るおしゃぶりをを使って赤ちゃんの反応を調べ、生後10ヶ月から12ヶ月までの赤ちゃんは、どんな言語の発音も区別することができる耳を持っているということを見出した。つまり、日本人は遺伝的に耳が悪いわけではなく、他の国の人と差がないのである。では、なぜ日本人は外国語の発音が不得意になってしまうのだろうか。

そこで、フランスの研究チームが行った実験を紹介したい。この実験では、[ebuzo]という音声を用意し、真ん中の[u]の音を少しずつ削っていった複数の音声を作り、[ebzo]の音に近づけたものをランダムに対象者に聞かせた。すると、フランス人は母音の長さを判断する確率が高いのに対し、日本人は音響的には母音がほとんどない音声でも母音があると判断する確率が高かった。この結果から、日本語は子音の後に母音がくるのが普通であるので、日本人は単語中の母音がない所でも、頭の中で勝手に母音を補って聞いてしまうということを著書『音とことばのふしぎな世界:メイド声から英語の達人まで』の中で川原氏は主張している。このことから、日本人の脳内で言語的な習慣による思い込みが起きていると考えられる。そこで、次に日本語について調べることにした。

言語にはそれぞれ周波数があり、下の表は日本を含む13カ国の言語周波数を示している。



母音は周波数が低く、子音は周波数が高いので、周波数の数値が低い方が母音を中心に話す言語で、数値の高い方は子音中心の言語である。表からわかるように、日本語の周波数は他に比べて数値が小さく母音中心で、幅（最大値と最小値の差）も小さい。更に、子音中心のイギリス英語やアメリカ英語と数値がほとんど被っていないことがわかる。つまり、日本人にとって、英語は全く馴染みがない周波数の言語であるということだ。

ただ、周波数の範囲に大きな差がない中国語の習得も簡単ではないことから、他にも要因があると考えた。そこで、母音と子音の種類を数えた音素数に着目してみると、日本語は約20個、英語は約46個、ドイツ語は約41個、フランス語は約37個、ロシア語は約38個、中国語と韓国語は約32個となっている。アフリカには約200個の音素数を持つ言語すら存在している。周波数と同様に、音素数においても日本語は他の言語に比べて少なく、日本人にとって普段発音しない音が多いので、外国語を習得するのが難しいのだ。外国人からしても、日本語に慣れていない音があれば習得が難しいだろうが、音素数を比べると、やはり音素数が少ない言語の話者のほうが習得しづらい音は多くなる。よって、日本語の音素数の少なさも影響を与えていると考える。また、聞き取りについては、論証1で記した子音の後に母音を補ってしまうのと同じように、日本語にない音を日本語にある中の一番近い音に変換して聞いてしまうので、発音するとき本来の音と同じように発音することは容易でない。

つまり、日本語は周波数が低く範囲が狭いという特徴や、音素数が少ないという特徴を持っているということが、日本人の外国語の発音の習得を困難にしているということだ。では、いつから日本語がそのような特徴を持つようになったのだろうか。

日本語の歴史を見てみると、奈良時代から平安時代に変化があることがわかった。奈良時代の日本語には音の種類が87音あったが、平安時代には68音に変化しており、音が少なくなっている。この変化には上代特殊仮名遣いの消滅が影響している。上代特殊仮名遣は「古事記」や「万葉集」に使用されており、国学者の本居宣長が「古事記伝」の中で指摘している。なぜ消滅したかについては、仮名の発達により徐々に使用されなくなったからだと考えられる。

また、日本語の漢字の音読みからもこの時期に変化があったことがわかる。古代の日本語の表記は、中国から伝わった漢字である。現代の日本語と中国語の発音を比較してみると、中国語の発音で子音が[n]で終わる漢字は日本語の音読みは「ン」で終わり、[ng]で終わるものは「ウ」や「イ」などで終わるという原則がある。（例：万[wàn]は「マン」、王[wáng]は「オウ」）しかし、中にはこの原則から外れるものもある。例えば、行[xíng]である。この漢字は「ギョウ」とも「コウ」とも「アン」とも読む。「ギョウ」と「コウ」は奈良時代に伝わった読み方（呉音、漢音）で、「アン」は平安時代に伝わった読み方（唐音）である。このことから、奈良時代では[n]と[ng]を「ン」と「ウ」などに区別していたのが、平安時代には区別がなくなり、どちらも「ン」になったことがわかる。

このように、奈良時代から平安時代にかけて日本語の発音は音が少なく、簡単になったと言える。

結論と考察

私は「日本人は耳が悪いのではないか」という仮説を立てたが、論証から、日本人が外国語の発音を得意としないのは、日本人の耳の機能が悪いのではなく、音が少なく、母音中心の低く範囲の狭い周波数と少ない音素数である日本語が影響しているからであることがわかった。ただ、日本に住んでいる以上、日本語に囲まれずに生活することはできない。では、英語の発音を向上させるのは非常に

難しい、で終わって良いのか。いや、現代ではグローバル化が進んでおり、日本人全員が英語をネイティブ並に話せなければならないという状況までではないが、観光客や外国とのビジネスの増加によって職場で英語を使用する場面が増えている。また、非英語圏の人との共通言語が英語になる場合も多く、正しい発音が求められる。よって、会話が途切れて困ったり、聞き間違いによる誤解が生まれたりしないために、発音は重要視されるべきだと考える。

では、どのように改善すれば良いのか。日本人は、義務教育の中学校で3年間（2020年からは小学校の3・4年生から英語教育が開始されている）、高等学校・大学までを含めると約8年間の英語教育を受けているのになぜ上達しないのか疑問である。更に、1.はじめにで挙げたアンケートの結果から学校での英語教育が不十分であったと考える人がいることから、学校での英語教育の改善が必要であると考えた。

英語の教育方法にはフォニックス式というものがある。フォニックス式の勉強法はアメリカの小学校で行われており、初見の単語でも発音を予想できるようになる効果がある。また、アルファベットごとの発音を覚える方法なので、子音だけの音に慣れることもできると考えた。小学校の英語教育においては、歌やダンス、ゲームで英語を学ぶ教育を行っており、フォニックスの歌を取り入れるのが良いと考える。

しかし、フォニックスの勉強法を行っても読めない例外の単語があるため、その単語を読むには発音記号を学ぶことが必要である。そこで、本格的に英語の学習を開始する中学校において、発音記号を教えるのが良いと考えた。高等学校の入試における、英語の試験での発音の問題の対策にもなると考えられる。ただ、発音記号を見て正しく発音できるかを一人ずつテストするのは時間がかかりすぎるとい問題点がある。

また、英語教員も日本人であるので日本語に影響を受けており、論証から、日本語の特徴は昔からのもので、その特徴を変えることはできないことから、教員にも改善すべきところがあると考えた。そこで、英語の教員免許の取得条件に留学経験を含めることで、教員になる人が英語圏の国に留学し、ネイティブの発音にできるだけ近づけるのがよいと考えた。ただ、教員免許についてはあまり調べられていないことと、経済的理由などで留学できない場合もあることも考慮して、他に改善できるような案を考えたい。

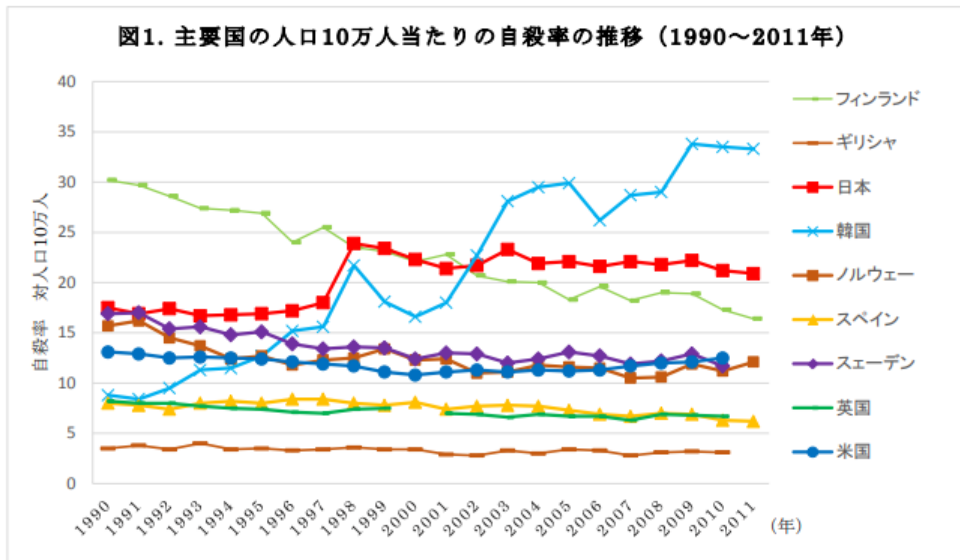
参考文献

- ・スワレス アーマンド、田中ゆき子 2001年3月 「日本人学習者の英語発音に対する学習態度について」新潟青陵大学紀要 第1号 <https://core.ac.uk/download/pdf/286718401.pdf>
- ・川原繁人 2015年 「音とことばのふしぎな世界:メイド声から英語の達人まで」 岩波書店
- ・村瀬邦子 1996年 「トラティス流最強の外国語学習法」 日本実業出版社
- ・劉明、鷺尾紀吉 2010年 「中国語の日本語への影響」 中央学院大学人間・自然論叢 31号
- ・中澤信幸 2019年2月5日 ことばの疑問 <https://kotobaken.jp/qa/yokuaru/qa-58/>

日本の中小企業にEAPを広めるには

1. はじめに 研究のきっかけと日本の現状

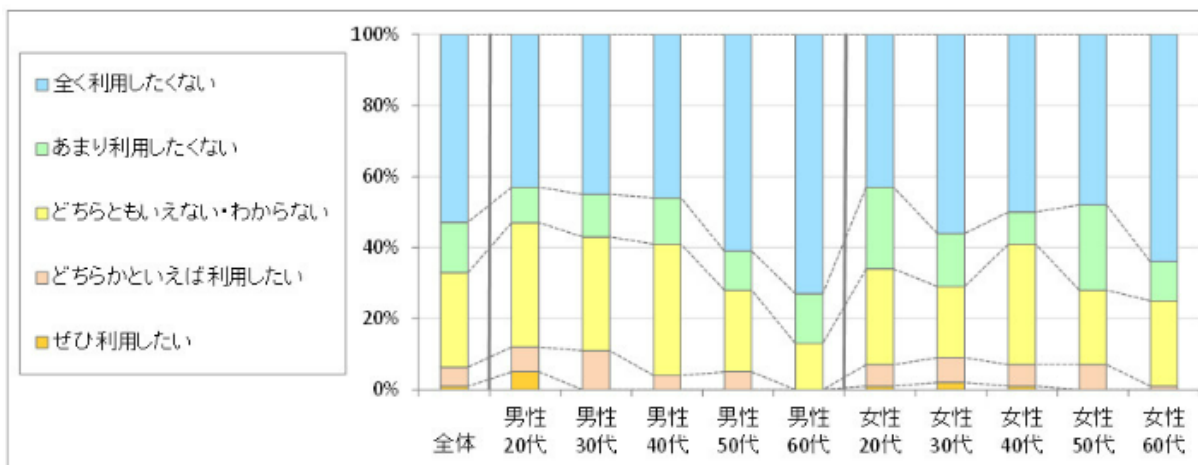
私がこの研究をしようと思ったのは、日本は世界に比べて自殺率が高いことや、カウンセリング利用率が低いことを知ったからだ。そして、後に説明するEAPを通じてカウンセリングの利用率が増加すれば、日本の自殺率の減少につながるのではないかと考えたからだ。なぜならば、日本よりもカウンセリング利用率が高い欧米のほうが自殺率が低いからだ。次に、日本の現状について説明する。



資料： OECD Health Data 2013・Frequently Requested Data に基づき日本医療政策機構作成

『経済的要因に起因する自殺への取り組み』（日本医療政策機構）より引用

上のグラフは、主要国の人口10万人あたりの自殺率である。ノルウェーやスウェーデン、米国などの欧米の国と比べて、日本は自殺率が高いことがわかる。これは2011年までのデータであり、2023年現在、日本の自殺率は1998年に急上昇する以前の自殺率と同じぐらいまで減少している。しかし、それでも欧米に比べて高いことがわかる。

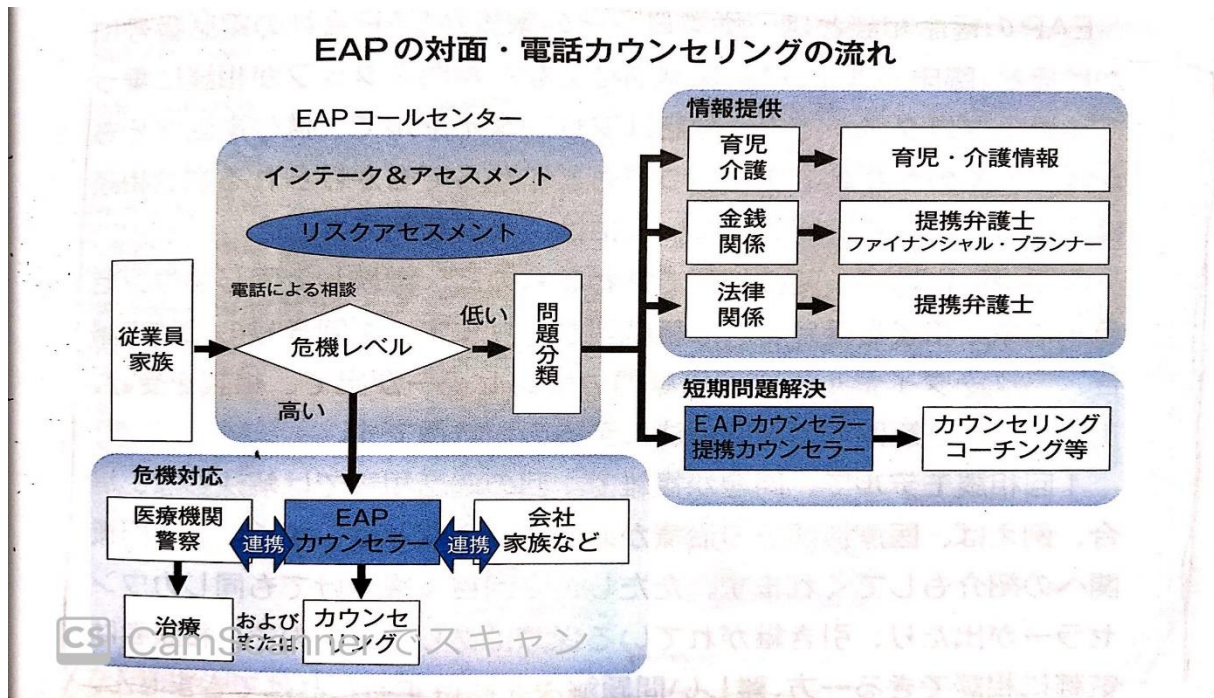


『市場調査データ 心理カウンセリング』（J-Net21）より引用

次に、上のグラフは、日本国内の各世代の人々がカウンセリングを利用したいかについてのアンケートである。どの世代も半分または半分以上の人がカウンセリングを利用したくないという結果になった。これは、日本では自殺に対する偏見が強く、カウンセリングは鬱病の人が受けるものという誤解があることが要因となっている。

2. EAPについて

EAPとは、従業員支援プログラム (Employee Assistance Program) の略である。これは1940年代にアメリカで、アルコール依存症対策として生まれた。



『企業のメンタルヘルスを強化するために』

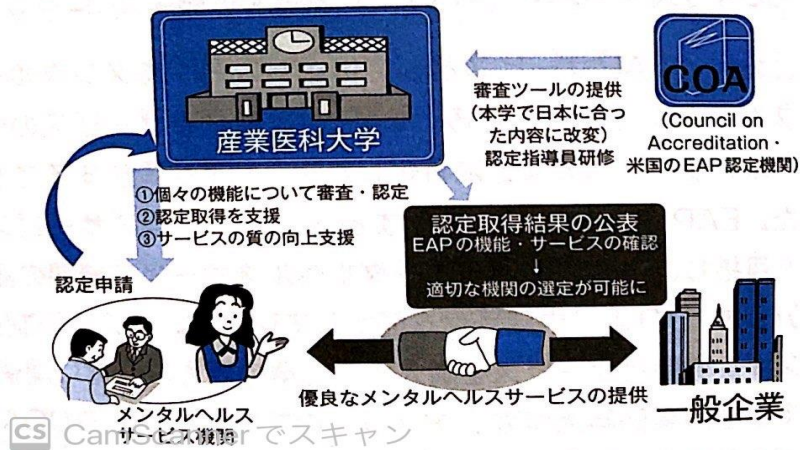
(著 森晃爾、市川佳居、Dale A Masi、丸山崇 .労働調査会) p.31より引用

上図はEAPの対面、電話カウンセリングの流れである。企業がEAPと契約すると、カウンセリングや復職支援などを行う。場合によっては弁護士や精神科医などの他分野の専門家に繋いでくれる。更に8つのオプションプログラムも存在する。EAPには、EAPの機能を社内に常駐させる内部EAPと、企業がEAPサービスを行う機関と契約する外部EAPがある。今回はコストが抑えられ、中小企業に向いている後者に注目する。

3. 認定制度について

次に認定制度について説明する。認定制度とは、産業医科大学が行うMI認定である。これは産業医科大学がアメリカの認定機関であるCOAと契約し、日本において独占的にCOAの認定プログラムを運営するものである。仕組みは下図のとおりだ。この認定によって、契約企業にとっては「公開された認定取得機関の情報を参考にすることにより、個々の企業の状況やニーズに合ったメンタルヘルスサービスを選択し易く」なったり、「企業とメンタルヘルスサービス機関の連携に基づいた対策の改善や契約サービスの利用促進のための仕組みづくりが行い易く」なったりすると、産業医科大学ホームページに記載されている。また、同サイトには、メンタルヘルスサービス機関にとっては、「認定基準

を満すための改善に取り組むことによって、提供するサービスの内容、質の向上と併せて、これまでの自身の成果を検証・再確認する」ことができ、「認定を取得することによって、質の高いメンタルヘルスサービスを提供する組織・能力を有していることをクライアントである企業等へアピールする」ことができるとも記載されている。



『企業のメンタルヘルスを強化するために』

(著 森晃爾、市川佳居、Dale A Masi、丸山崇. 労働調査会)p. 118より引用

4. 課題

我が国における従業員支援プログラム (EAP) の概況と実践

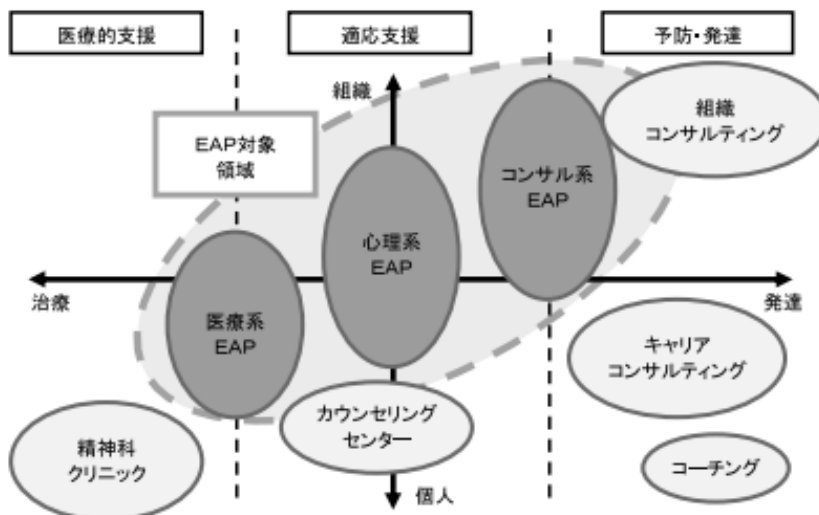


図1 日本における EAP のポジショニング

『我が国における従業員支援プログラム (EAP)の概況と実践』(峰山幸子、入交洋彦) より引用

EAP企業の課題として、まず多くが大企業向けで、中小企業向けが不足していることが挙げられる。次に、EAP企業の成り立ちは様々で、上図のように各EAP企業によって得意分野が異なることが挙げられる。また、各EAP企業によって質がばらばらであることが挙げられる。これらの課題の解決策の1つが認定制度である。

5. 結論と考察

今回は、1. EAP企業認定機関を他にも増やせるのか、2. 認定済みEAP企業が少なくてもより多くの中小企業に広められるか、3. 導入する中小企業には何が必要か、の3つの点から考える。1. で、先述のように、MH認定はアメリカの認定機関であるCOAの方式に基づいて行われているため、そもそも認定機関になるには、COAとの契約、認定基準などの周知徹底が必要である。また、MH認定では、実地調査で2人の調査員が実際に機関を訪れ、必要書類の確認や各担当者へのインタビュー、施設の状況確認やケースレビュー等を行う。そのため、より多くのEAP企業を認定するには人員が必要である。次に、2. で1つのEAP企業が、より多くの中小企業と契約する方法には、まずEAP企業が各地のカウンセリングルームと提携することがあげられる。ただしその際、提携先のカウンセリングルームの品質も維持する必要がある。また、オンラインや電メールなどを利用したカウンセリングは、カウンセリングルームにいなくても相談が可能なので、より多くの相談を行うことができる。次に3. で、EAPを導入する中小企業は、社内の産業保健体制を整えておく必要がある。というのも、外部EAPでは、すべてをEAPに丸投げするわけではなく、産業医や人事課などと連携しながら進めていくからである。例えば、従業員の復職支援は、本人、上司、人事、産業医、EAPなどが何ヶ月もかけて行う。また、コスト的にそのような体制を整えるのが難しい場合には、小規模事業場産業医活動助成金がある。これは、労働者数50万人未満の事業場が、産業医等と契約して産業保健活動を行った場合、最大で60万円の助成金がもらえるもので、1事業場当たり2回申請ができる。

6. 今後の展望

今回の研究では、認定をしてもらったEAP企業の事情を考慮できなかった。MH認定の認定プロセスに参加するのは強制ではなく任意である。また、MH認定にはコストもかかるため、EAP企業側にその余裕があるのかを今後考察していきたい。

7. 参考文献

- ・『自殺予防カウンセリング』藤原俊通、高橋祥友（2008）駿河台出版社、p. 224
- ・『企業のメンタルヘルスを強化するために』森晃爾、市川佳居、Dale A. Masi、丸山崇（2011）労働調査会、p. 168
- ・『我が国における従業員支援プログラム(EAP)の概況と実践』峰山幸子、入交洋彦(2009)Vol. 36, No. 2, p. 13-19 (2022-12-13) https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhep/36/2/36_2_229/_article/_char/ja/
- ・『経済的要因に起因する自殺への取り組み』（2013）日本医療政策機構(2023-1-30) <https://hgpi.org/wp-content/uploads/Suicide%20Issue%20HGPI%20Japanese%202013%20Sep%20V5.pdf>
- ・『中小企業におけるメンタルヘルス対策：産業・組織領域における心理的支援の現状と課題』山中、大士(九州大学大学院人間環境学府)(2020-3-11) https://api.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_detail_md/?reqCode=frombib&lang=0&amode=MD100000&opkey=B151633734127488&bibid=4485361&start=
- ・『市場調査データ 心理カウンセリング』J-Net21(2020-3-27) <https://j-net21.smrj.go.jp/startup/research/service/cons-counseling.html#:~:text=1.%20%E7%8F%BE%E5%9C%A8%E3%81%AE%E5%88%A9%E7%94%A8%E7%8A%B6%E6%B3%81,4%EF%BC%85%EF%BC%89%E3%81%AA%E3%81%A9%E3%81%A7%E3%81%82%E3%82%8B%E3%80%82>
- ・産業医科大学のサイト<https://www.uoeh-u.ac.jp/medical/hoshms/mh.html>

若者の政治参加に向けて

1. はじめに

2017年第48回衆議院総選挙以来、日本では18歳選挙権が導入されている。自民党の「国に届け」によると、18歳選挙権導入の理由は「18歳や19歳をはじめとする、若者の力を社会や政治が必要としているから」となっている。またこの背景として「少子高齢化、人口減少社会を迎えた日本において、若い世代がより早く選挙権を持つことで、社会の担い手であるという意識を持っていただき、主体的に政治に関わる若者が増えて欲しい」「世界的にみて18歳までに選挙権が認められている国は全体の92%であり、今回の引き下げは世界の流れに沿ったもの」が挙げられている。しかし、若者の選挙離れは未だにテレビなどで取り上げられている。若者の投票率を上げるにはどうすれば良いのか。本稿ではそれを解明するための第一歩として投票率の推移などから現在の日本の選挙をゲーム理論的に分析する。

2. 投票率の変化

はじめに、若者の投票率を上げる意味を示す。投票率とは「その地域における投票参加の度合いを表すもの」(Wikipedia)であるが、ここでは「投票結果やそれから得られる情報(世代別の投票率や地域別の投票率など)はその有権者全体のどれだけの人の意向(政治に対する考え、意見、印象などの総称)が反映されたものであるのかを示す値」と考える。したがって投票率が下がっていることは「選挙結果やそれから得られる情報」が有権者全体の意向を十分に反映していなくなっているということである。

表1

年	S.42	S.44	S.47	S.51	S.54	S.55	S.58	S.61	H.2	H.5	H.8	H.12	H.15	H.17	H.21	H.24	H.26	H.29	R.3	
回	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
10歳代	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	40.49	43.21
20歳代	66.69	59.61	61.89	63.50	57.83	63.13	54.07	56.86	57.76	47.46	36.42	38.35	35.62	46.20	49.45	37.89	32.58	33.85	36.50	
30歳代	77.88	71.19	75.48	77.41	71.06	75.92	68.25	72.15	75.97	68.46	57.49	56.82	50.72	59.79	63.87	50.10	42.09	44.75	47.12	
40歳代	82.07	78.33	81.84	82.29	77.82	81.88	75.43	77.99	81.44	74.48	65.46	68.13	64.72	71.94	72.63	59.38	49.98	53.52	55.56	
50歳代	82.68	80.23	83.38	84.57	80.82	85.23	80.51	82.74	84.85	79.34	70.61	71.98	70.01	77.86	79.69	68.02	60.07	63.32	62.96	
60歳代	77.08	77.70	82.34	84.13	80.97	84.84	82.43	85.66	87.21	83.38	77.25	79.23	77.89	83.08	84.15	74.93	68.28	72.04	71.43	
70歳代以上	56.83	62.52	68.01	71.35	67.72	69.66	68.41	72.36	73.21	71.61	66.88	69.28	67.78	69.48	71.06	63.30	59.46	60.94	61.96	
全体	73.99	68.51	71.76	73.45	68.01	74.57	67.94	71.40	73.31	67.26	59.65	62.49	59.86	67.51	69.28	59.32	52.66	53.68	55.93	

※① この表のうち、年代別の投票率は、全国の投票区から、回ごとに144~188投票区を抽出し調査したものです。

※② 第31回の60歳代の投票率は60歳~70歳の値に、70歳代以上の投票率は71歳以上の値となっています。

※③ 第48回の10歳代の投票率は、全数調査による数値です。

表2

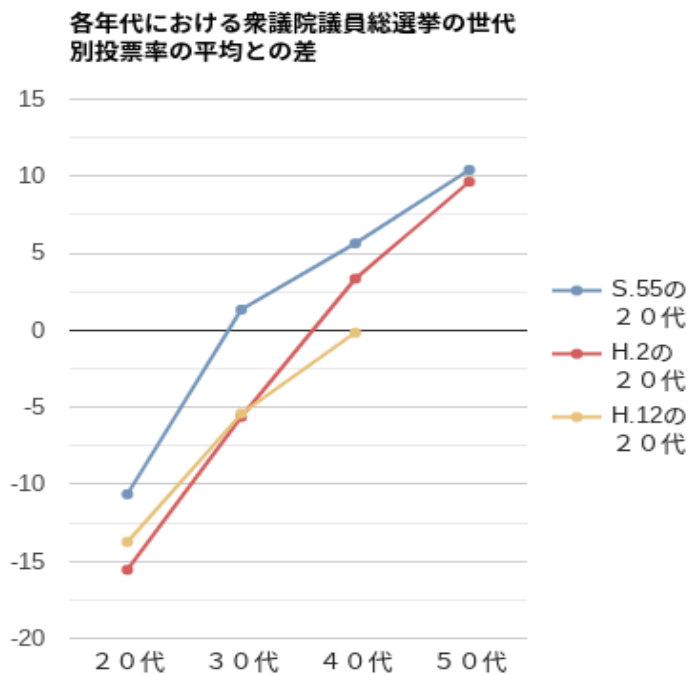


表1は総務省による「衆議院議員総選挙における年代別投票率(抽出)の推移」と、表2は表1をもとに作成した「各年代における衆議院議員総選挙の世代別投票率の平均との差」である。表1を見ると投票率が50%を超えている年代は平成2年第39回までは20代以降、平成24年第46回までは30代以降、そしてそれ以後は40代以降となっている。また、表2からどの世代においても歳を重ねるにつれて、投票率が増加する傾向が見られた。このことから選挙に参加した人はその次の選挙にも参加する可能性が高いと考えられる。以上のことから、世代を経るにつれて有権者が選挙に参加し始める年代が高くなっていることがわかる。選挙に参加し始める年代が後退することは全体の投票率の低下に直結し、民主主義の衰退に繋がる。したがって、全体の投票率を上げるためには、若者の投票率を上げることが効果的である。

3. 限定合理性ゲーム理論

選挙とは社会の様々なプレイヤーが意思決定をし、相互に影響する関係であるといえるので、これはゲーム理論が対象とする行動である。また、プレイヤーである有権者は、企業における利益追求や生物における生存戦略のような明確な戦略がない。よって、ここでは限定合理性ゲーム理論を用いて、プレイヤーの戦略を「支持する政党・候補者が選挙に勝つ」としてモデル化し、投票率が低い場合の行動を分析する。

(1) 投票率が低い場合

投票率が低いと総投票数における一票の価値が大きくなる。つまり、結果の変動が起こりやすくなる。結果が変動しやすいので、有権者は自分の支持する政党が勝っていればそれを維持するために、負けていれば他の政党に勝つために投票すると考えられる。表1の20代から投票率が50%を超えていた平成2年までの全体の投票率を見ると、投票率が70%を下回った回の次回は70%を上回っている。したがって有権者が投票率が低いと分かれば投票率は上がると考えられる。

(2) 考察

前述の分析において「投票率が低いと分かれば投票率は上がる」という結果が得られたが、近年の投票率は低い水準で停滞しているにも関わらず、投票率は昔ほど高くない。その原因には[1]現在の投票率が低いと感じていない[2]支持する政党・候補者がいないの2つが挙げられる。(1)では有権者が現在の投票率が低いと感じれば自分の支持する政党・候補者を勝たせるために投票に行くとして述べたが、これは有権者が現在の投票率が低いと感じていなければ投票に行かないということである。ゆえに、現在の投票率を聞いても有権者がそれを低い値だと感じていないことから、現在の投票率は上がらないと考えられる。また、ゲーム理論における有権者の戦略が不適當であることが考えられる。本稿では有権者の戦略を「有権者の支持する政党・候補者が選挙に勝つ」としたが、前提として支持する政党・候補者がいなければ選挙に参加しないのではないだろうか。支持する政党・候補者がいないということは現状維持でも革新でもどちらでもいい、つまり政治に対して関心がないということである。それゆえ、有権者は選挙に参加する動機がなく、投票に行かないと考えられる。

4. 結論

ゲーム理論分析から現代の低い投票率が改善しないのは、有権者の政治意識だけでなく政党・候補者側にも原因がある可能性が見えてきた。有権者が選挙に行かない理由として、政党・候補者が、有権者が彼らを支持したいと思えるような取り組みをできていないことが挙げられるからだ。本稿ではプレイヤーの戦略を一つに絞り他のものを排除して分析したので、より現実の人間に正確なモデルで研究する必要がある。

5. 参考文献

- 総務省 (2021). 国政選挙の年代別投票率の推移について. https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaiabetu/. 2023年7月18日.
- 自由民主党 (2021). 18歳選挙#国に届けvol. 1. <https://www.jimin.jp/18voice/vol1/>. 2023年7月18日.
- 町野和夫 (1993) 「有権者の意向は何故反映されないのか? : ゲーム理論的分析」 経済学研究, 48 (4), 147-160.
- 羽藤英二, 朝倉康夫 (1999) 「限定合理性を考慮した経路選択モデルと均衡配分手法」 土木計画学研究・講演集, 22 (2), 191-194
- 成島康史 (2018) 「進化ゲーム理論を用いたビジネスゲームの考察」 シミュレーション&ゲーミング, 27 (1), 20-26
- 三船毅 (2020) 「有権者の変容 : 世代交代と低投票率」 法學研究: 法律・政治・社会, 93 (1), 495-528

意識と体から見る刑罰

1. はじめに

刑事罰で罪を問われているのは意識か体かを考える必要がある。なぜなら、今後頭部移植などの医療技術の発展によって、刑罰から逃れられる者が現れる可能性があるからだ。

2. この研究の問い

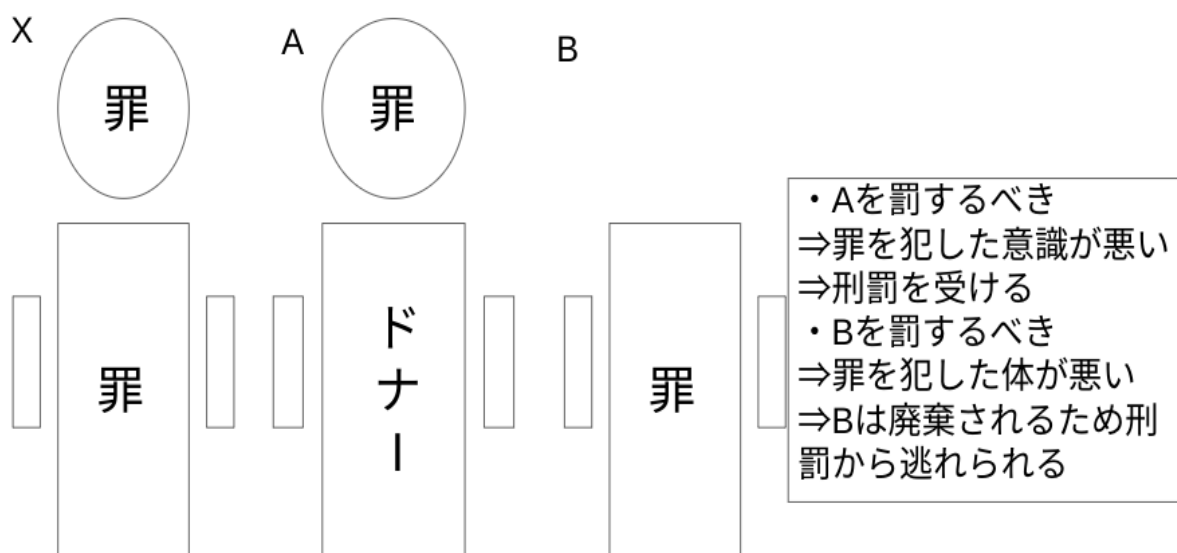
人が罪を犯した後、罰せられるべきなのは意識か体か

3. 仮説

刑務所などでは受刑者に反省を求めているため、意識を罰しているのではないか

4. 仮説の証明方法

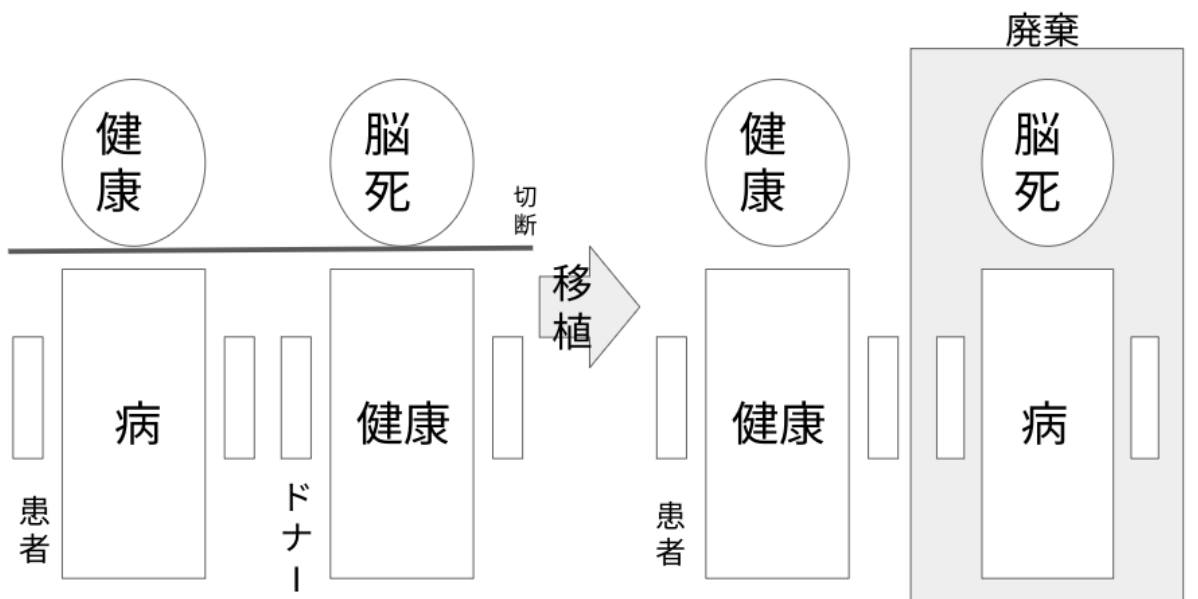
刺傷等、人の体に直接危害を与える犯罪を行った後、裁判を受ける前に頭部移植手術を受けた人物Xがいたとする。頭部移植手術を行った後、Xの頭部(意識)とドナーの体を持つ者をAとする。もしこれを罰するべきとなった場合は、AはXの意識を持っているため、意識を罰するべきということだ。そして、Xの意識は刑罰を受ける。頭部移植手術を行った後、Xの体とドナーの頭部(意識)を持つ者をBとする。これを罰するべきという結論になった場合は、BはXの体を持っているため、体を罰するべきということだ。ただし、頭部移植手術において患者の体とドナーの頭部は不要であり、Bはすでに廃棄される。そのため刑罰を与えることができない。



ここでの刑罰とは拘禁刑を想定する。

5. 頭部移植とは

2017年にイタリアのセルジオ・カナベローが中国の研究チームとともに行った医療技術。下半身不随のような頭部は健康だが体が動かない人の治療を目的とした医療技術。ドナーは脳死等の脳は使えないが体は健康な人物である。具体的には、それぞれの頭部と体をダイヤモンドのカッターで切断した後、ドナーの体と患者の頭部の神経や血管等をつなげる。



6. 論証1 刑法

応報刑論…犯罪を犯したのだから刑罰を受けるべきだという考え方に基づく。例としてバビロン法典の「目には目を、歯には歯を」といった考え方。

目的刑論…一般予防論として、刑罰は広い意味での犯罪防止のために科されるという考え方。

応報刑論と目的刑論はそれぞれ絶対的な考え方と相対的な考えという真逆の考えである。

(1) 応報刑論の場合→体を罰すべき

理由…人が人に危害を加えたときその害を受けるのは、人の体であり、その害を報復として受けさされるべきなのは、目には目を歯には歯をの考え方から体である。

(2) 目的刑論の場合→意識を罰すべき

理由…意識ではなく体を罰すべきとなった場合、Xさんの体 (B) はすでに廃棄されており、それを罰することはできない。そのためXさんは刑罰から逃れたことになる。そこでは頭部移植をすると、どのような犯罪を犯したとしても、頭部移植さえ行えば刑罰から逃れられるという状況が出来る。無論今後頭部移植手術がいくら一般化したとしても、誰もがコンビニ感覚で簡単に受けられるようになるとは考えられない。それでもそのような状況が生まれた場合、目的刑論における目的である、刑罰による犯罪の抑止が効かなくなる。

(3) どちらの考えを用いるべきか→目的刑論

理由…今の日本では犯罪者を刑務所に送り、その人の時間を奪うという害を与えているため、応報刑論的な目的のために刑罰を科しているとも言える。しかし実際、目には目を歯には歯のように刑罰は行われておらず、死刑などの重い罰が犯罪の抑止力としても存在していることから、日本では目的刑論的な考えが強いといえる。

⇒目的刑論の考え方にに基づき意識を罰すべき。

7. 論証2 過去の事件

昭和63年、刺傷事件を起こした女性の解離性同一障害（二重人格）が認められ、責任無能力を理由に不起訴処分になった。

解離性同一障害（多重人格）…自らに起こった精神的もしくは肉体的な苦痛から逃れるため、新しい人格を作り、それらに苦痛を流そうとするため、一人の人間に複数の人格が存在する病気。

この事件からわかること

(1) 起訴の段階においては意識が重要視されている。

(2) この事件において犯行を行ったのは同じ体だが、その体は罰せられていない。また意識は事件時と平常時は異なるもので、それらは罰せられていない。

⇒体が同じであるBが罰せられることはなく、Aを罰するべき。よって意識を罰するべき。

8. 論証3 現行の法律（心神喪失）

刑法第39条

1. 心神喪失者の行為は、罰しない。
2. 心神耗弱者の行為は、その刑を減刑する。

なぜこのような法律があるのか

心神喪失状態にあるということはその時の自己の行動に対して責任を取ることができない状況にあるということだ。そのため、その行為に対して非難することも、反省させることもできない。つまり犯行時の意識がないもしくはない場合、刑罰を受ける必要はないということだ。このことから犯行時の意識を持たないBを罰するべきとはならず、Aを罰するべきということになる。

⇒現行の法律では意識を重要視しているため、意識を罰するべき。

9. 結果

論証1～3より、Xさんの意識（A）を罰するべきである。

よって、人が罪を犯した後、罰せられるべきなのは意識である。

10. 今後の展望

今後、頭部移植のような今までは想像もできなかったような技術の発展によって、司法において新たな問題が生まれるかもしれない。その中で、刑罰が罰しているのは意識か体かという問題が出てきた場合、現在まで意識にそれが認められてきたという事実より、その軸がずれないように、刑罰が罰しているのは意識であるということを意識し、司法は刑罰を下していくべきだ。

11. 参考文献

前田雅英（1998）.『刑法総論講義〔第3版〕』.東京大学出版会

山口厚（2008）.『刑法入門』.岩波新書

川口浩一（1998）.「解離性同一障害（多重人格）と刑事責任——我が国の事例を中心に——」.奈良法学会雑誌, 11(2), 1-35.

Canavero, Sergio. (2013). "HEAVEN: The head anastomosis venture Project outline for the first human head transplantation with spinal linkage (GEMINI)." *Surgical Neurology International*

サンリオピューロランドのアメリカ進出を成功させるグローバルマーケティング戦略

1. はじめに

企業活動において、商品やサービスが自然と売れるようなしくみを構築することを目的として企業の資本を運用することが、商品やサービスの成功を左右する。この「マーケティング戦略」は企業の海外進出にも役立てられている。これは「グローバルマーケティング戦略」と呼ばれている。

マクドナルドやコカ・コーラ、ディズニーランドは、グローバルマーケティング戦略によってアメリカから日本に進出した。中でも、サンリオピューロランドと同じ遊園地事業を営むディズニーランドもグローバルマーケティング戦略を活用していることが、注目すべき点である。ディズニーランドの日本進出におけるグローバルマーケティング戦略を参考にして、サンリオピューロランドのアメリカ進出におけるグローバルマーケティング戦略を考察する。

2. サンリオピューロランドをアメリカ進出させる理由

サンリオピューロランドをアメリカ進出させる理由は、サンリオキャラクターのアメリカでの人気である。

サンリオは、他社と比べて著作権関係が緩く、デザインを地域ごとのニーズに合わせる事が可能である。そのため、コラボを重ねることによって人気を集めることができる。ハローキティは、アメリカで影響力のあるレディー・ガガやケイティ・ペリーなどのセレブリティたちの注目を集め、そうしたセレブたちと多数コラボした。アメリカ初のハローキティカフェポップアップストアでは、オープンの約4時間前から行列を作り、オープンから3時間後にはすべての商品が売り切れた。ハローキティカフェは常設店舗の3店舗に加え、ハローキティカフェトラックというものがアメリカ各地を周遊している。また、常設店舗であるラスベガス店オリジナルのマグカップは、発売から2日で売り切れた。

ハローキティのアメリカでの人気の理由に、口が描かれていないため、感情移入が容易く、親しみやすいことや、ニーズに合ったデザインがしやすいということが挙げられる。

他のキャラクターでは、アグレッシブ烈子が人気である。アグレッシブ烈子は、Netflixのオリジナルシリーズとしてアメリカでアニメ化され、辛口で有名なアメリカ最大の映画批評サイト「Rotten Tomatoes」で評論家の満足度100%、顧客の満足度96%という好記録を得た。サンリオの米国法人は2016年にアグレッシブ烈子の英語字幕版の紹介アニメをYoutubeで公開した。「サンリオキャラクター大賞2021」では、日本の結果を中心とした総合結果は38位であったのに対し、アメリカ部門では2位にランクインした。SNS (Twitter) のフォロワー数は日本語のアカウントが約62000人、英語のアカウントが約99000人となっており、英語のアカウントの方がフォロワー数が多いことがわかる。

アグレッシブ烈子のアメリカでの人気の理由に、1人用カラオケルームで美味しい軽食やビールが提供されるなどといった、日本固有の細かい文化を表現していることや、「仕事でのストレス発散」というテーマが、仕事をするミレニアル世代の共感を得ていることが挙げられる。

3. グローバルマーケティング戦略

グローバルマーケティング戦略は、主に3つに分けられる。

1つ目の現地適応化戦略は、国や地域によって異なるニーズに合わせることで、地域ごとの顧客満足度の向上を狙う戦略だ。簡単に言うと、自社の商品が他の地域で受け入れられるように、その地域

の伝統や人々の嗜好に合わせることである。アメリカのディズニーランドにある「潜水艦の旅」というアトラクションは、戦争や原子力を想起させ、日本人にネガティブなイメージを与えるため、日本のディズニーランドには作られなかった。また、日本のディズニーランドには、弁当文化に馴染む日本人のためにピクニックエリアが設置された。七夕や正月など日本固有の年間行事に合わせたイベントも毎年開催されている。

2つ目の標準化戦略は、世界で商品やサービスを統一することによって世界的イメージを形成し、「規模の経済」を狙う戦略だ。規模の経済とは、消費者に「この商品といえばこの企業」というイメージを形成させ、消費者がその商品を買う際に迷わず自社の商品を選んで買わせることである。簡単に言うと、自社の商品をそのまま海外に導入することによって、自社の確固たるブランドを形成することである。開園当時の東京ディズニーランドのアトラクションは29個であった。そのうち「ペニーアーケード」「ウエスタンリバー鉄道」「ピノキオの冒険旅行」「エターナル・シー」「ミート・ザ・ワールド」を除く24個のアトラクションはアメリカのディズニーランドのものがそのまま導入された。また、開演当時は日本食が提供されておらず、アメリカの名物であるピザやスイーツが多かった。

3つ目の複合化戦略は、現地適応化戦略と標準化戦略を融合した、世界的イメージを確立しつつ世界の幅広い地域の人々のニーズに応えることを狙う戦略だ。ディズニーランドは2つの戦略を並行して行う複合化戦略を施すことによって、日本のテーマパークの入場者数ランキングでは首位を獲得し続けている。

このことから、サンリオピューロランドは複合化戦略を施すのがよいと考えた。

4. アメリカ進出するサンリオピューロランド

まず、ショーやパレードについて考える。日本とアメリカのディズニーのショーやパレードの内容は似ており、ここでは標準化戦略を適用していると考えられる。しかし前述の通り、ディズニーでは日本の文化を尊重し、七夕や正月のイベントを行っている。そのため、アメリカと日本の文化の違いを考慮することが大切だ。例えば、アメリカは領土が広く、雨季が場所によって異なるので、梅雨のショーは避けるべきである。また、2.で述べたように、アメリカで人気のあるサンリオキャラクターを適用すればよい。

次に、レストランについて考える。サンリオピューロランドで提供されている食事のほとんどはカレーやラーメンである。しかし、日本のディズニーランドでもカレーやラーメンが提供されているのに対し、アメリカのディズニーランドではカレーやラーメンは提供されていない。アメリカでそれらを作るためには多額のお金が必要とされるからだと考えられる。カレーについては、アメリカで白米文化が馴染んでいないために日本米は約2700円/2kgであり、安価で大量生産することが難しいことがわかる。ラーメンについては、2022年9月時点で一杯約2800円であり、安価で提供することが難しい。また、カレーとラーメンどちらについてもサンリオキャラクターのデコレーションが上乘せされるとより高価になる。それに対し、アメリカではハンバーガーは約835円、ホットドッグは約420~700円、ピザは1枚約500円で手に入れることができ、デコレーションのことを考慮しても安価に販売することができる。ここでは現地適応化戦略を適用すればよい。

最後に、営業時間について考える。日本のディズニーの閉園時間は21時であるが、アメリカのディズニーの閉園時間は24~25時である。日本とアメリカの間に深夜についての考え方の違いがあることは明確である。アメリカでは「ナイトタイムエコノミー」が活発である。これは18時頃~翌6時頃の

夜間に行われるさまざまな経済活動である。ナイトタイムエコノミーはニューヨークでは約2.1兆円の利益を生んでいる。ニューヨークの大半の地下鉄には終電がない、ブロードウェイの劇の開演時間は20時前後である、ニューヨークの美術館の案内は21時頃までである、などがナイトタイムエコノミーの例である。アメリカ人観光客のうち、日本への不満として、ナイトスポットの少なさを挙げる人が多い。ここでも現地適応化戦略を適用し、閉園時間が17時であるサンリオピューロランドの閉園時間を見直す必要がある。

5. まとめ

サンリオピューロランドはアメリカ進出をする際、複合化戦略を施すべきである。

複合化戦略を施しアレンジを加えることによって、アメリカ人に受け入れられるサンリオピューロランドを作ることができる。

6. 今後の展望

ディズニーが日本進出した理由には、ミッキーマウスの人気が少なからずあった。しかし、日本の新たな文化を受け入れやすいという特性が日本進出の最たる理由であったため、サンリオキャラクターのアメリカでの人気だけがアメリカ進出の理由であることは不十分である。そのため、サンリオピューロランドのアメリカ進出が成功するという確かな情報を見つけることが課題である。

7. 参考文献

- ・山岡由香 (2015) 「ディズニーのグローバル・マーケティング～アメリカ文化と日本文化が生み出した東京ディズニーリゾートの成功～」
- ・ワイズアンドパートナーズ (2017) 「『ハローキティ』が米国でどのようにして人気になったか」
<https://ysandpartners.com/jp/blog/hello-kitty-popular-overseas-japan-kawaii-culture/>
- ・女子スパ (2020) 「サンリオキャラ大賞、アメリカで3位！謎の『アグレッシブ烈子』って？」
<https://joshi-spa.jp/1013411>
- ・コトドリ (2022) 「標準化と適応化の使い分け」 <https://kotodori.jp/user-research/analytics/pr-oper-use-of-standardization-and-adaptation/>
- ・訪日ラボ (2021) 「ナイトタイムエコノミーとは」
<https://honichi.com/news/2021/02/19/nighttimeeconomy/>

都市伝説の共通点とは

1. はじめに

都市伝説とは近代発祥の噂話で、根拠が曖昧不明なものである。この研究では数ある都市伝説を作り話と仮定し、一種の創作物として捉えることでそれらの共通点を探り、多くの人々の興味を引いた都市伝説の特徴を捉える。

2. 都市伝説の発生

都市伝説は主に口承で流行ってきたが、1990年代末から2000年代にかけてインターネットが普及し始めると、匿名掲示板や投稿サイトを中心に、バリエーション豊かな都市伝説が書き込まれるようになる。1990年代以前から存在する口裂け女や人面犬などの、不審者情報が元となって広まった口承による都市伝説とは大きく異なり、文字による都市伝説が主流になった。あとから投稿者が「全て作り話です」と明言する事が多いネット上での都市伝説は、その多くが創作であり、投稿者が読者を怖がらせようとして仕掛けた工夫があると考えられる。

今回の研究では、数多くある都市伝説をインターネット上で流行ったものに限定し、人々が怖いと思うポイントを探る。またインターネット上の都市伝説は、「怖さ」を求めて自主的に読む場合がほとんどだと考えられるため、この研究では多くの人を読んだ都市伝説ほど「怖い」話であると仮定する。

3. 共通点1 漢字とカタカナの使い分け

多くの都市伝説で用いられる工夫の一つは漢字とカタカナの使い分けである。例えば、「カンカンダラ」という話ではカンカンダラと称される化け物が登場するが、物語序盤ではカタカナで「カンカンダラ」と表記される。この時点での物語の登場人物は「カンカンダラ」の正体を知らない。物語中盤から後半にかけて、「カンカンダラ」と遭遇し、その正体が判明すると「姦姦蛇螺」と漢字に変換される。もし先に「姦姦蛇螺」と表記されていたら、読み手は漢字から簡単に正体を想像できてしまう。「姦姦蛇螺」なら、下半身が蛇の女が「カンカンダラ」の正体だ。あえてカタカナで表記することで、読み手に興味をもたせることができる。また、「きさらぎ駅」が「鬼駅」と変換されるような、ひらがなから漢字に変換される場合もある。

さらに、「くねくね」という都市伝説ではくねくねと称されるものが出てくるが、物語の途中で弟が、くねくねを見た兄にその正体を尋ねると、『わからないほうがい……』と言われ、その後兄が豹変してしまう。このようにセリフにカタカナを混ぜることで違和感を抱かせるとともに、カタカナで表記されたセリフは正常な人間のものではないと感じさせる。「ヤマノケ」という都市伝説でも、「ヤマノケ」と呼ばれるなにかに体に乗っ取られた娘が「テン、ソウ、メツ……」とうわ言を繰り返す。この言葉は、実際に聞いていた父親もなにを言っていたか理解できておらず、こんな感じに聞こえた、というふうに記述しているのに対し、娘にヤマノケが乗り移った際に娘の口から漏れる「はいれたはいれたはいれたはいれたはいれた」という言葉は父親も、娘の中にヤマノケが「はいった」という意味がわかっているためひらがなで表記されている。

これらの例から、カタカナで表記された言葉は正常な人間の世界の言葉ではないということがわかる。カタカナを文中に混ぜることで、理解できるものと理解できないものを明白に区別することができる。

4. 共通点2 余韻

多くの都市伝説で用いられる工夫として、話をはっきり終わらせないことで余韻をもたせ、話の後味を悪くする点が挙げられる。

例えば、『新耳袋』第一夜の「地下室」という話では、ある旧家を取り壊したところ、謎の地下室が現れる。二畳敷の床、四方は漆喰の白い壁、上は木の板で蓋がされた、完全な密室だ。誰がなんの目的で作ったのか一切わからない。結局、この話は以下のような文で終わってしまう。

不思議なことに、なにもないその西側の壁に、朱色で、直径四十センチほどの日の丸のようなものが描かれていたという。

これが唯一の、この部屋の存在の意味を解く鍵であるように思える。

しかし、結局はなにもわからずに、その部屋も取り壊されたのだという。

「これはいったい、なんだったんでしょうね」

尋ねられて、私もわからないと、首をひねるしかなかった。

ただ、壁に描かれていたという朱色の日の丸が、この地下の密室と外界、あるいはなにかの空間とを結ぶ窓というような役割をしていたのではないか……。そして、その日の丸のようなものを描くために、こんなものを作ったとは思えないだろうか。

(木原、1998、pp. 205-207)

このように話を曖昧なまま終わらせることで余韻をもたせ、後味の悪い話ができる。より多くの読者に恐怖を抱かせるために仕掛けられた工夫として、多くの都市伝説で見られる共通点である。

5. まとめ

多くの都市伝説における共通点は大きく2つあり、1つ目は漢字とカタカナの使い分けが挙げられる。漢字で表記された言葉は正常な人間の世界、カタカナで表記された言葉は人間とは別の奇怪な世界を表し、明確な線引ができる。2つ目の共通点は話に余韻をもたせ後味を悪くする点が挙げられる。話の中の奇怪な出来事を完全に解決させないことで、話に余韻をもたせ、奇妙な印象を与えることができる。

6. 参考文献

- ・吉田悠軌『一生忘れない怖い話の語り方～すぐ話せる「実話怪談」入門～』KADOKAWA、2021
- ・吉田悠軌『現代怪談考』晶文社、2022
- ・ジャン・ハロルド・ブルヴァン『消えるヒッチハイカー—都市の想像力のアメリカ』新宿書房、1990
- ・木原浩勝、中山市朗『新耳袋 第一夜 現代百物語』メディアファクトリー、1998
- ・「インターネットの登場・普及とコミュニケーションの変化」<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd111120.html>

関西方言「ねん」はどこから来たのか

1. はじめに

現在使用されている関西方言(関西及び近畿地方二府五県、特に京阪神地方に特有の言葉や発音による話し方)には断定、事情説明の意味を持つ表現にあたる「～ねん」という表現がある。使用例として、「なんでやねん」や「何言うてんねん」などが挙げられる。

私は、この「ねん」はどの表現に由来するものなのか、現代の関西方言を古典で使用されているような京の言葉の延長線上ととらえ、歴史をさかのぼって調査することにした。また関西方言といっても、地域差による言葉や文法の違いが多々見られるため今回は大阪方言を中心に考えることとする。

2. 「ねん」の成り立ち

関西方言としての「ねん」は上方落語の戯曲資料より、大正時代末期頃より普及したとされる。この由来をたどると、「のや」が「ねや」へと音変化をとげ、さらにより話し言葉としての性質を強めて変化し「ねん」になり、いわゆる大阪方言として広まったことがわかった。ここでいう「のや」は現在も使われる関東表現の「のだ」が変化したものである。「ねん」は共通語とされる「のだ」と出自は同じだと考えられるが、はっきりとした強い断定を示す「のだ」よりも対人用法としての意味合いが強く、あたりが柔らかく感じられるとされる(尾上圭介『大阪ことば学』)。そのため、商人たちが接客の際に好んで使ったとされる。よって、商業が発展していた大阪を中心に京阪神地方で方言として「ねん」が広まった。

3. 江戸語と上方語のつながり

前節で述べたように、「ねん」の由来となる表現は、関東表現「のだ」である。標準語(共通語)が成立した明治時代以降の比較的新しくできた方言だとわかったが、今回はさらに時代をさかのぼり、より古い時代から由来となる表現を探ることとする。「のだ」は現在の東京を中心として話されていた江戸語(江戸ことば)から生まれた言葉であるため、まず江戸時代(18世紀～19世紀頃)の言葉を調査した。

江戸時代、幕府が江戸に置かれたことで経済が大いに発展し、学問や言葉も江戸特有のものが発達した。この時期に発達した言葉いわゆる江戸語は、全く独自に生み出されたというものではなく、様々な地域の影響を受けながら発展していった。特に色濃く影響を受けたのが、現在の関西方言にあたる上方語である。上方は、毎年行われた勅使の江戸下向や、その返礼としての京都出張で行き来が多かったり、上方の人々が多く江戸に居住していたりするなど人々が交わる機会も多かった。他にも人形浄瑠璃や歌舞伎の江戸での上演は上方語のままで行われていた。また、知識人(学者、医者、説法者など)や老年層は、上方語は帝がいる土地の言葉として規範の言葉であると好んで用いる傾向にあった(金水敏『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』)。

さらに、江戸時代の洒落本など俗文学には上方語の影響を受けていると思われる会話文の表現も多くある。例として、形容詞の連用形ウ音便「早う」(早くがウ音便化)など、ハ行四段活用動詞連用形ウ音便「いふて」(言っがウ音便化)、現在でも関西地域で使われる「ほかす」(捨てるという意味)という表現を江戸出身の人物が話している描写などが挙げられる。

4. 江戸時代以前の変化

江戸語は上方語に由来するという前節をふまえると、「ねん」の由来である関東表現「のだ」から京ことばへとさらに遡って由来となる表現を探すことができると考えられる。

江戸時代の洒落本『郭中奇譚』（江戸語のものと同じ内容を大阪詞に改めた上方版の異本がある）によれば、

「おらがのもまいばん本所からこゝ迄くるのだからはやくへるぞ」（郭中奇譚・掃臭夜話）

「わしかのもまいはん高原からくるのじゃよってたいていへる事じゃない」（郭中奇譚・掃臭夜帖〔上方版〕）

前者の江戸語の文章で「のだ」および「だ」にあたる言葉は、後者の上方語の異本では「ぢゃ」と置き換えられている。よって、この「だ」と「ぢゃ」は同じ用法の言葉であると言うことができる。

さらに今回は、この江戸時代の「ぢゃ」から時代を遡り考えていくこととする。

室町時代ごろ、『史記抄』（室町中期）に、「である」の「であ」の形が「ぢゃ」に変化したと見られる形がある。

「庸人トハ通例ノ人カト思タレバ天下ノ名人ヂャケルヨト云ゾ」（史記抄・魯仲連鄒陽列伝）

よって、「ぢゃ」が「であ」に音変化したものと考えられる。

この「であ」は鎌倉時代に「であり」から「である」を経て、動詞の連体形と終止形の同化による音変化と語尾が抜け落ちた形である。さらに、「であり」は「にてあり」という言葉の「にて」が格助詞「で」に変化したものである。

「わごぜは今様は上手でありけるよ」（覚一本平家）

「熊井の女童部の事は、さばかりでわたらせ給へと制しなければ、」（沙石集）

後者の「で」は「にて」に相当する連用法が用いられている。この変化は『沙石集』（鎌倉中期）ですで見られるため、平安時代末期頃の変化だと考えられる。

よって、「だ」の由来は「にてあり」であるため、「のだ」を由来に持つ「ねん」も江戸時代からさらにさかのぼって考えると「にてあり」が由来だといえる。

5. おわりに

上記のように、関西方言「ねん」の由来となる言葉は「のだ」であった。本研究では、江戸語と上方語のつながりから、さらに時代をさかのぼることで、「ねん」の由来を探った。地域によって言葉の変遷の過程は様々異なり、言葉は口頭でより変化していくものであるため、あくまでひとつの仮説にすぎないが、「ねん」は「にてあり」と延長線上にある言葉だと結論づけることができた。

今後の課題として、より詳しく文献を調査したり、他地域の言葉の変遷との比較を行っていきたい。

6. 参考文献

- ・尾上圭介『大阪ことば学』創元社（1999）
- ・沖森卓也『日本語全史』筑摩書房（2017）
- ・真田信治監修『関西弁辞典』ひつじ書房（2018）
- ・金水敏『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店（2003）
- ・白石良夫『古語の謎 書き替えられる読みと意味』中央公論新社（2010）
- ・棚橋正博『吉原と江戸ことば考』ペリかん社（2022）
- ・野間純平『大阪方言におけるノダ相当表現：ノヤからネンへの変遷に注目して』阪大日本語研究（2013）
- ・山口堯二『であるの形成』京都語文（2002）<https://archives.bukkyo-u.ac.jp/rp-contents/KG/0009/KG00090R074.pdf>
（参照2023-07-25）

安楽死・尊厳死は認められるべきか

1. はじめに

安楽死・尊厳死の是非を問う議論はよく見かける。2014年にNHKが行った調査³によると、安楽死を「認められる」と答えたのは2014年では全体の73%、尊厳死を「認められる」と答えたのは全体の84%であった。しかし私は反対意見をあまり耳にしたことが無かった。よって、自分の安楽死・尊厳死に対する考えを深めるために反対意見を調べようと思ったのが、研究のきっかけである。

この研究は、安楽死・尊厳死を自己決定権、社会福祉の2つの観点から、批判的に考察するものである。

2. 論証 1

安楽死・尊厳死の賛成意見の1つとして、死の自己決定権を認めるべきだという意見がある。しかし、本当に死は自己決定できるのだろうか。生命倫理学者の小松美彦氏は自著『自己決定権は幻想である』(2004)において、これを否定している。小松氏によると、手紙や鉛筆は個人の所有物であるからどう扱おうと構わない。これを自己決定にかかわる権利関係の最も原理的な構図だとしている。ところが死というものは一個人に閉じ込められたものではない、周囲の人にまたがる、人間関係のなかでおきる事柄であると述べている。よって人は死を所有も処分もできないとしている。死は個人が決定を下すのは不可能で、権利概念をあてはめることもできないと指摘する。

また小松氏は同著において、1990年代に自己決定権の考え方が日本で広まった理由の1つに、新自由主義の問題を挙げている。新自由主義とは、「政府の積極的な民間介入に反対するとともに、古典的な自由放任主義をも排し、資本主義下の自由競争を重んじる立場および考え方」(大辞林)である。しかし小松氏は同著において、「国家経済が逼迫するという昨今の状況背景に、個人の自由を全面に強く押し出す一方で、これを自己責任とセットにして事に当たろうとする考え方」としている。つまり、国家財政にかかる福祉政策のコストの圧迫を軽減するために、福祉国家としての課題を都合よく個人に転嫁し、しわ寄せしようとする動きがはじめてあったと指摘する。

3. 論証 2

そこで今度は社会福祉の観点から考える。

小松氏は、福祉国家は福祉に割り当てられる予算の限界があるため、福祉を受ける人の数を減らし、少人数に充実した福祉の手を差しのべるという方法をとると述べている。これに基づき、臓器移植や出生前診断、尊厳死・安楽死を推進させたいという隠された本音が、福祉国家にはあると指摘する。

また、これに関連して優生政策についても考察する。

小松氏はナチス・ドイツによって1930年代から40年代にかけて実行された優生政策は、自己決定権がベースとなったと主張する。ナチス・ドイツの優生政策は結婚統制法を除くすべての法律に、自己決定権に相当する理念が謳われていた。また、安楽死法案の条文には、自己決定能力のない人(知的障害者や精神障害者)は、行政体や医師が本人に成り代わって死の権利を代行することができるとい

³NHK 「生命倫理に関する意識調査、2014」より<https://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/chosa-hyo/1140s.pdf>

う主旨が書かれていた。そのため「病気の状態が深刻で治療できない患者を安楽死させる権利を与える」という極秘命令書が出され、障害者の殺害計画が動き出した。⁴

また、スウェーデンやデンマーク、ノルウェー、フィンランドでも断種が実行された。

このように、優生政策および安楽死・尊厳死は福祉国家と深い関わりがあると言える。

4. 論証3

また、哲学、倫理学者の野崎泰伸氏は、自著『「共倒れ」社会を超えて 生の無条件の肯定へ!』において次のようなことを述べている。尊厳死を検討するとき、「不治で末期」の患者を、みじめで悲惨なもの勝手に決めつけ、自分がそのような状態になるのは嫌だという思いがある。それは、「あんな身体になったらもう何の役にも立たない、お荷物だ」という考え方で無縁ではない、社会的に有用か否かで人間の価値を測ろうとする、きわめて一面的な見方に基づいている、としている。

その上、医療費という経済的な負担も、尊厳死を選ぶ理由の一つであると主張する。これは現在の福祉制度が不十分であると指摘している。

5. 結論と考察

以上をまとめる。

1つ、生命、人が生きるか死ぬかは、個人だけの問題ではない。関係者を巻き込んで会話するのが重要であるということ。

1つ、安楽死・尊厳死は個人のためのものではあるけれども、福祉国家の運営のための制度でもあるということ。

1つ、患者に向けられる感情などの社会的な影響、経済的な影響を受けるため、純粋な自己決定ができないこと。

これらの点から、本人や関係者の意志が全て検討に反映されることは現状不可能であると考えられる。よって、安楽死・尊厳死は認められるべきではないと判断した。

6. 参考文献

- ・小松美彦. (2004). 『自己決定権は幻想である』. 洋泉社
- ・武田龍夫. (2001). 『福祉国家の闘い』. 中公新書
- ・野崎泰伸 (2015). 『「共倒れ」社会を超えて 生の無条件の肯定へ!』. 株式会社筑摩書房

⁴ NHK「優生思想と向き合う 戦時ドイツと現代の日本(1) 繰り返される命の選別」より<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/404/>

日本における言霊信仰が生まれた背景

1. はじめに

日本には、「言霊信仰」、及びそこから派生した「忌詞」と呼ばれる風習がある。これらの風習の根本には、発した言葉に力が宿り、現実の出来事に影響を及ぼす、という思想がある。そして、現代の日本人の思考や文化にもその影響が見られる。たとえば、私達は「刺し身」のことを「お造り」というが、これは「刺す」ということばを縁起の悪いものとして口に出すのを避けるためである。

私は、このような言霊信仰が日本で生まれた背景について調査し考察した。

2. 『万葉集』のなかの「言霊」

「言霊」という語句が出てくる最古の文献は『万葉集』である。『万葉集』に掲載されている歌の中の、「言霊」という語句が使われている二つの歌が、遣唐使への餞歌として作られたということが、一つ目の論拠としてあげられる。

この二つの歌に注目してみる。一つ目は「しきしまの大和の国は言霊のたすくる國ぞまさきくありこそ」という柿本人麻呂が詠んだ歌である。これは「大和の国は言霊の助けてくれる国です、どうかご無事で。」という内容で遣唐使の無事を祈っている。二つ目は「神代よりいひつてけらくそらみつ倭の国はすめがみのいつくしき國、言霊のさきわう國と語り継ぎいひつがひけり」という長歌で作者は山上憶良である。この歌で山上憶良は「大和の国は言霊の幸わう国である」としている。この「言霊の幸わう国」とは「言葉が持つ力によって幸せになっている国」という意味である。遣唐使への餞歌なので、「大和の国」の反対項として当然「唐」が意識されているだろう。

この二つの歌で大和の国は「言霊の助くる國」「言霊の幸わう国」なのだ、肯定的に捉えられている。ここで注目すべきことは「国家意識の形成」である。佐々木隆氏は『言霊と日本語』の中で「万葉集と同時代に生まれた『古事記』や『日本書紀』からは、当時の日本に国家意識が生まれたことがうかがえる。」と言及している。外国に使節を送る際、「豊かな文字文化を持つ唐とは違い、日本には音声言語を重視する言霊思想がある」という国家意識が歌に表れたと考えられる。

「言霊」という言葉こそ使われていないが、「人の名前を口に出すことを避ける」という趣旨の含まれた歌は万葉集に多数掲載があり、当時の読み書きができる知識人・官人の間では「口に出した言葉が現実の出来事に何らかの影響を与える」という考えが共有されていたと伺える。

3. 中世社会における言霊思想

まず中世には政治・文化の担い手が貴族から武士へと変わった。沖森卓也氏編纂の『日本語史』によると、武士は重々しい表現をしようと漢語を好んで使ったという。ここからも分かるように、従来の思想や文化は衰退し、それとともに思想としての言霊信仰は衰退したと考えられる。国風文化に取って代わって、仏教で様々な新たな宗派が生まれたほかにも、北山文化、東山文化などが生まれた。その一方で上代の日本の代表的な文献で当時の人々に語り継がれていた古事記に関しては鎌倉時代に神道家の卜部兼文の『古事記裏書』という簡単な注釈が確認されるのみで、あまり読まれていなかった。上代の文献は当時の人々にとってはなじみのないものだったということだろう。そのため「発した言葉には力が宿って現実の出来事に影響を与えるのだ」というはっきりとした意識は中世の人々にはなかったのではないかと考えられる。

ただ、女性の本名を伏せる習慣や神事における祝詞は存在しており、言霊信仰から生まれた習慣の片鱗は見受けられる。（京都女子大学の川島朋子先生のお話より）

4. 国学者が注目した「言霊」

江戸時代、とりわけ開国後、蘭学に代表される様々な外国の文化が入ってきた。それと同時に国家意識も高まったと考えられる。その動きの中で注目されたのが、国学である。国学は古来の日本思想を掘り下げようとした学問である。つまり、外国からの学問に対抗して日本古来の思想を守ろうとした学問であるといえる。

国学者の本居宣長は歌論書『石上私淑言』で、「言を主とし、文字を僕従として見るべき」（文字はあくまで声を表記するための手段であり、声のことが本體である）と主張している。音声言語を重視する国学者は本居宣長の他にもいた。彼らは音義説を主張し、音義派と呼ばれていた。音義派は言霊派とも呼ばれたという。彼らは西洋の新しい学問や文化の反対項として、音声言語及び言霊思想に注目したのである。

5. 終わりに

上記のように、日本における言霊、忌詞といった思想は、上代の日本で唐から文字をはじめとした文化が入ってきた際、国家意識の形成により、自国の文化を守ろうとする動きの中で生まれた又は注目されたものと考えられる。中世で言霊信仰それ自体に対する関心は低くなったものの、言霊思想が背景にある慣習はなくなっていなかった。その後の江戸時代で、「西洋の学問」の反対項として生まれた「国学」という学問で音声言語が注目されたように、上代の日本では唐という国の文化の反対項となる日本の文化として言霊信仰が生まれた又は注目されたと考えられる。

6. 今後の展望

今回は日本における言霊信仰の研究を行ったが、今後は外国にまで視野を広げてさらに研究を行いたい。具体的には、キリスト教の「主の名をみだりに唱えてはいけぬ」という教えや仏教の念仏の背景にある思想には日本の言霊信仰と共通する点があるのかということについて研究したい。

7. 参考文献

今野真二 『言霊と日本語』（ちくま新書 2020年）

佐佐木隆 『言霊とは何か』（中央新書 2013年）

今井貢 『上代日本人の言語意識について』今井貢（最終閲覧日 2023年7月25日）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy1926/3/5/3_5_673/_article/-char/ja/

辻本雅史 『江戸の学び思想家たち』（岩波新書 2021年）

清水正之 『日本思想全史』（ちくま新書 2014年）

井沢元彦 『逆説の日本史』（小学館文庫 1995年）

沖森卓也・金子彰・近藤泰弘・久保田篤 『日本語史

「表現の不自由展・その後」 公的な事業としての開催の正当性

1. はじめに

「表現の不自由展・その後」（以下、不自由展）は、芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」（以下、あいつり2019）内の企画である。展示作品への批判が激化し、不自由展の安全な開催を脅かす犯罪行為（会場や協賛企業への電話突撃、会場への爆破予告）が多発し、開催中止となった。本研究では、政治的な強いメッセージを含む作品の展示を公的な事業として行うべきではない、という不自由展への批判の声に着目し、公的な事業としての開催の正当性を示す。

2. 定義

1951年制定の博物館法は、博物館とは「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」であると定めている。また、日本大百科全書によると、この規定のなかには美術館も含まれている。よって、本研究では、美術館は博物館の一種であるとする。

また、本研究における「公的な事業」とは、公的な施設や公金を使用して行われた事業を指す。加えて、あいつり2019実行委員会が名古屋市に負担金の未払い分約3380万円の支払いを求めた裁判（この事件については6. (2) にて詳述）で名古屋地裁は、芸術祭には「一定の公共性があることは否定しない」が、実行委員会が準備や運営を行っていることから、あいつり2019の開催は「公共事業ではない」と判断している。よって、不自由展の開催は「公的な事業」であり、「公共事業」ではない。

3. 不自由展の概要

まず、不自由展について説明する。

1. にて述べた通り、不自由展は、芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」内の企画展である。会場は愛知芸術文化センターであった。公益財団法人愛知県文化振興事業団が指定管理者であるため、同センターは公的な施設であるといえる。また、文化庁は国際現代美術展開催事業であるあいつり2019開催への支援として、愛知県に補助金を交付した。加えて名古屋市も、あいつり2019にかかる費用の一部を負担した。

従軍慰安婦をモチーフとした像や、昭和天皇の写真を燃やす場面を含む映像作品等が展示されており、これらがSNSを中心に問題視され、不自由展開催に対する抗議の電話があいつり2019事務局、愛知県庁等に殺到した。さらに、「不自由展の会場にガソリンを撒く」という内容の脅迫FAXが届いたことから、不自由展は展示の一時中止を余儀なくされた。

4. 公立美術館での開催の正当性

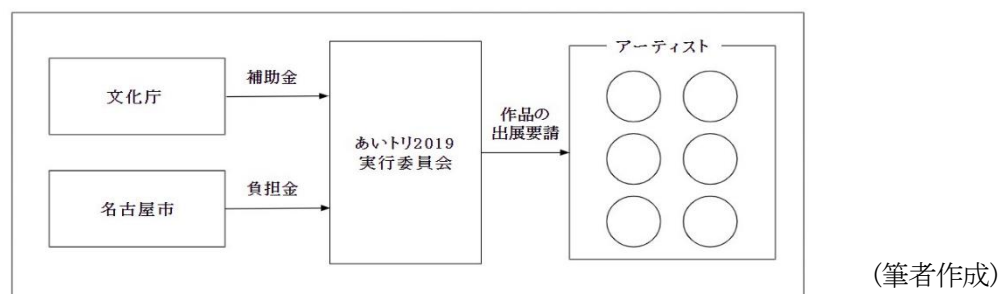
ICOM日本委員会は、博物館の定義について、次のように述べている。

“博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、ゆしみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。”

この定義に沿って考えると、市民と美術作品、及び作家との交流の場は、それが公的なものであるかに関わらず積極的に用意されるべきである。よって、公立美術館で不自由展が開催されたことは正当だったといえる。

5. 公金を投じた開催の正当性

不自由展にて、政治的思想を含む作品の展示が公金を投じて行われたことに対して、「政府がその思想を支持していると捉えられかねない」という批判があった。石川涼子氏によると、政府による芸術文化の公的支援には、政府の中立性の確保が必要である。今回の不自由展の開催では、政府の政治的中立は保たれていたのだろうか。



上図の通り、文化庁及び名古屋市は、あいトリ2019実行委員会に対して補助金あるいは負担金を交付している。もしも政府が作家に対して直接公金を支出し、作品の発表を促していたのなら、政治的中立は確保されない。しかし、「あいトリ2019実行委員会」に対して公金を支出した今回の場合、政府はあくまで芸術祭を開催する、という文化事業への支援を行っており、直接的な特定の作家への支援は見られない。よって、政治的中立は保たれていたといえる。

6. 文化庁、名古屋市の補助金及び負担金不交付問題

5.にて、公金を使用した不自由展の開催は正当であると述べた。しかし、文化庁、名古屋市は一時、それぞれあいトリ2019へ補助金、負担金を支払わないと表明した。ここでは、文化庁、名古屋市の対応の問題点を指摘する。

(1) 文化庁の補助金不交付

文化庁は2019年9月26日、「補助金申請者である愛知県は、展示会の開催に当たり、来場者を含め展示会場の安全や、事業の円滑な運営を脅かすような重大な事実を認識していたにもかかわらず、それらの事実を申告することなく採択の決定通知を受領した」として、あいトリ2019の開催を支援する補助金の不交付を決定した。（その後2020年には、「愛知県が遺憾の意を示した上で今後の改善を表明したこと、展示会場の安全や事業の円滑な運営にかかる懸念に関連する経費等の減額を内容とする変更申請がなされたこと等を踏まえて判断し、愛知県から変更申請のあった金額について、交付決定を行うこととした」として、当初の予定より減額されているものの、補助金再交付を決定した。）発表文のみを見ると、あいトリ2019における安全管理上の問題を指摘したのだと推察できる。しかし、この不交付決定に関する審査の議事録が存在しないことが判明した。審査過程が明らかになっていない状態では、政府が一部国民の不自由展に対する批判の激化を鑑みた結果、補助金不交付とした可能性も否定できず、国民に不信感を抱かせる決定の行い方であったと考える。

(2) 名古屋市の負担金不払い

名古屋市の河村市長は、不自由展の展示内容を問題視し、あいちトリエンナーレ2019への名古屋市の負担金の一部を支払わないと表明した。これを受けあいちトリエンナーレ2019実行委員会が、名古屋市に未払いの負担金約3380万円を支払うよう求め、訴訟を起こした。裁判所は原告の請求通り、市に全額の支払いを命じたが、名古屋市は控訴、上告を繰り返した。名古屋市の河村たかし市長は「納税者のみなさんが怒るので（負担金の）支払いは難しい」と発言したが、小崎哲哉氏は「現代アートを殺さないために」にて、不自由展の開催に賛成の人、反対の人のどちらもが「納税者」であり、ひとくくりにするのは不可能である、と述べている。

7. 結論

3.～5.より、公立美術館での開催、公金を投じた開催の両面について正当性が確認された。よって、不自由展の公的な事業としての開催は正当であるといえる。しかし、正当性が主張されてもなお、公的な事業としての開催に懐疑的な姿勢の人が一定数いることは、容易に想像できる。今後は、その人々からの批判の声に対抗してまで、あえて公金を投じ、公立美術館で不自由展を開催することの利点を考えたい。

8. 参考文献

小崎哲哉（2020）『現代アートを殺さないために ソフトな恐怖政治と表現の自由』河出書房新社。

小崎哲哉（2018）『現代アートとは何か』河出書房新社。

内田樹（2021）『街場の芸術論』幻冬舎。

曾我部真裕（2019）「「表現の不自由展」中止事件 決定の妥当性と残る課題」『Journalism』355巻、67-74。

松本和也（2021）「現代美術と政治的なるもの - 「あいちトリエンナーレ2019」をめぐる言説」『神奈川大学大学院言語と文化論集』、27号、199-218。

石川涼子（2015）「芸術文化政策をめぐる政府の中立性の考察」『立命館言語文化研究』26巻3号、79-90。

文化庁（2019）「あいちトリエンナーレに対する補助金の取扱いについて」https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/1421672.html。2023年7月6日。

文化庁（2020）「あいちトリエンナーレに対する補助金の取扱いについて」https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/20032301.html。2023年7月6日。

文化庁「博物館について」。<https://museum.bunka.go.jp/museum/act/>。2023年7月25日。

美術手帖（2019）「文化庁の補助金不交付決定、議事録存在せず」<https://bijutsutecho.com/magazine/news/headline/20655>。2023年7月6日。

裁判所（2022）「令和4年5月25日判決言渡 同日原本領収 裁判所書記官 令和2年（ワ）第2098号 負担金交付請求事件 口頭弁論終結日 令和4年2月25日 判決主文」。https://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/239/091239_hanrei.pdf。2023年7月25日。

ICOM日本委員会（2023）「新しい博物館定義、日本語訳が決定しました」。<https://icomjapan.org/journal/2023/01/16/p-3188/>。2023年7月25日。